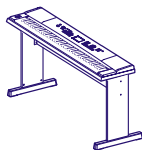


Portable Grand
DGX-630

取扱説明書



キーボードスタンドの組み立て方
キーボードスタンドの組み立て方については、
この取扱説明書の10ページをご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。




ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。


■ 記号表示について


この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
---	--

この製品の内部には、お客様が修理 / 交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

警告

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源は必ず交流 100V を使用する。
エアコンの電源など交流 200V のものがあります。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のもの (PA-5D または
ヤマハ推奨の同等品) を使用する。
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発熱、
火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを
きれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



禁止

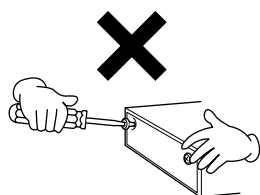
電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

分解禁止



禁止

この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



水に注意



禁止

本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

本体の上にもろそくなど火気のあるものを置かない。
ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

電源アダプターコード / プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出たりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

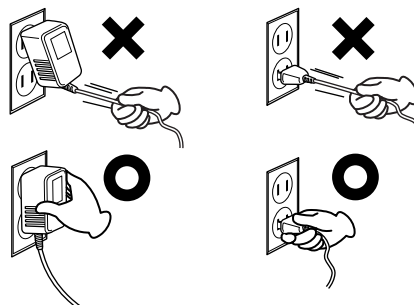
注意

電源 / 電源アダプター



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。





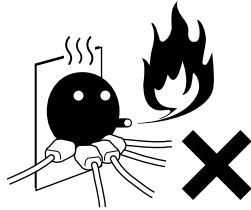
必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。



設置



禁止

直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しない。

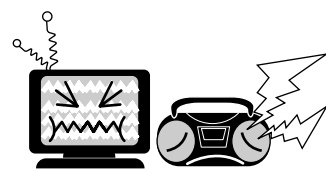
本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したりする原因になります。



禁止

テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。

楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様や他の方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンドを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

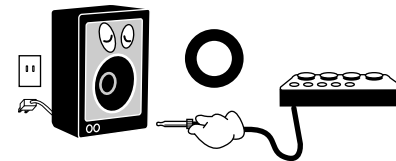
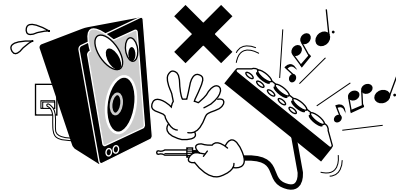
接続



必ず実行

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。

感電または機器の損傷の原因になることがあります。



手入れ



禁止

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは使用しない。

本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。

使用時の注意



禁止

本体のすき間に手や指を入れない。

お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

パネル、鍵盤のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



禁止

本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。

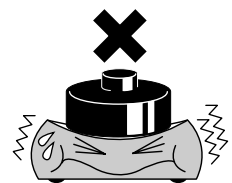
本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。



禁止

本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損したり、お客様や他の方々がけがをしたりする原因になります。





禁止

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。



データの保存

作成したデータの保存とバックアップ



必ず実行

パネル上で設定された一部のデータは電源を切ると消えてしまいます。保存しておきたいデータはレジストレーションメモリー (90 ページ) に保存してください。

また、保存したデータは故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、USB 記憶装置 / コンピューターなどの外部機器に保存してください。(99、100、109 ページ)

USB 記憶装置 / 外部メディアのバックアップ



必ず実行

保存した USB 記憶装置 / 外部メディアの万一の事故に備えて、大切なデータは予備の USB 記憶装置 / 外部メディアにバックアップとして保存されることをおすすめします。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

電源スイッチを切った状態 (電源スイッチが「STANDBY」の状態) でも微電流が流れています。スタンバイ時の消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。

・ この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

- ・ 本製品には、株式会社リコーの Bitmap Font が使われています。
- ・ Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名および商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- ・ 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間の演奏には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

著作権について

内蔵ソングの3曲については権利者から適正な許諾を得て使用しています。

曲名 : Mona Lisa
from the Paramount Picture CAPTAIN CAREY, U.S.A.
作詞作曲者名 : Words and Music by Jay Livingston and Ray Evans
Copyright © 1949 (Renewed 1976) by Famous Music Corporation
International Copyright Secured All Rights Reserved

曲名 : Against All Odds
作曲者名 : Collins 0007403
Copyright Owner's Name : EMI MUSIC PUBLISHING LTD AND HIT & RUN MUSIC LTD

All Rights Reserved, Unauthorized copying, public performance and broadcasting are strictly prohibited.

曲名 : Can't Help Falling In Love
from the Paramount Picture BLUE HAWAII
作詞作曲者名 : Words and Music by George David Weiss, Hugo Peretti and Luigi Creatore
Copyright © 1961 ; Renewed 1989 Gladys Music (ASCAP)
Worldwide Rights for Gladys Music Administered by Cherry Lane Music Publishing Company, Inc.
International Copyright Secured All Rights Reserved

この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または付属しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。

パネルに印刷されているロゴ



GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。



XGライト

「XGlite」はヤマハの高品位な音源フォーマットである「XG」の簡易(ライト)版です。「XG」のソングデータを「XGlite」マークの付いた音源を使って手軽に再生して楽しむことができます。ただし、「XGlite」ではコントロールできるパラメーターやエフェクトなどに一部制限がありますので、「XG」のソングデータが元のデータと異なって聞こえる場合があります。



XF

「スタンダードMIDIファイル」をより拡張し、時代と共に複雑化、高度化していくコンピューター周辺機器に対応させ、歌詞表示などを可能にしたヤマハ独自のMIDIファイルフォーマットです。



スタイルファイル

スタイルファイルフォーマットとは、ヤマハの自動伴奏機能のノウハウを集大成した統一フォーマットです。



USB

USBとは、Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス)の略で、コンピューターと周辺機器を接続するためのシリアルインターフェースです。また、コンピューターの電源を入れたまま周辺機器との接続ができます。

ごあいさつ

このたびはヤマハ DGX-630をお買いもとめいただき、
まことにありがとうございます。

DGX-630のさまざまな機能を十分に活用するために、
この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。
なお、読み終わったあとも、不明な点が生じた場合に備えて、
保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

付属品(お確かめください)

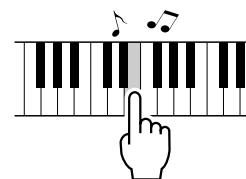
DGX-630 本体には、以下のものが付属しています。ご確認ください。

- ・取扱説明書(本書)
- ・和文シート
- ・CD-ROM
- ・キーボードスタンド
- ・電源アダプター (PA-5Dまたはヤマハ推奨の同等品)
- ・譜面立て
- ・保証書
- ・フットスイッチ

自然な弾き心地を実現したGHS(グレードハンマースタANDARD)鍵盤
 グランドピアノを採求して開発されたGH(グレードハンマー)鍵盤の基本理念をそのままに低音部と高音部とでは微妙に違う鍵盤タッチを再現しました。豊かで自然な弾き心地をつくりだしています。

■パフォーマンスアシスタント ▶ 39ページ

この機能をオンにして、ソングを鳴らします。そして鍵盤を弾くと…? どの鍵盤を弾いても外れた音が鳴りません! 両手をじゃんけんのパーの形にして右手と左手で交互に鍵盤をおさえても、なんだかオリジナルの曲を演奏しているように聞こえます。気をつけることといえば、ソングのリズムに合わせて弾くことだけ。両手を使って、ピアニスト気分で演奏しましょう。



指一本でOK!

両手の演奏はちょっと…という方もご安心。なんとこの楽器には、指一本でメロディーが弾ける心強い機能が搭載されています。好きな鍵盤をポンポンと指で押さえるだけで、ソングのメロディーが弾けます。

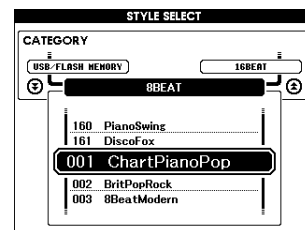
■いろいろな楽器音で弾く ▶ 19ページ

この楽器では、鍵盤を弾いたときに鳴る音を、バイオリン、フルート、ハーブなど、さまざまな楽器の音に変えられます。ピアノのために作られた曲をバイオリンの音で演奏すると、またちがった味を楽しめるように、楽器を変えることで一つの曲からさまざまな表情を引き出せます。



■スタイル(伴奏)を鳴らしながら鍵盤を弾く ▶ 28ページ

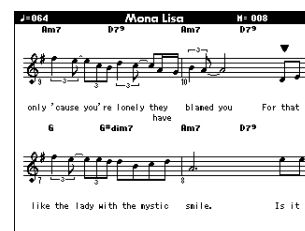
賑やかに演奏したい、という人は、スタイル(自動伴奏)を使ってください。スタイルとは、簡単に言うとバックバンドのようなものです。ワルツや8ビート、ユーロトランスなど、さまざまなジャンルのリズムを鳴らすことができるので、それに合わせて弾いてみてください。演奏がぐっと華やかになります。




■譜面表示でラクラク演奏 ▶ 37ページ

選んだソングを再生すると、その譜面を表示します。曲の進行に合わせて譜面の表示も進むので、譜面を見ながらスムーズに演奏できます。譜面には歌詞やコード*も表示されます。

* ソングデータに歌詞やコード情報が含まれていない場合は、譜面を表示させても歌詞やコードは表示されません。



もくじ

著作権について	6
パネルに印刷されているロゴ	6
付属品(お確かめください)	7
~DGX-630のおすすめ機能~	8
演奏の準備	10
 キーボードスタンドの組み立て方	10
電源の準備	13
ヘッドフォン/外部出力端子について	13
フットスイッチの接続(SUSTAIN端子)	13
ペダルユニットの接続(PEDAL UNIT端子)	14
コンピューターとの接続(USB端子)	15
電源を入れる	15
各部の名称	16
フロントパネル	16
リアパネル	17
クイックガイド	
表示言語(Language)を切り替える	18
いろいろな楽器音で弾いてみよう	19
楽器音(ボイス)を選んで弾いてみよう	19
2つの楽器音(ボイス)を重ねて弾いてみよう	20
右手と左手で違う楽器音(ボイス)を弾く	21
グランドピアノの音で弾いてみよう	22
面白い音を鳴らそう	23
ドラムキット(打楽器音)を鳴らそう	23
おもしろい効果音(SFXキット)を鳴らそう	23
メトロノームを使おう	24
メトロノームを鳴らす	24
メトロノームのテンポを設定する	24
拍子の数(分子)と1拍の音符(分母)を設定する	25
ベル音を設定する	26
メトロノームの音量を設定する	26
スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう	27
スタイル(自動伴奏)のリズムを選ぼう	27
スタイルを鳴らして自分も演奏しよう	28
コードの押さえ方	32
ソングの使い方	33
ソングを選んで聞いてみよう	33
ソングを早送り、巻戻し、一時停止するには	34
ソングのテンポを変えたい場合は	34
デモソングで試してみよう	35
ソングの種類	36
ソングの譜面を表示させてみよう	37
歌詞を表示させてみよう	38
ピアニスト気分を満喫しよう!	39
コード — 両手で華やかに弾いてみよう	40
コード/フリー — 左手だけコードタイプを効かせる	42
メロディー — 指一本でメロディーを弾こう	44
コード/メロディー — 左手はコードタイプ、右手はメロディー	46
曲を選んでレッスンしてみよう	50
レッスン1: ウェイティング	51
レッスン2: ユアテンポ	54
レッスン3: マイナスワン	55
くり返し練習しよう	56
弾きたい曲に合った設定にしよう — ミュージックデータベース	57
ソングの雰囲気を変えてみよう	58
イージーソングアレンジャー機能のデモ曲を聞く	58
イージーソングアレンジャー機能を使う	58
自分の演奏を録音しよう	60
録音の手順	61
ユーザーソングの消去(ソングクリア)	63
ユーザーソングのトラック消去(トラッククリア)	64
バックアップと初期化	65
バックアップ	65
初期化	65
基本操作と画面表示	66
基本操作	66
画面について	68
MAIN画面の表示について	69

リファレンス	
効果をつけて演奏しましょう	70
ハーモニー効果をつける	70
リバーブ効果をかける	71
コーラス効果をかける	72
DSP効果をかける	73
パネルサステイン(余韻)をつける	74
ピッチベンドを使ってみよう(PITCH BEND)	74
演奏するときの機能	75
タップスタート	75
鍵盤を弾く強弱で音量を変える	75
ワンタッチで最適な楽器音を設定(OTS)	76
最適な音で聞く	77
楽器のピッチ(音の高さ)を変える	78
スタイル(自動伴奏)に関する機能	79
スタイルのパターンに変化を付ける(セクション)	79
スプリットポイントの設定	82
リズムなしでコード音を鳴らす	83
スタイル音量の設定	83
コードについて	84
鍵盤全域でスタイルを演奏する	86
コード辞書でコードを調べる	87
ソングの再生に関する設定	88
ソング音量の設定	88
ソングの一部をくり返して聞く	88
ソングの一部をミュート(消音)する	89
メロディー音色を変える	89
好みのパネル設定を記憶させよう	90
レジストレーションメモリーに記録する	90
記録したレジストレーションメモリーを呼び出す	91
機能設定(FUNCTION画面)	92
項目を選んで値を変える	92
データの保存と読み込み	96
USBフラッシュメモリーを接続する	96
USBフラッシュメモリーのフォーマット	98
ユーザーファイル(レジストレーションメモリー)を USBフラッシュメモリーに保存する	99
ユーザーソングをUSBフラッシュメモリーに保存する	100
USBフラッシュメモリーからファイルを読み込む(ロード)	101
USBフラッシュメモリー内のデータを削除する	102
楽器内部のユーザーデータを削除する	103
USBフラッシュメモリー内のファイルを再生する	103
他の機器と接続する	104
端子について	104
コンピューターと接続する	105
演奏情報を送受信する	105
楽器のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)	107
楽器とコンピューターとのあいだでファイルを送受信する	107
CD-ROMインストールガイド	110
CD-ROMについて	110
CD-ROMの内容	111
ソフトウェアの動作環境	112
ソフトウェアのインストール	112
資料	
困ったときは	118
メッセージ一覧	120
楽譜	122
楽器リスト	128
ドラムキットリスト	132
スタイルリスト	134
ミュージックデータベースリスト	135
CD-ROM内のソング	136
ハーモニータイプリスト	137
エフェクトタイプリスト	138
MIDIインプリメンテーション・チャート	144
MIDIデータフォーマット	146
仕様一覧	147
さくいん	148
保証とアフターサービス	151



演奏の準備

キーボードスタンドの組み立て方

安全上のご注意

組立作業、およびご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

記号表示について この説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

- ⚠ 「ご注意ください」という注意喚起を示します。
- 🚫 ~しないでくださいという「禁止」を示します。

❗ 「必ず実行」してくださいという強制を示します。

⚠ 注意 以下の内容を無視した取り扱いをすると、障害を負う可能性、または、物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ❗ **必ず実行** 部品をまちがえたり、向きをまちがえないように注意して、手順通りに組み立てる。
- ❗ **必ず実行** 組み立ては、必ず2人以上で行なう。
- ❗ **必ず実行** 部品の取り付けは、必ず付属のネジを使用する。付属のネジ以外のネジを使用すると、他の部品を傷つけたり、スタンドとしての機能を果たさなかったりします。
- ❗ **必ず実行** スタンド/キーボードは、組み立てが完了した状態で使用する。未完成の状態で使用すると、キーボードが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。
- 🚫 **禁止** 傾斜地や不安定な場所に設置しない。スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- 🚫 **禁止** 指定のキーボード以外の目的に使用しない。指定のキーボード以外のものは取り付けられません。また、指定のキーボード以外のものをのせたり、スタンドにのったり、スタンドにもたれ掛かったりすると、のせているものが落ちたり、スタンドが転倒して危険です。
- 🚫 **禁止** スタンド上のキーボードに必要な以上の力を加えない。スタンドが転倒したりして危険です。
- ❗ **必ず実行** 使用前に安全点検をする。使用する前に、ネジが確実にしまっているか、必ず確認してください。ネジがゆるんでいると、スタンドが転倒してキーボードが故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。
- ❗ **必ず実行** スタンドを分解するときは、組み立てと逆の手順で行なう。

● ネジのサイズにあった、プラス(+)のドライバーを用意します。

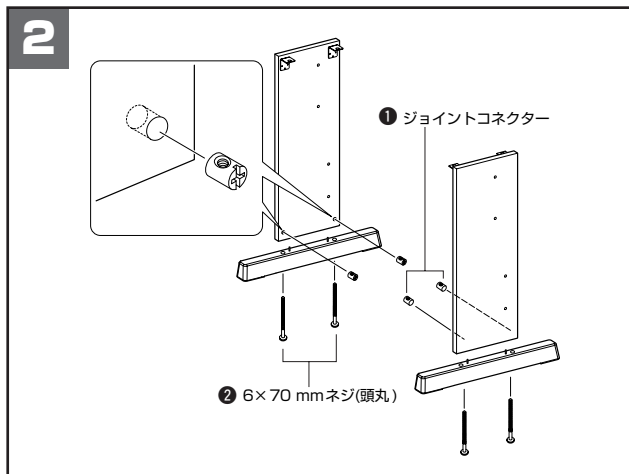
1 すべての部品を取り出し、下記イラストの部品がそろっているかどうかを確認します。
組み立て手順に従って必要な部品を使用します。

1 ■組み立て部品

裏板
側板
足板

- ① ジョイントコネクター×4
- ② 6×70 mmネジ(頭丸)×4
- ③ 6×30 mmネジ(頭丸)×4
- ④ 補強レール
- ⑤ 4×45 mm 平たいネジ×6
- ⑥ 5×16 mmネジ(頭丸)×4

床や楽器を保護するため、組み立て時はシートをご使用ください。
* 楽器を包んでいる袋



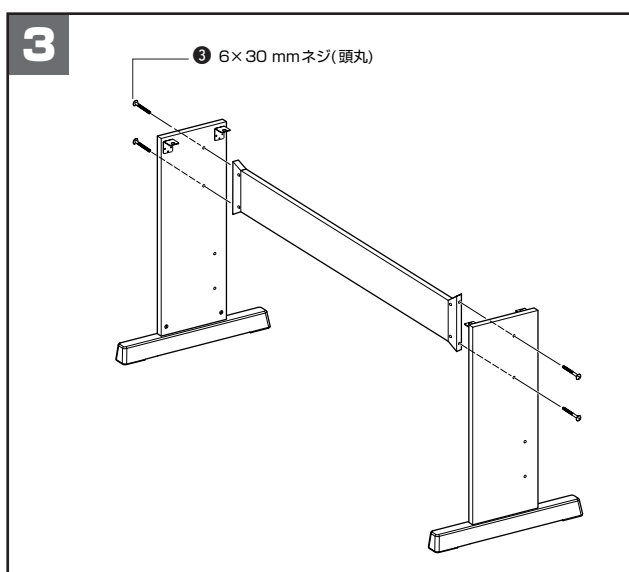
2 左右の足板を側板に固定します。

①のジョイントコネクターを左右の側板に差し込みます。ジョイントコネクターはネジ頭が外から見える方向に差し込みます。

NOTE

- ・差し込んだジョイントコネクターを取り出したい場合は、穴の周囲を軽く叩きます。

足板を②のネジで固定します。左右の足板は同形です。また、前後をどちらに付けてもかまいません。ジョイントコネクターにネジがうまく入らない場合は、ドライバーを使用してジョイントコネクターを回転させ、ジョイントコネクターにある穴の向きを、ネジの入る向きに合わせます。



3 裏板を固定します。

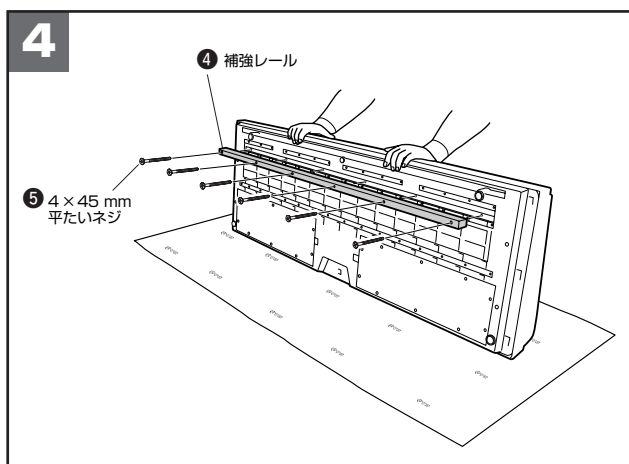
裏板を③のネジで固定します。化粧なしのほうを下側に向け、側板の前後の向きを確認してから取り付けてください。



- ・裏板を落としたり、金具部分に触れてけがをしないように注意してください。

NOTE

- ・ペダルユニット(別売)をご利用の場合は、次の手順に進む前に、ペダルユニットを取り付けてください。組立方法は、ペダルユニットに付属の組立説明書をご覧ください。

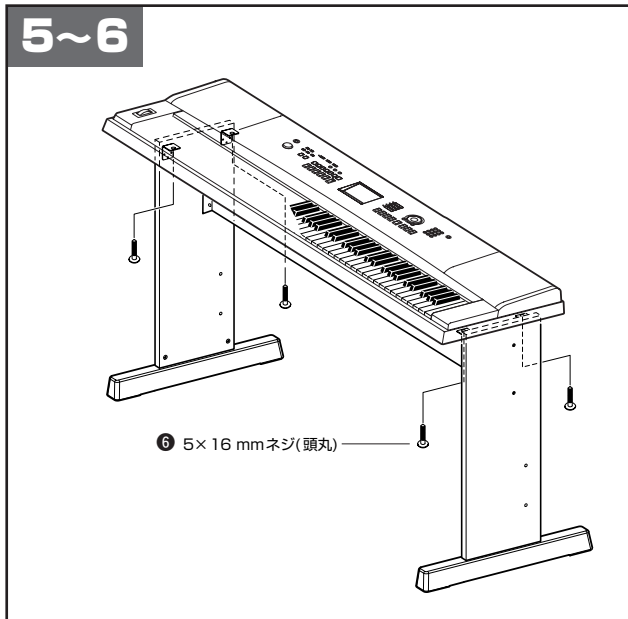


4 補強レールを取り付けます。

シートを床に広げます。リアパネル側を下にして、楽器をシートの上に置きます。④の補強レールを本体底面の溝に合わせ、⑤のネジで固定します。



- ・シートがない場合は、床や楽器を保護するために、厚めの毛布などの柔らかい布をご使用ください。



5 注意して楽器をスタンドにのせます。

スタンドの前後の向きを確認して、金具の穴と楽器の下側の穴が合うように、ゆっくりと楽器の位置を調節してください。



・指をはさんだり、楽器を落としたりしないよう、十分ご注意ください。

6 楽器をスタンドに固定します。

6のネジで楽器を固定します。

■ 組み立てチェックリスト

組み立て後、必ず以下の点をチェックしてください。

- ・ 部品が余っていませんか？
→ 組み立て手順を再確認してください。
- ・ 部屋のドアなどにあたりませんか？
→ あたらない位置に移動してください。
- ・ 楽器 / スタンドがゆれませんか？
→ ネジを確実に締めてください。
- ・ 使用中に楽器がきしむ、横ゆれする、グラつくなどの症状がでたら、組み立て図に従って各部のネジを締め直してください。

電源を入れる前に必要な準備について説明します。

電源の準備

- ① 本体の電源スイッチが切れている(スタンバイになっている)ことを確認してください。



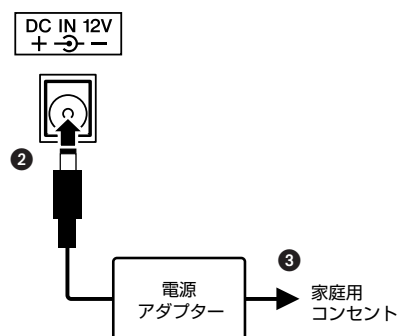
・電源アダプターをご使用になる場合は、付属のアダプター(PA-5Dまたはヤマハ推奨の同等品)をご使用ください。他の電源アダプターの使用は故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

- ② アダプターのDCプラグをリアパネルのDC IN 12V (電源アダプター接続)端子にさし込みます。

- ③ アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

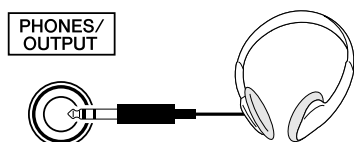


・長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。



以下の接続は必要に応じて、電源を入れる前に行ないます。

ヘッドフォン/外部出力端子について



接続すると自動的にDGX-630のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、DGX-630の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

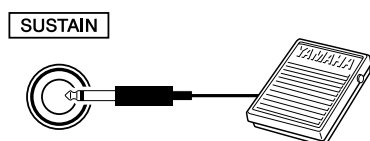


・大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



・DGX-630を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切ったあとで接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

フットスイッチの接続(SUSTAIN端子)

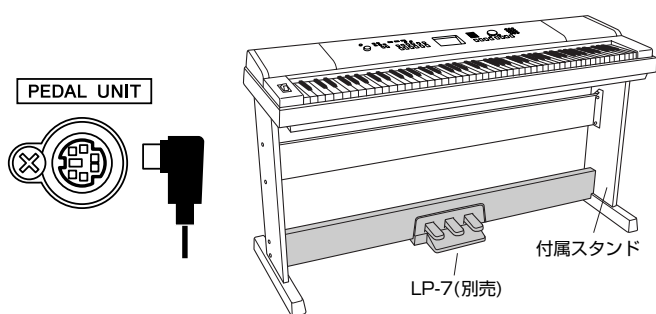


フットスイッチ(FC5またはFC4)をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフができます。

NOTE

- ・フットスイッチを使用するときは、SUSTAIN端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。
- ・フットスイッチを踏みながら電源を入れしないでください。踏みながら電源を入れると、オン/オフが逆になります。

ペダルユニットの接続(PEDAL UNIT端子)



別売の3本ペダルユニットLP-7を接続できます。

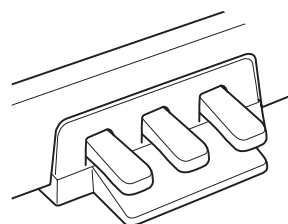


・ペダルユニットをご使用の場合は、必ず付属スタンドに取り付けてお使いください。

ペダルユニットの抜き差しは、電源を切った状態で行ってください。

ペダルユニットの機能

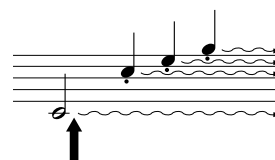
ペダルユニット(別売)には、右のペダル(ダンパーペダル)とまん中のペダル(ソステヌートペダル)、左のペダル(ソフトペダル)があります。これらはピアノ演奏で使われます。ペダルユニットの効果は、スプリット鍵域にはかかりません。



右のペダル(ダンパーペダル)

このペダルを踏んでいる間、弾いた音を、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏み込むほど音が長く伸びます(ハーフペダル対応)。

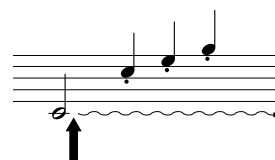
* フットスイッチとダンパーペダルとの併用時、楽器動作(効果)は後着優先になります。



ここでダンパーペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤とそのあと弾いた音すべてが長く響く

まん中のペダル(ソステヌートペダル)

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけを、鍵盤から指を離しても長く響かせることができます。ペダルを踏んだあとに弾いた音には効果はかかりません。

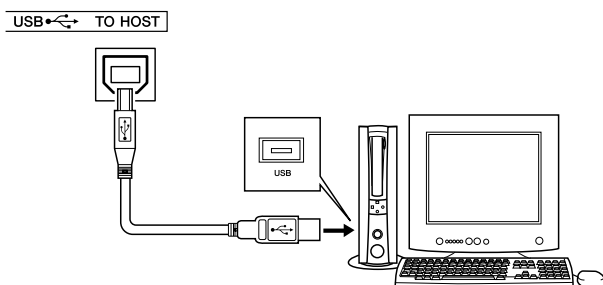


ここでソステヌートペダルを踏むと、このとき押さえていた鍵盤の音だけが長く響く

左のペダル(ソフトペダル)

このペダルを踏んでいる間、ペダルを踏んだあとに弾いた音量をわずかに下げ、音の響きを柔らかくすることができます。(ペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音には効果はかかりませんので、効果をかけたい音を弾く直前に踏みます。)

コンピューターとの接続 (USB端子)



この楽器のUSB TO HOST端子を使うと、お使いのコンピューターとこの楽器のあいだで演奏情報やソングファイルのやりとりができます(105ページ)。そのためには以下の操作が必要です。

- ・MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子と楽器のUSB端子を、ABタイプのUSBケーブルを使って接続する
- ・コンピューターに「USB-MIDIドライバー」をインストールする

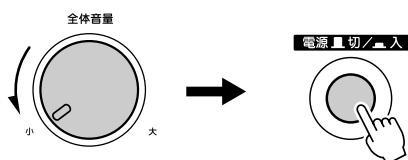
「USB-MIDIドライバー」のインストール方法は112ページをご参照ください。

NOTE

- ・USBケーブルは楽器店、電気店などでお買い求めください。

電源を入れる

[全体音量] (MASTER VOLUME) を左に回し、音量を最小にしておいてから、[電源 切/入] (STANDBY/ON) スイッチを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。



この楽器では電源を入れた際、フラッシュメモリーにバックアップデータ(65ページ)があれば、そのデータを読み

込みます。電源を入れた際、フラッシュメモリーにバックアップデータがなければ各バックアップ項目は初期値になります。

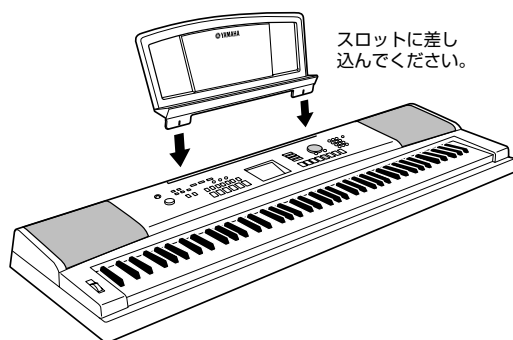


- ・[電源 切/入] (STANDBY/ON) スイッチが切れている状態でも微電流が流れています。この楽器を長時間使用しないときや落雷のおそれがあるときは必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。



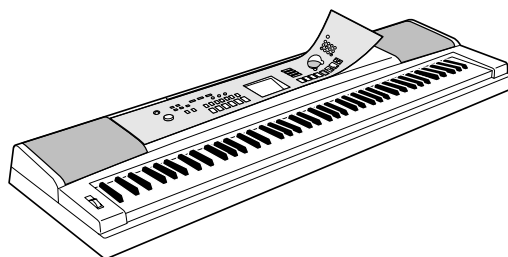
- ・書き込み中やUSBフラッシュメモリーへのアクセス中は、電源を切らないでください。本体内やUSBフラッシュメモリー内のデータが失われるおそれがあります。

● 譜面立ての取り付け方



● 和文シート

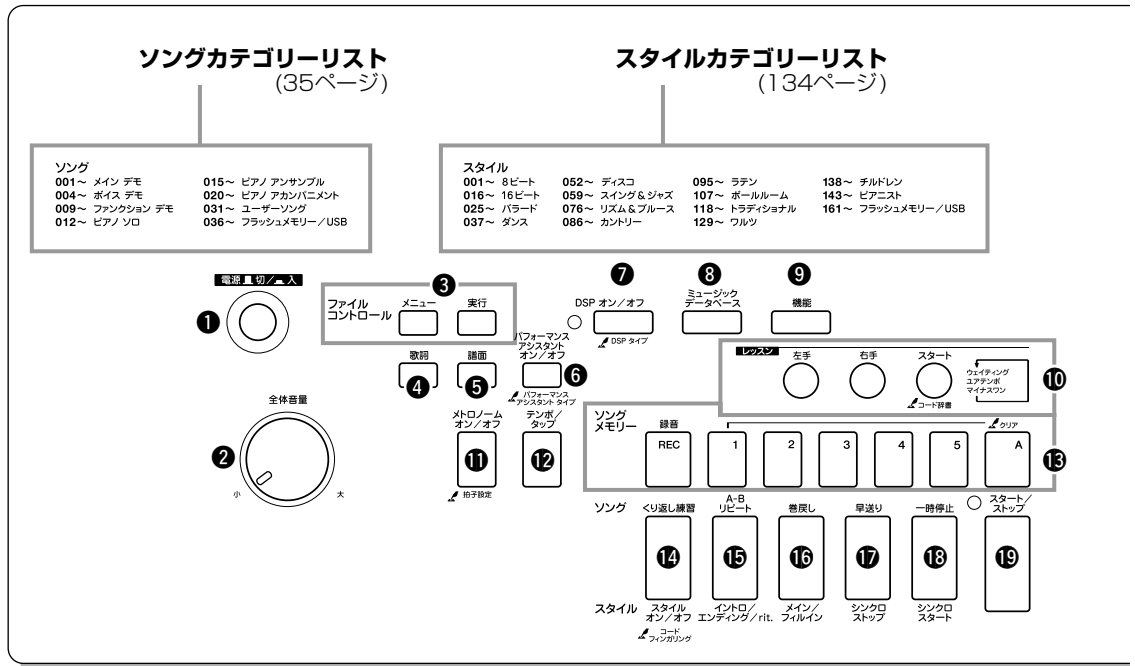
付属の和文シートをパネルにのせてご利用ください。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。





各部の名称

フロントパネル



フロントパネル

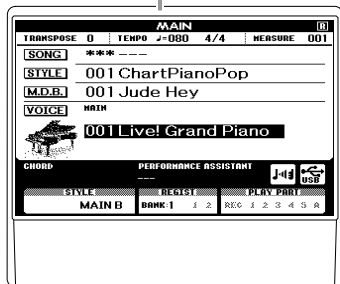
- ① [電源 切/入] (STANDBY/ON) スイッチ..... 15ページ
 - ② [全体音量] (MASTER VOLUME) コントロール..... 15、66ページ
 - ③ ファイルコントロール [メニュー] (MENU)、 [実行] (EXECUTE) ボタン 96~102ページ
 - ④ [歌詞] (LYRICS) ボタン 38ページ
 - ⑤ [譜面] (SCORE) ボタン 37ページ
 - ⑥ [パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタン 40ページ
 - ⑦ [DSP オン/オフ] (DSP ON/OFF) ボタン .. 73ページ
 - ⑧ [ミュージックデータベース] (MUSIC DATABASE) ボタン 57ページ
 - ⑨ [機能] (FUNCTION) ボタン 68、92ページ
 - ⑩ レッスン [左手] (L)、 [右手] (R)、 [スタート] (START) ボタン 51ページ
 - ⑪ [メトロノーム オン/オフ] (METRONOME ON/OFF) ボタン..... 24ページ
 - ⑫ [テンポ/タップ] (TEMPO/TAP) ボタン 34、75ページ
 - ⑬ ソングメモリー [録音] (REC)、 [1]~[5]、[A] ボタン 61ページ
 - ⑭ [くり返し練習] (REPEAT & LEARN)/ [スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタン 56、28ページ
 - ⑮ [A-Bリピート] (A-B REPEAT)/ [イントロ/エンディング/rit.] (INTRO/ENDING/rit.) ボタン 88、79ページ
 - ⑯ [巻戻し] (REW)/ [メイン/フィルイン] (MAIN/AUTO FILL) ボタン 34、79ページ
 - ⑰ [早送り] (FF)/ [シンクロストップ] (SYNC STOP) ボタン 34、81ページ
 - ⑱ [一時停止] (PAUSE)/ [シンクロスタート] (SYNC START) ボタン 34、80ページ
 - ⑲ [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタン 27、34、67ページ
 - ⑳ [ソング] (SONG) ボタン 33ページ
 - ㉑ [イージー ソング アレンジャー] (EASY SONG ARRANGER) ボタン 58ページ
 - ㉒ [スタイル] (STYLE) ボタン 27ページ
 - ㉓ [楽器] (VOICE) ボタン 19ページ
 - ㉔ ダイアル..... 67、92ページ
 - ㉕ カテゴリーボタン [▲]、 [▼] 67、92ページ
 - ㉖ [0]~[9] ボタン、 [+] ボタン、 [-] ボタン 67、92ページ
 - ㉗ [デモ] (DEMO) ボタン 35ページ
 - ㉘ [画面 戻る] (EXIT) ボタン 68ページ
 - ㉙ レジストレーションメモリー [メモリー /バンク] (MEMORY/BANK)、 [1]、[2] ボタン 90ページ
 - ㉚ [グランドピアノ] (PORTABLE GRAND) ボタン 22ページ
 - ㉛ [スプリット オン/オフ] (SPLIT ON/OFF) ボタン 21ページ
 - ㉜ [デュアル オン/オフ] (DUAL ON/OFF) ボタン 20ページ
 - ㉝ [ハーモニー オン/オフ] (HARMONY ON/OFF) ボタン 70ページ
 - ㉞ [ピッチベンド] (PITCH BEND) ホイール 74ページ
 - ㉟ ドラムキット 23ページ
- スタンダードキット1を選んだときに、各鍵盤に割り当てられる打楽器のイラストが印刷してあります。

画面(68、69ページ)

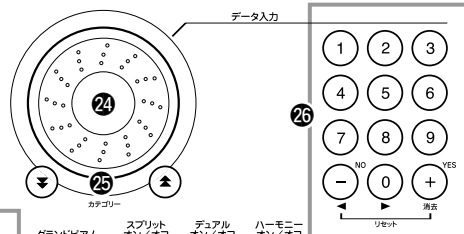
ミュージックデータベースリスト
(135ページ)

楽器カテゴリーリスト
(128ページ)

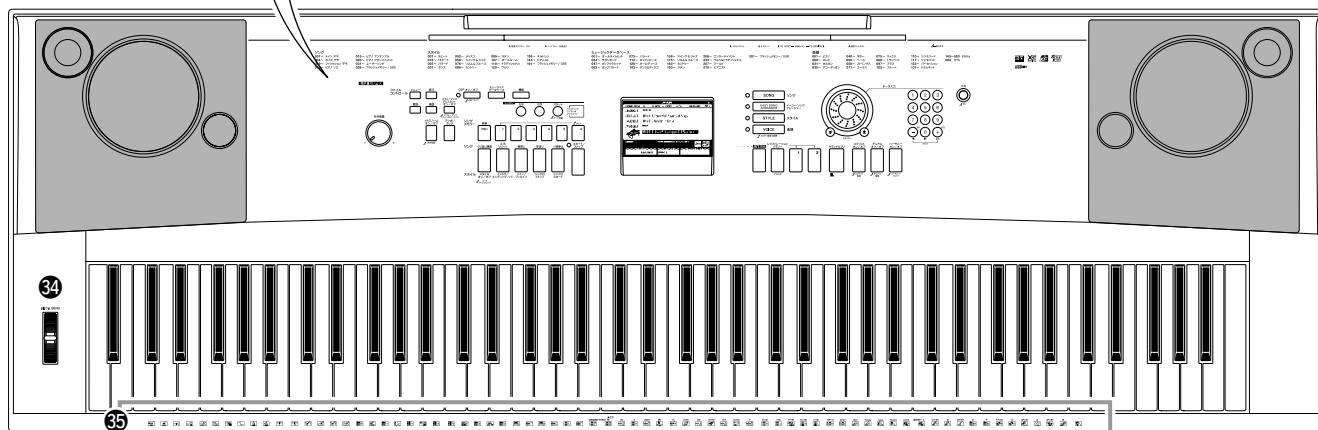
ミュージックデータベース			
001 ~ オールタイムヒット	073 ~ バラード	158 ~ スイング&ジャズ	206 ~ エンターテイメント
004 ~ モダンポップ	112 ~ ロックンロール	175 ~ リズム&ブルース	233 ~ ワルツ&トラディショナル
047 ~ ポップクラシック	126 ~ オールディーズ	183 ~ カントリー	257 ~ ワールド
063 ~ ポップバラード	143 ~ ダンス&ディスコ	193 ~ ラテン	270 ~ ピアニスト
			301 ~ フラッシュメモリー/USB



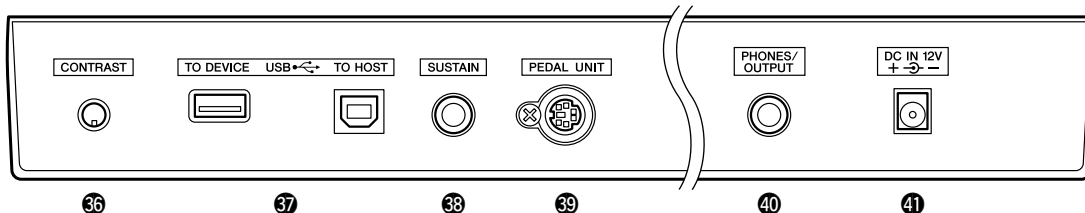
- 20 ○ SONG ソング
- 21 ○ EASY SONG ARRANGER イージーソングアレンジャー
- 22 ○ STYLE スタイル
- 23 ○ VOICE 楽器



- 24 25 26
- 27 デモ
- 28 レジストレーションメモリー
- 29 バンク
- 30 グランドピアノ
- 31 スプリット オン/オフ
- 32 デュアル オン/オフ
- 33 ハーモニー オン/オフ



リアパネル

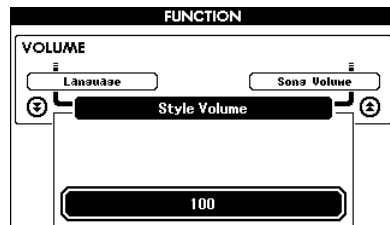


- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 36 CONTRASTツマミ 69ページ | 39 PEDAL UNIT端子 14ページ |
| 37 USB TO DEVICE端子 97ページ | 40 PHONES/OUTPUT端子 13ページ |
| USB TO HOST端子 104ページ | 41 DC IN 12V端子 13ページ |
| 38 SUSTAIN端子 13ページ | |

表示言語 (Language) を切り替える

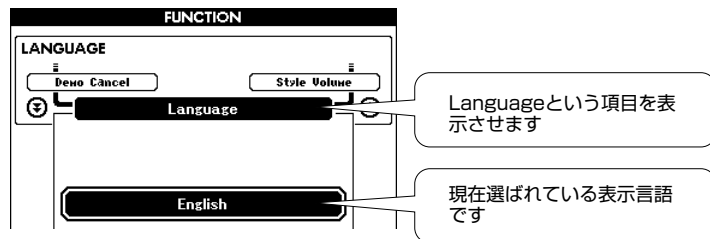
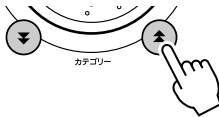
表示言語を日本語に切り替えておくと、歌詞表示、ファイル名、デモ画面およびメッセージ(一部)が日本語表示になります。次の手順に従って操作し、日本語に切り替えておきましょう(それ以外の部分は日本語に切り替えても英語表示のままです)。

1 [機能] (FUNCTION) ボタンを押して、FUNCTION画面を表示させます



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、表示言語の項目「Language」を表示させます

Language項目の下に、現在選ばれている表示言語が反転表示されます。反転表示された欄は、[+]、[-]ボタンを使って別の表示言語を選べる状態にあります。



3 [-] ボタンを押します

表示言語の設定が、English(英語)からJapanese(日本語)に切り替わります。

[+] ボタンを押すと英語表示になります。

表示言語の設定はフラッシュメモリーに記憶され、電源を切ってもこの設定は保存されます。

4 [画面 戻る] (EXIT) ボタンを押してMAIN画面に戻ります



いろいろな楽器音で弾いてみよう

この楽器では、鍵盤の音をピアノ以外の楽器の音に変えられます。
ギターやトランペット、フルートなど、好きな楽器の音に変えて弾いて
みましょう。

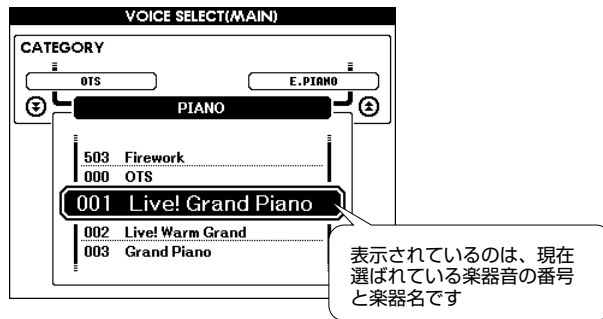
楽器音(ボイス)を選んで弾いてみよう メイン MAIN

鍵盤を押したときに鳴る基本の楽器音を選びます。ここで選ぶ楽器音のことをDGX-630ではメインボイスと呼びます。

1 [楽器] (VOICE) ボタンを押します

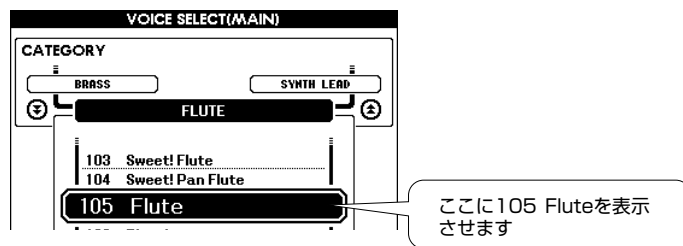
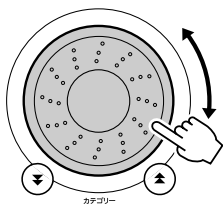
ボイス(楽器)リストが表示されます。
現在選ばれているボイスが反転表示されます。

- SONG ソング
- EASY SONG ARRANGER イージーソングアレンジャー
- STYLE スタイル
- VOICE 楽器 メロディ・音色の変更

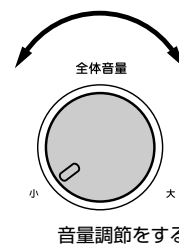
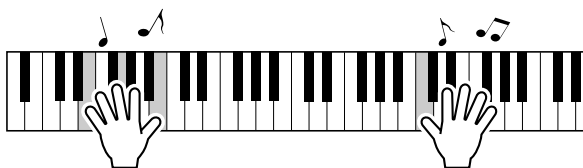


2 鳴らしたい楽器音を選びます

画面の反転表示の欄を見ながら、**ダイヤル**を回してみてください。
番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音がメインボイスになります。
ここでは「105 Flute(フルート)」を選んでみましょう。



3 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろ音を変えて楽しみましょう。
[画面 戻る] (EXIT) ボタンを押してメイン画面に戻ります。

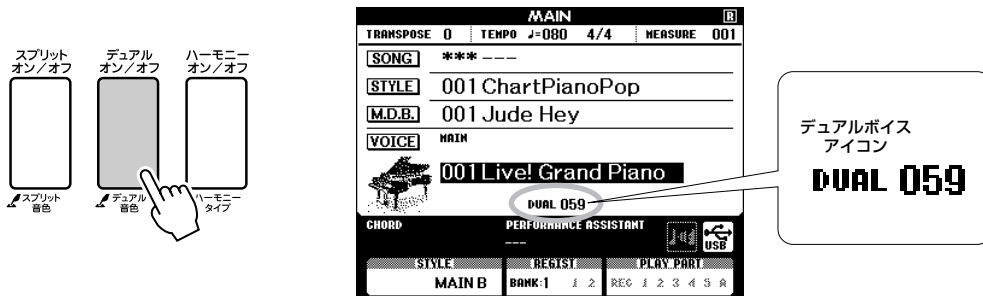
2つの楽器音(ボイス)を重ねて弾いてみよう デュアル DUAL

鍵盤を弾いたときに、メインボイスに加えてもう1つ別の楽器音を重ねて鳴らすことができます。DGX-630では、メインボイスに加えて鳴らすこの楽器音をデュアルボイスと呼びます。

1 [デュアル オン/オフ] (DUAL ON/OFF) ボタンを押します

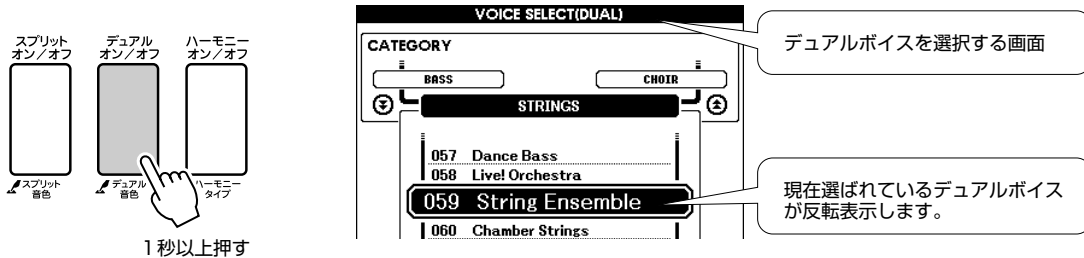
[デュアル オン/オフ] (DUAL ON/OFF) ボタンでデュアルボイスのオン/オフを切り替えます。

オンにすると画面にデュアルボイスアイコンが表示されます。鍵盤を弾くと、現在選択されているデュアルボイスが鳴ります。



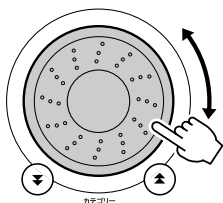
2 [デュアル オン/オフ] (DUAL ON/OFF) ボタンを1秒以上押します

デュアルボイスを選ぶ画面が表示されます。

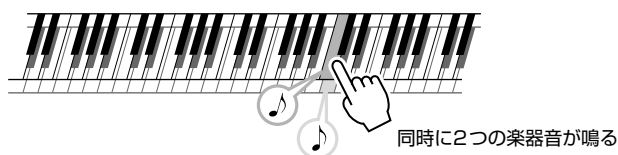


3 重ねたい楽器音(デュアルボイス)を選びます

画面の反転表示の欄を見ながら、**ダイヤル**を回してみてください。番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音がデュアルボイスになります。ここでは「123 Vibraphone(ビブラフォン)」を選んでみましょう。



4 鍵盤を弾いてみましょう



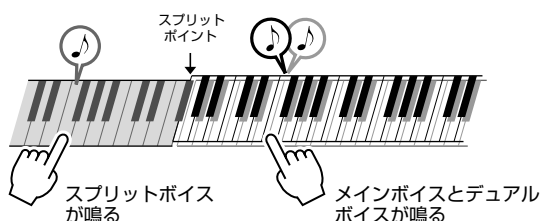
いろいろな音を変えて楽しみましょう。

[画面 戻る](EXIT) ボタンを押してMAIN画面に戻ります。

右手と左手で違う楽器音 (ボイス) を弾く スプリット SPLIT

鍵盤のスプリットポイントを境に、右側の鍵盤と左側の鍵盤で別の楽器音を鳴らします。

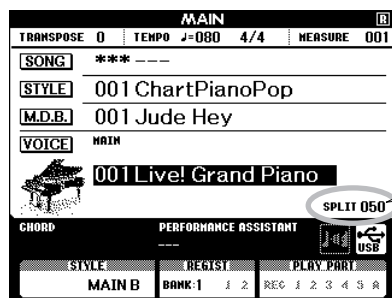
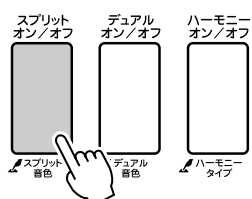
右側の鍵盤で鳴る楽器音をメインボイスとデュアルボイスといい、左側の鍵盤で鳴る楽器音をDGX-630ではスプリットボイスと呼びます。スプリットポイントの設定は変更できます(82ページ)。



1 [スプリット オン/オフ] (SPLIT ON/OFF) ボタンを押します

[スプリット オン/オフ] (SPLIT ON/OFF) ボタンでスプリットボイスのオン/オフを切り替えます。

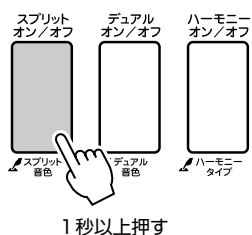
オンにすると画面にスプリットボイスアイコンが表示されます。スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、現在選択されているスプリットボイスが鳴ります。



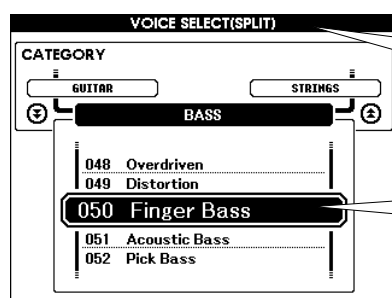
スプリットボイス
アイコン
SPLIT 050

2 [スプリット オン/オフ] (SPLIT ON/OFF) ボタンを1秒以上押します

スプリットボイスを選ぶ画面が表示されます。



1秒以上押す

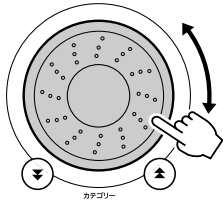


スプリットボイスを選択する
画面

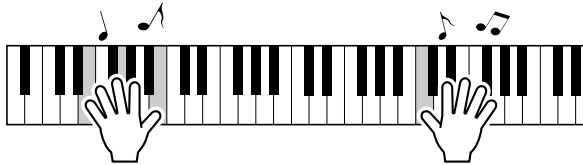
現在選ばれているスプリット
ボイスが反転表示されます

3 左側の鍵盤で鳴らしたい音(スプリットボイス)を選びます

画面の反転表示の欄を見ながら、**ダイヤル**を回してみてください。
番号と楽器音が次々に表示されます。この欄に表示させた楽器音が左側の
鍵盤の音になります。ここでは「041 Folk Guitar(フォークギター)」を
選んでみましょう。



4 鍵盤を弾いてみましょう



いろいろ音を変えて楽しみましょう。

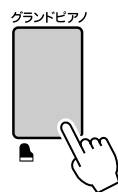
[画面 戻る](EXIT) ボタンを押してMAIN画面に戻ります。

グランドピアノの音で弾いてみよう グランドピアノ PORTABLE GRAND

「とにかくピアノの音で弾きたい」というときに便利なボタンです。

[グランドピアノ](PORTABLE GRAND) ボタンを押します

楽器音が001 グランドピアノの音色になります。



NOTE

・[グランドピアノ]
(PORTABLE GRAND) ボタン
を押すと、タッチレスポンス
以外はすべてオフになりま
す。デュアルやスプリットも
オフになるので、どの鍵盤を
弾いてもピアノの音になりま
す。



面白い音を鳴らそう

この楽器には、ドラムキット(打楽器音)や、パーティや余興で使えるユニークな効果音が満載されています。笑い声、小川のせせらぎ、ジェット機の轟音、お化け屋敷のような不気味な扉のきしみ音…。楽しい効果音を使って、パーティを盛り上げましょう！

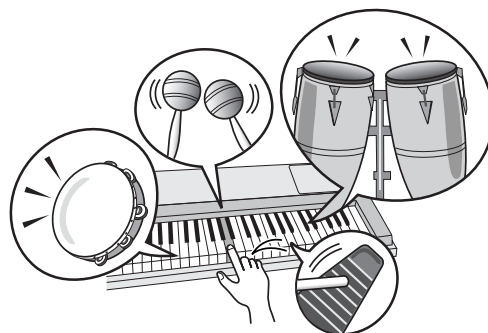
ドラムキット(打楽器音)を鳴らそう

ドラムキットとはさまざまな打楽器音の集合体です。メインボイスにバイオリンなど通常の楽器音を選択した場合は、各鍵盤はバイオリンの音しか鳴りませんが、メインボイスにドラムキットを選ぶと、各鍵盤を押したときにそれぞれ異なった打楽器の音が鳴ります。

◆ドラムキットを選ぶ手順(19ページ手順1、2参照)

- 1 MAIN画面で[楽器](VOICE)ボタンを押します
- 2 ダイアルを回して「131 Standard Kit 1」を選びます
- 3 打楽器音を鳴らしましょう

黒鍵も含めて順に弾いていくと、トライアングルやマラカス、ボンゴやドラムなど、さまざまな打楽器の音が鳴ります。ドラムキット(楽器番号131～142)の詳細については132ページの「ドラムキットリスト」をご覧ください。

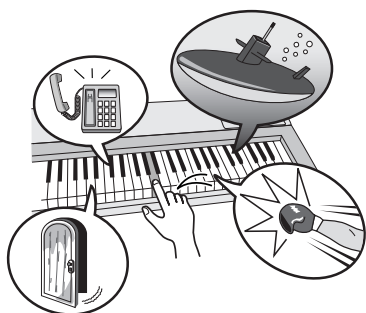


おもしろい効果音(SFXキット)を鳴らそう

効果音(楽器番号141、142)はドラムキットの一部です。楽器音に141や142を選ぶと、各鍵盤を押したとき、さまざまな効果音が鳴ります。

◆おもしろい効果音を選ぶ手順(19ページ手順1、2参照)

- 1 MAIN画面で[楽器](VOICE)ボタンを押します
- 2 ダイアルを回して「142 SFX Kit 2」を選びます
- 3 効果音を鳴らしましょう



黒鍵も含めていろいろな鍵盤を押さえてみてください。海底を潜行する潜水艦の音、電話の呼び出し音、扉のきしむ音など、さまざまな音が鳴ります。「141 SFX Kit 1」を選ぶと、雷雨や水のせせらぎ、嵐、犬の鳴き声などが楽しめます。(効果音が割り当てられていないので、鳴らない鍵盤もあります。)

SFXキット(楽器番号141、142)の詳細については133ページの「ドラムキットリスト」のSFXキット1、2の欄をご覧ください。





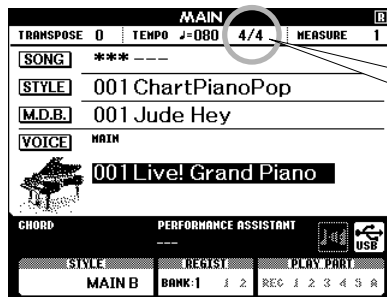
メトロノームを使おう

メトロノームの拍子やテンポを設定できます。
じっさいに弾いてみて、自分にあった早さに設定しましょう。

メトロノームを鳴らす

[メトロノーム オン/オフ] (METRONOME ON/OFF) ボタンを押してメトロノームをオンにすると、メトロノームの音が鳴ります

メトロノームを止めたいときは、もう一度同じボタンを押してオフにします。



メトロノームのテンポを設定する

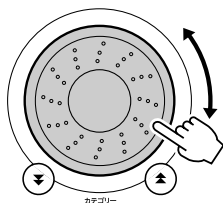
カチカチ鳴るテンポを調節できます。

1 [テンポ/タップ] (TEMPO/TAP) ボタンを押すと、画面にテンポが表示されます



表示のテンポ

2 ダイアルを回してテンポを設定します
5~280まで設定できます。

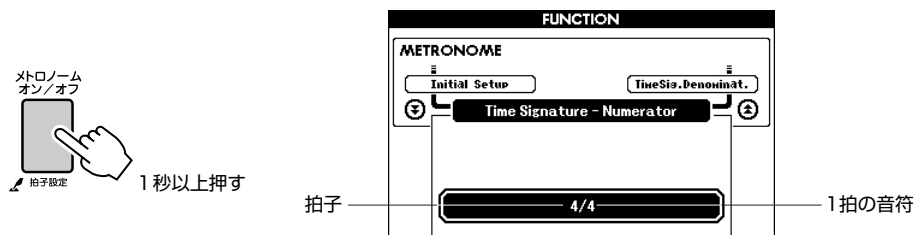


拍子の数(分子)と1拍の音符(分母)を設定する

ここでは5/8を設定してみましょう。

1 [メトロノーム オン/オフ](METRONOME ON/OFF) ボタンを1秒以上押します

画面に拍子の項目「Time Signature-Numerator」が表示され、現在設定されているメトロノームの拍子と1拍の音符が表示されます。



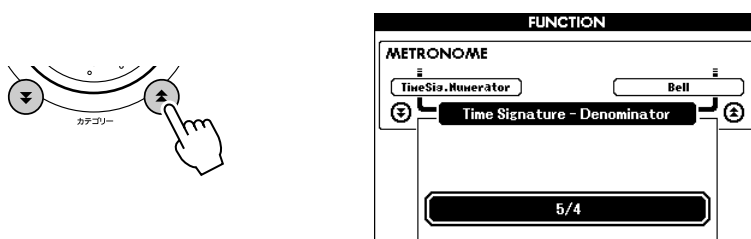
2 ダイアルを回して拍子を設定します

60拍子まで設定できます。ここでは5を選びます。1拍目にベルが「チーン」となり、それ以外の拍では「カチ」と鳴ります。

NOTE

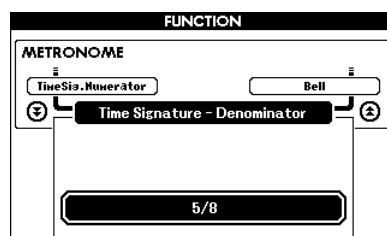
・メトロノームの拍子はスタイルやソングに同期するので、スタイルやソングの再生中は拍子を設定できません。

3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度かを押して、画面に音符の項目「Time Signature Denominator」を表示させます



4 ダイアルを回して音符を選びます

2、4、8、16分音符の中から選びます。ここでは8を選びます。



[メトロノーム オン/オフ](METRONOME ON/OFF) ボタンを押して確認します。

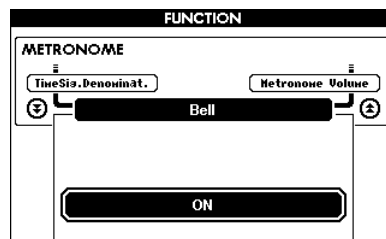
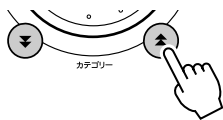
ベル音を設定する

ベル音のオン/オフを設定します。

- 1 [機能] (FUNCTION) ボタンを押します



- 2 画面に「Bell」が表示されるまで、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押します



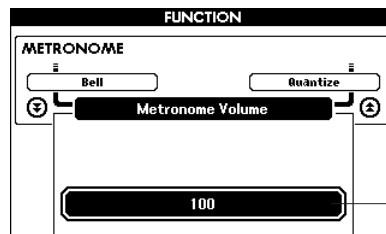
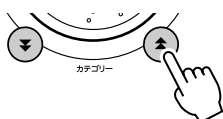
- 3 [+], [-] ボタンを使って、オン/オフを選択します

メトロノームの音量を設定する

- 1 [機能] (FUNCTION) ボタンを押します



- 2 画面にメトロノーム音量の項目「Metronome Volume」が表示されるまで、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押します



メトロノームの音量

- 3 ダイアルを回してメトロノームの音量を設定します



スタイル(自動伴奏)を鳴らしてみよう

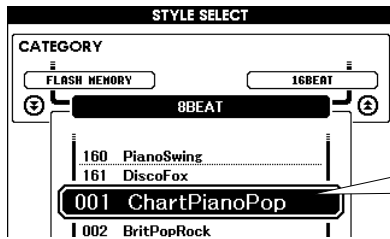
この楽器には、左手でコードを押さえるだけで、自動的にそのコードにあったスタイル(リズム+ベース音+コード音)を鳴らす、自動伴奏機能があります。リズムや拍子、アレンジが異なるスタイルが160種類も用意されています。(134ページのスタイルリストをご覧ください)。ここでは、この自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

スタイル(自動伴奏)のリズムを選ぼう

スタイルとは、リズムを含んだ自動伴奏です。この楽器はロックやブルース、ユーロトランスなど、さまざまなリズムの伴奏を鳴らすことができます。まずスタイルの基本となるリズムだけを聞きましょう。リズムは打楽器音だけで演奏されます。

1 [スタイル](STYLE)ボタンを押します

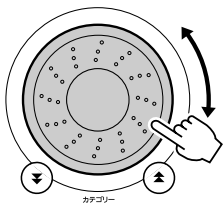
画面にスタイルの番号と名前が表示されます。



STYLE欄が反転表示されます。表示されているのは、現在選ばれているスタイル番号とスタイル名です

2 スタイルを選びます

ダイヤルを回して好きなスタイルを選びます。スタイルは、スタイルリスト(134ページ)にのっています。

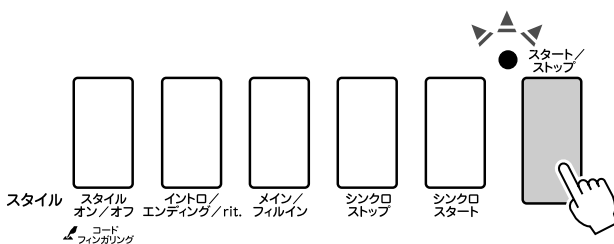


NOTE

・コンピューターから楽器内部に転送したスタイルや、楽器に接続したUSBフラッシュメモリー内のスタイルも、内蔵スタイルと同様に選べます(スタイル番号161～)。ファイルの転送については107ページをご覧ください。

3 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します

スタイルのリズムだけがスタートします。ストップさせたいときは、もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します。



NOTE

・131、143～160のスタイルはリズムパートがないためリズムは鳴りません。これらのスタイルは、スタイルをオン(28ページ)にした状態で[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押し、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、リズム以外のベース音やコード音を含むスタイルが鳴ります。

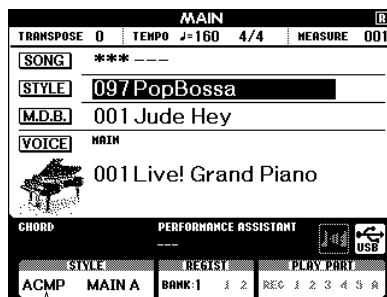
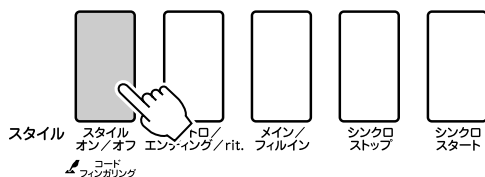
スタイルを鳴らして自分も演奏しよう

前ページでは、好きなスタイルのリズムの選び方を覚えました。
ここでは、選んだリズムにベース音やコード音を加えた、華やかなスタイルの鳴らしかたを覚えましょう。
それを伴奏に、自分も一緒に演奏します。

1 [スタイル] (STYLE) ボタンを押して、好きなスタイルを選びます

2 スタイルをオンにします

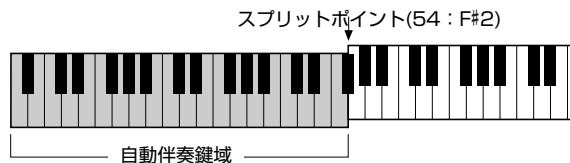
[スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンを押します。
もう一度ボタンを押すとスタイルはオフになります。



スタイルがオンのとき表示されます

●スタイルがオンになると…?

スプリットポイント (54 : F#2) より左側の鍵盤が、和音(コード)だけを鳴らす特殊な状態になります。これを自動伴奏鍵域といいます。

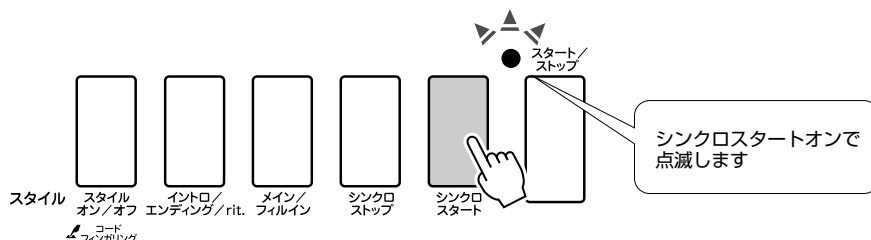


NOTE

- ・スプリットポイントは変更できます。変更方法は82ページにあります。

3 シンクロスタートをオンにします

[シンクロスタート] (SYNC START) ボタンを押します。



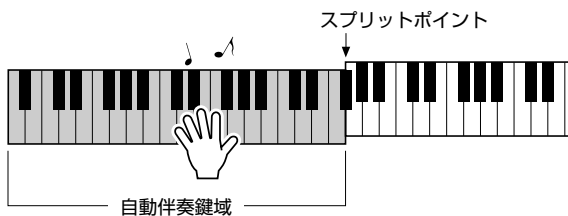
シンクロスタートをオンにすると、スプリットポイントより左側の鍵盤を押さえると同時に、ベース音やコード音を含んだスタイルが鳴ります。もう一度ボタンを押すと、シンクロスタートはオフになります。

4 左手でコードを弾くと、スタイルがスタートします

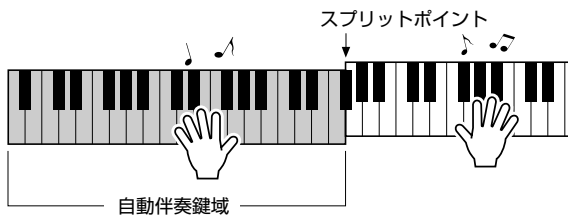
コードを知らない？ 大丈夫です。この楽器は、鍵盤を1つ押さえただけで、コードが押さえられた、と認識してくれます。左側の鍵盤を1〜3つ、自由に押さえてみましょう。ちがう鍵盤を押さえるたびに、スタイルの感じもどんどん変わります。

おすすめ!

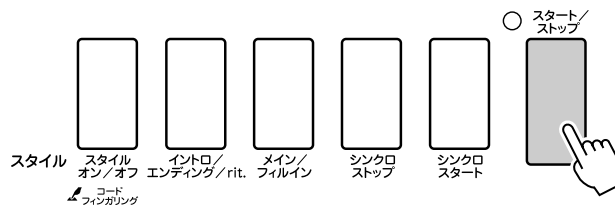
30ページに「コード進行」の楽譜をご用意しました。どのコードをどんな順番で弾けばスタイルがきれいに鳴るかわかります。ぜひご覧ください。



5 左手でいろいろなコードを弾き、右手でメロディーを弾いてみましょう



6 [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押すとスタイルがストップします



スタイルは、セクションを切り替えて演奏に変化をつけられます。79ページ「スタイルのパターンに変化を付ける(セクション)」をご参照ください。

コードが分かるとスタイルはもっと楽しい!

コードとは、複数の鍵盤を押さえて鳴らす「和音」のことです。このページでご紹介するのは、コードをいくつか連続して押さえていく「コード進行」です。コードは1つ1つ音の響きがちがうため、どのコードをどんな順番で押さえるかによって、生み出される音の印象はまったく変わります。

28ページでは、スタイルを華やかに鳴らす方法を覚えましたが、じつはスタイルをうまく使いこなすために不可欠なのがこの「コード進行」です。

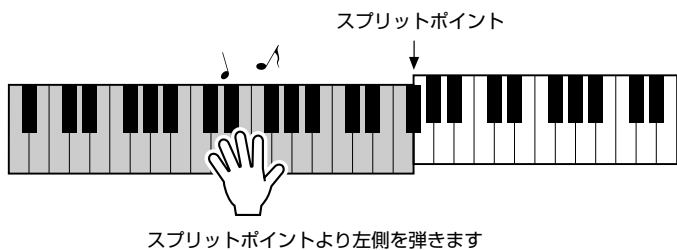
このページでは、使いやすいコード進行を3つご用意しましたので、ぜひ、スタイルを伴奏として鳴らしながら演奏してみてください。あなたの押さえるコードでスタイルが制御され、1つの曲のようになります。これは電子楽器特有の大きな楽しみです。

■演奏の仕方.....

譜面はすべて左手で弾きます。

譜面を弾く前に28ページ「スタイルを鳴らして自分も演奏しよう」の手順1～3を行なってください。

* このページに掲載されている譜面は、通常の楽曲の譜面ではなく、スタイル使用時にどの鍵盤を押さえるかを示すためのものです。



おすすめスタイル

041 ユーロトランス

～基本コードでダンスを弾く～

[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押す

F C G Am

ファラド ドミン ソシレ ラドミ

簡単で、効果的なコード進行です。最後まで弾いたら、また最初に戻って演奏しましょう。終わりたいときは[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押します。エンディングが流れてきれいに終了します。

おすすめスタイル 148 ピアノブギ

～3コードでブギウギを弾く～

[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押す

C (ドミン) F (ファラド) C (ドミン)
 G (ソシレ) F (ファラド) C (ドミン)

[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押す

3つのコードだけでメリハリがつかます。慣れてきたら、C、F、Gのコードの組み合わせや順番を変えてみましょう。

おすすめスタイル 096 ボサノバ

～ジャズのコード進行でボサノバを弾く～

[イントロ/エンディング/rit.]ボタンを押す

Dm (レファラ) G7 (ソシレファ) CM7 (ドミンシ) FM7 (ファラドミ)
 Bm7^{b5} (ラシレファ) E7 (ミン#シレ) Am (ラドミ) A7 (ソラド#ミ)

ジャズによく使われる「トゥーファイブ」のコード進行です。くり返し演奏しましょう。終わりたいときは、[イントロ/エンディング/rit.] (INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押します。

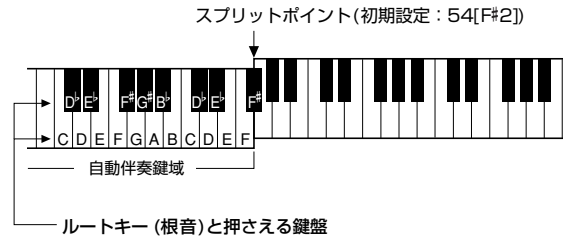
コードの押さえ方

- 簡単なコードの押さえ方
- 通常のコードの押さえ方

の2種類があります。





この楽器では、どちらの押さえ方でもコードを自動的に判断します。この機能をマルチフィンガリングといいます。

スプリットポイント (初期設定: 54[F#2]) より左の鍵盤を**自動伴奏鍵域**といいます。この範囲の鍵盤でコードを弾いてください。



■簡単なコードの押さえ方

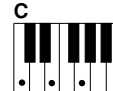




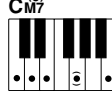





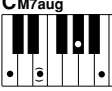
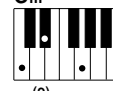






















自動伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

	・メジャー (M) コード ルートキー (根音) を押さえてください。
	・マイナー (m) コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。
	・セブンス (7) コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。
	・マイナーセブンス (m7) コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

■通常のコードの押さえ方

自動伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出しスタイルが演奏されます。

● C (ド) がルート音の場合の押さえ方

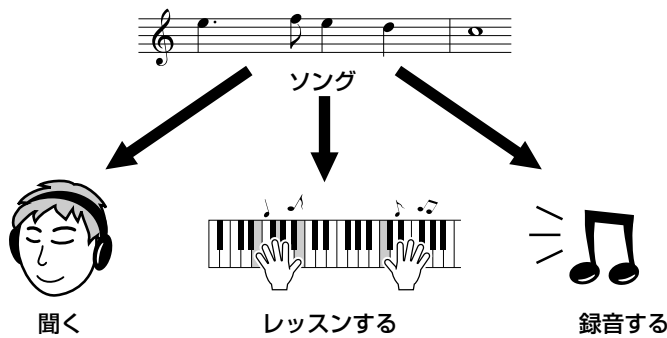
			
			
			
			
			
			
			
			
			

⦿ で表示される鍵盤は、省略してもかまいません。



ソングの使い方

ソングとは通常「歌」を意味しますが、この楽器では曲データを指します。この楽器に内蔵されているソング30曲は、聞いて楽しむだけでなく、パフォーマンスアシスタント機能や、レッスン機能など、この楽器に備わっているほとんどの機能と組み合わせて使えます。ソングはそれぞれの特徴によってカテゴリー分けされていますので、上手に使い分けましょう。ここではソングの選び方と鳴らし方、ソング30曲の特徴を紹介します。

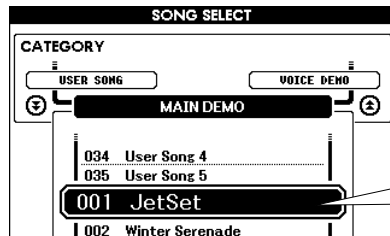


ソングを選んで聞いてみよう

1 [ソング](SONG)ボタンを押します

SONG欄が反転表示されます。

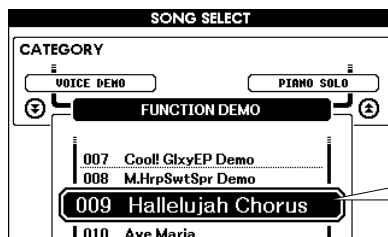
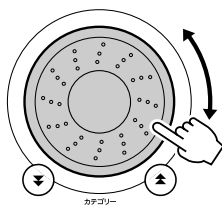
反転表示された欄は、ダイヤルを使って別のソングを選ぶことができる状態にあります。



SONG欄が反転表示されます。表示されているのは、現在選ばれているソング番号とソング名です

2 好きなソングを選びます

35ページの内蔵ソングのカテゴリーリストを参考に、ソングを選びます。ダイヤルを回して、SONG欄に好きなソングを表示させます。



ここに表示させたソングを鳴らすことができます

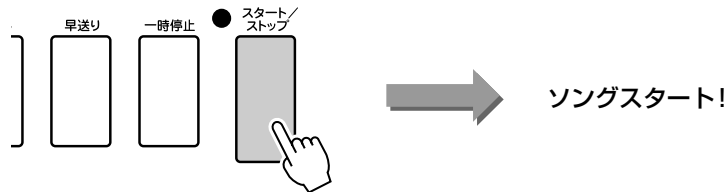
NOTE

- ・ユーザーソング(自分の演奏を録音したもの)や、コンピューターから転送したソング、USBフラッシュメモリー内のソングも鳴らせます。これらのソングの鳴らし方は、本体内蔵のソングを慣らす操作とまったく同じです。

001～030	内蔵ソング(35ページ参照)
031～035	ユーザーソング(自分の演奏を録音したソング)
036～	コンピューターからDGX-630へ転送したソング(107～109ページ参照)と、USBフラッシュメモリー内のソング(96ページ参照)

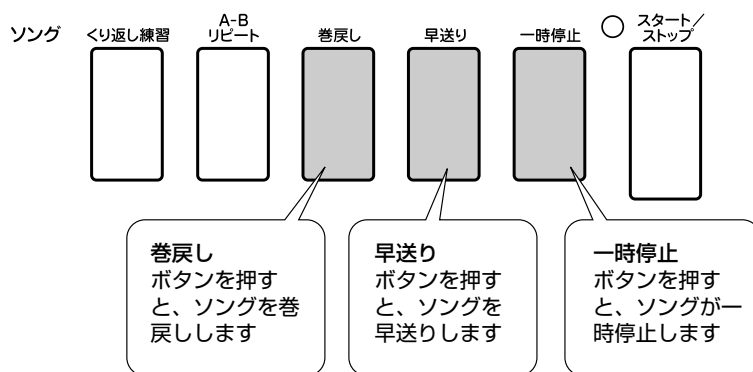
3 ソングを聞いてみましょう

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングの再生が始まります。
 もう一度[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングの再生は止まります。



ソングを早送り、巻戻し、一時停止するには

CDプレーヤーやカセットデッキのように、[早送り](FF)、[巻戻し](REW)、[一時停止](PAUSE)ボタンでソングの再生をコントロールできます。



ソングのテンポを変えたい場合は

ソングのテンポを変えてみましょう。[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押します。テンポ画面が表示されるのでダイヤルや[+]、[-]ボタン、または数字の[0]~[9]ボタンでテンポ(♩=5~280)を変更します。



設定前のテンポに戻したいときは[+]、[-]ボタンを同時に押します。
 設定が終わったら、[画面 戻る](EXIT)ボタンを押して、MAIN画面に戻ります。

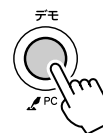
デモソングで試してみよう デモ DEMO

デモソングでもパフォーマンスアシスタント機能のコードタイプが使えます(それ以外のタイプは使えません)。

[デモ] (DEMO) ボタンを押します

デモソングが始まります。この楽器に内蔵された豊かな音色をお聞きいただけます。

デモソングは再生が終わると、また最初からスタートします。デモソングを終了する場合は、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します。



●ソングリスト

30曲はカテゴリー別に分かれています。「こんなときにおすすめ」という項目をお読みいただくと、弾きたいイメージや使いたい機能に合ったソングが一目でわかります。

カテゴリー	ソング番号	ソング名	こんなときにおすすめ
メイン デモ	1 CHORD	ジェットセット	この楽器の魅力を満載したデモ演奏曲です。聞いてよし、パフォーマンスアシスタント機能で楽しむもよし、の美しい曲です。
	2 CHORD	ウィンター・セレナーデ	
	3 CHORD	テイクオフ	
ボイス デモ	4 CHORD	ライブ・グランドピアノ・デモ	おすすめの楽器音をフィーチャーした曲です。楽器音の魅力を最大に生かしているの、オリジナルの曲想のヒントにもなるでしょう。
	5 CHORD	ライブ・オーケストラ・デモ	
	6 CHORD	クール・ローターオルガン・デモ	
	7 CHORD	クール・ギャラクシー・エレピ・デモ	
ファンクション デモ	8 CHORD	モダンハープ&スイートソプラノ・デモ	本体の持つ機能を体験するための曲です。9はイージーソングアレンジャー機能、10と11はパフォーマンスアシスタント機能を体験できます。
	9 CHORD	ハレルヤ・コーラス	
	10 CHORD	アベ・マリア	
ピアノ ソロ	11 CHORD	夜想曲 第2番	ピアノソロ曲です。レッスンソングにおすすめです。
	12	エリーゼのために	
	13	メイプル・リーフ・ラグ	
ピアノ アンサンブル	14	金髪のジェニー	ピアノアンサンブル曲です。レッスンソングにおすすめです。
	15 CHORD	アメージング・グレース	
	16 CHORD	モナ・リサ (Jay Livingston and Ray Evans)	
	17	ピアノ協奏曲 第21番 第2楽章	
	18 CHORD	スカボロ・フェア	
ピアノ アカンパニメント	19 CHORD	故郷の人々	バックパターン(伴奏)練習用ソングです。バンドでキーボード伴奏を頼まれたけど、伴奏のつけ方がわからない…そんなときは、このソングでレッスンしましょう。メロディーとは別に、伴奏部分だけを片手からレッスンできますので、伴奏のつけ方をじっくり学べます。
	20 CHORD	アコースティック・バラード (Against All Odds: Collins 0007403)	
	21 CHORD	エレクトリックピアノ・バラード	
	22 CHORD	ブギ・ウギ	
	23 CHORD	ロック・ピアノ	
	24 CHORD	サルサ	
	25 CHORD	カントリー・ピアノ	
	26 CHORD	ゴスペル・R&B	
	27 CHORD	ミディアム・スイング	
	28 CHORD	ジャズ・ワルツ	
	29 CHORD	ミディアム・ボサ	
30 CHORD	スロー・ロック (Can't Help Falling In Love: George David Weiss, Hugo Peretti and Luigi Creatore)		

CHORD : コードデータ付き

これら内蔵ソングの譜面がCD-ROM中のソングブックに入っています。ただしソング番号1~11、および著作権曲を含む16、20、30は除きます。ただしソング番号9~11の楽譜はこの取扱説明書の巻末にあります。内蔵ソングのうち、クラシックやトラディショナルなソングは、曲の長さやイメージが原曲と異なる場合があります。

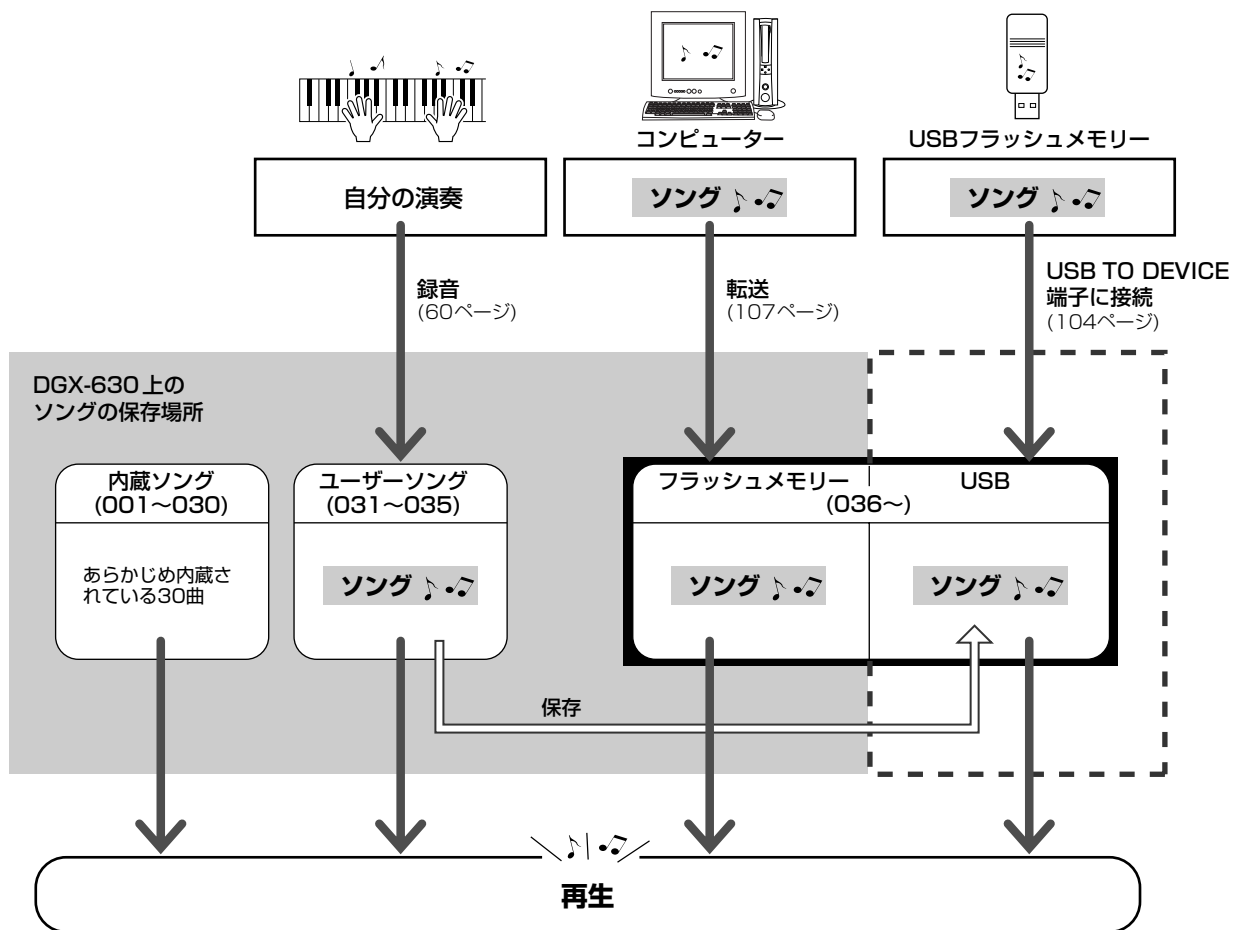
ソングの種類

DGX-630で扱えるソングは以下の3種類です。

- **内蔵ソング**(あらかじめ本体に内蔵されているソング30曲) ソング番号 001~030
- **ユーザーソング**(自分の演奏を録音したもの) ソング番号 031~035
- **外部ソングファイル***(楽器に接続したUSBフラッシュメモリー内のソング/コンピューターから本体へ転送した曲データ) ソング番号 036~

* 付属のCD-ROMには70曲のMIDIソングが入っています。楽器への転送方法は108ページをご覧ください。

下の表は内蔵ソング、ユーザーソング、外部ソングファイルの使い方の流れを表にまとめたものです。



NOTE

・ユーザーソングを保存するフラッシュメモリーと、コンピューターから転送した外部ソングファイルを保存するフラッシュメモリーは、別領域です。ユーザーソングを外部ソングファイル用のフラッシュメモリーに保存したり、外部ソングファイルをユーザーソング用のフラッシュメモリーに保存することはできません。

ソングの譜面を表示させてみよう スコア SCORE

この楽器には、譜面を表示する機能もあります。

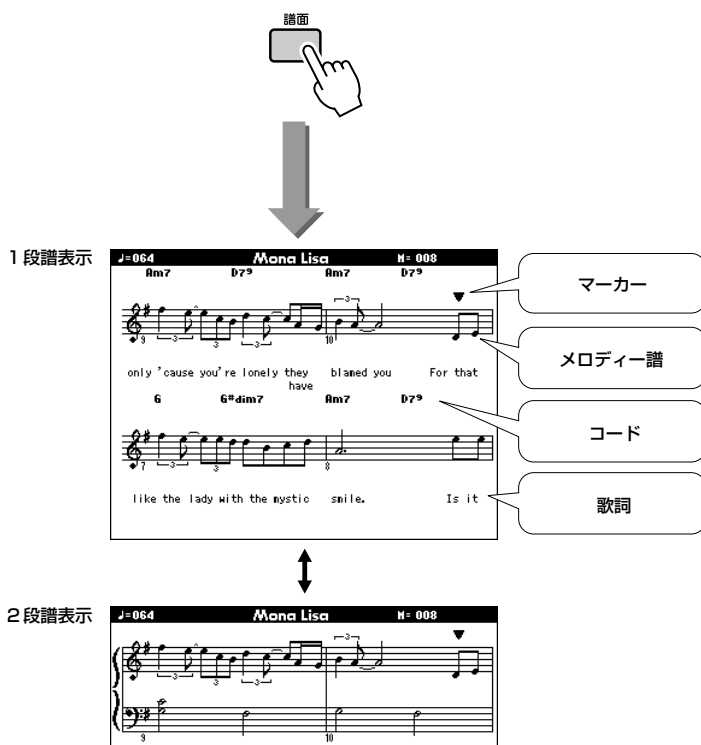
本体のソング001～030で、譜面が表示されます。SMFフォーマットであれば、コンピューターから転送したソングでも譜面が表示されます。

1 好きなソングを選びます

33ページの手順1から手順2までを行ないます。

2 [譜面] (SCORE) ボタンを押すと譜面が1段表示されます

譜面表示には1段譜表示と2段譜表示の2タイプがあり、[譜面] (SCORE) ボタンを押すたびに表示が切り替わります。



NOTE

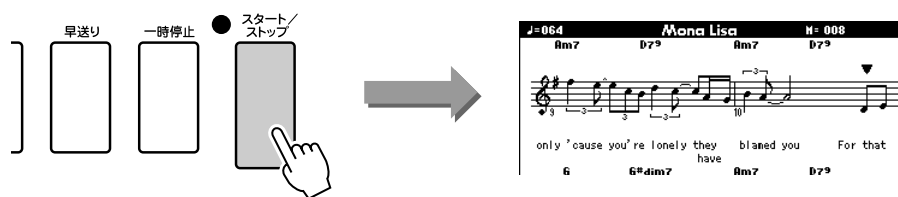
- ・ソングデータにコード情報、歌詞情報が含まれて1段譜表示させている場合は、コード、歌詞も表示します。
- ・歌詞が多い場合は、1小節につき、2段の歌詞が表示されます。
- ・歌詞表示が多い場合は、一部省略されることがあります。
- ・細かい休符などで見づらい場合は、クオンタイズ(94ページ)を変更すると見やすくなります。

NOTE

- ・2段譜表示させた場合は、コードと歌詞は表示できません。

3 [スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押します

ソングがスタートします。ソングの進行に合わせて譜面上部をマーカーが移動します。



4 MAIN画面に戻りたいときは、[画面 戻る] (EXIT) ボタンを押します

歌詞を表示させてみよう

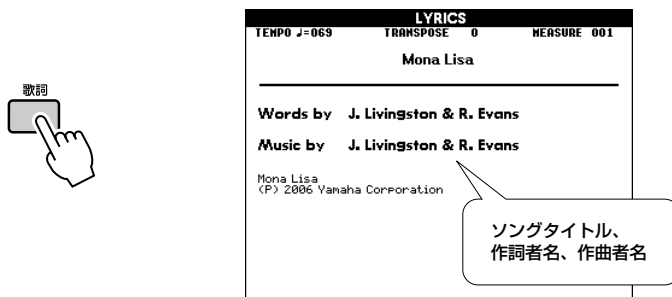
ソングに歌詞情報が含まれている場合、歌詞を表示させることができます。
歌詞情報が含まれていなければ、【歌詞】(LYRICS) ボタンを押しても歌詞は表示されません。

1 ソングを選びます

33ページの手順1から手順2までを行ないます。
ソングは016を選んでみましょう。

2 【歌詞】(LYRICS) ボタンを押します

選んだソングのタイトル、作詞者名、作曲者名などが表示されます。



NOTE

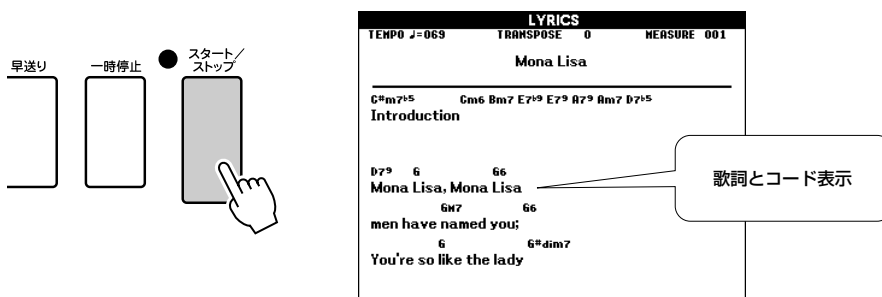
・インターネットからダウンロード(107ページ)したソングファイルや市販のソングファイルでも、XFフォーマット(6ページ)のような『歌詞情報を含んだスタンダードMIDIファイル』であれば、歌詞表示ができます。ただし一部のソングファイルでは、歌詞表示ができないものもあります。

NOTE

・歌詞が文字化けする場合は、表示言語を切り替えてください。(18ページ)

3 【スタート/ストップ】(START/STOP) ボタンを押します

ソングが再生し、画面に歌詞とコードが表示されます。
ソングの進行に合わせて歌詞表示が反転します。



■歌詞表示できる内蔵ソング

ソング番号	ソング名
016	Mona Lisa (Jay Livingston and Ray Evans)
020	Against All Odds (Collins 0007403)
030	Can't Help Falling In Love (George David Weiss, Hugo Peretti and Luigi Creatore)

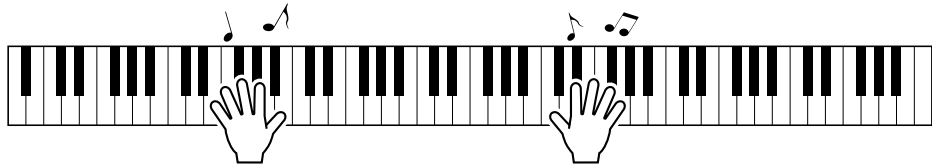


ピアニスト気分を満喫しよう!

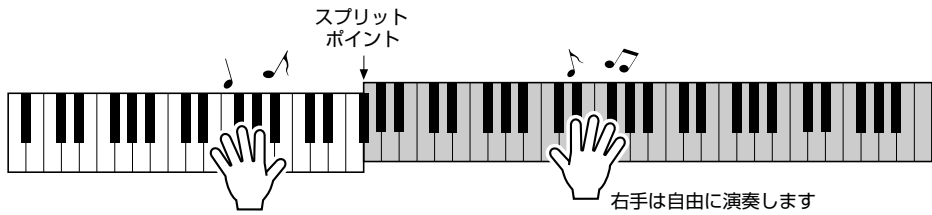
この楽器にはパフォーマンスアシスタントという機能が内蔵されています。ソングを鳴らしながらこの機能を使えば、どんな風に弾いても外れた音が出ません。でたらめに弾いても、きれいな和音やフレーズのような音が鳴ります。同じ鍵盤を指一本でポンポン…と連続して鳴らすだけで、メロディーを弾くこともできます。ピアノが弾けなくても、譜面が読めなくても大丈夫。さあ、やってみましょう!

パフォーマンスアシスタント機能には4つのタイプがありますので、好きなタイプが選べます。

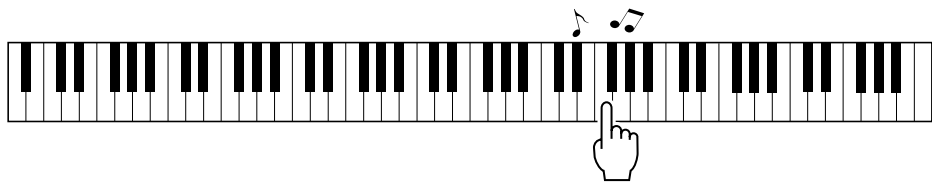
- コード**.....どんな風に弾いても調和のとれた音が鳴ります。左手も右手も、一番自由度の高い演奏ができます。



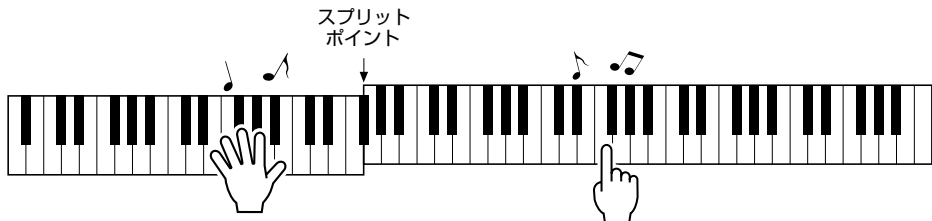
- コード/フリー**.....右手で簡単なメロディーは弾けるけど、左手の演奏はちょっと苦手。そんな方にぴったりのタイプです。鍵盤の左側だけにコードタイプを効かせて、左手の演奏をサポートします。



- メロディー**.....選んだソングのメロディーを指一本で弾くことができますので、鍵盤楽器に触れたことがない方にもぴったりです。



- コード/メロディー**...鍵盤の右側では、選んだソングのメロディーが指一本で弾けます。鍵盤の左側ではコードタイプを効かせて、左手の演奏をサポートします。

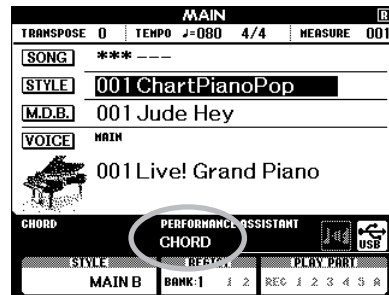


パフォーマンスアシスタント機能を使って弾くコツは、48ページにあります。

コード(CHORD) — 両手で華やかに弾いてみよう

1 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを押します

パフォーマンスアシスタント機能がオンになると、現在選ばれているタイプがMAIN画面に表示されます。

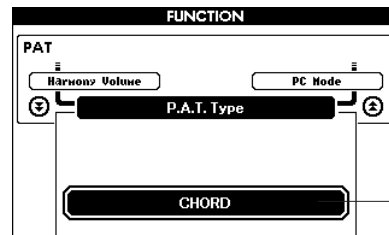
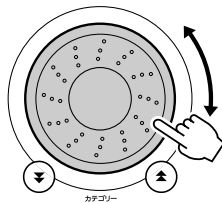


現在選ばれているタイプ

2 タイプにコードを選びます



1秒以上押す



CHORD(コード)を表示させます

[パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを1秒以上押すと、タイプを選ぶ画面が表示されますので、ダイヤルを回してCHORD(コード)を選びます。

3 ソングを選びましょう

[ソング] (SONG) ボタンを押すと、画面にソングリストが表示されますので、ダイヤルを回して好きなソングを選びます。ここでは「010 アベ・マリア(Ave Maria)」を選んでみましょう。

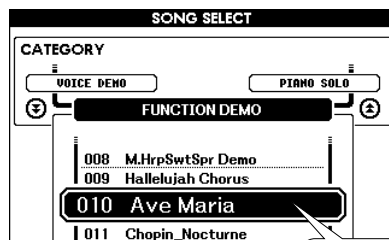
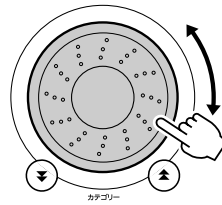
コードタイプでは、この曲だけ機能紹介が画面で見られます！

NOTE

・ソングを選んで鳴らそう。(33ページ)

- SONG ソング
- EASY SONG ARRANGER ジェーソング・シンジャー
- STYLE スタイル
- VOICE 楽器

メロディ音色の変更

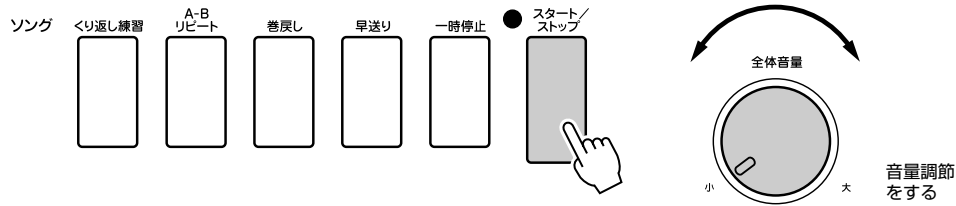


ここに表示されたソングを鳴らすことができます

●ソングとは…？

通常は「歌」を指しますが、この楽器では曲データのことです。パフォーマンスアシスタント機能はソングに含まれたコード情報やメロディー情報を使うため、必ずソングと組み合わせて使います。(33ページ)

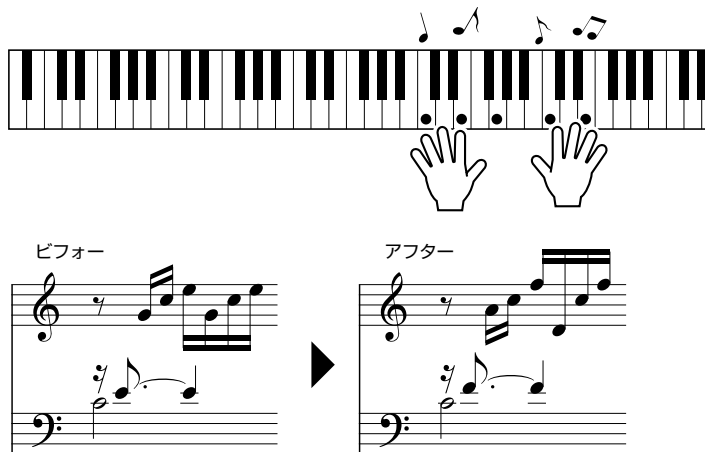
4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します



ソングの再生が始まります。

基本のパターンがくり返されますので、4小節分聞いて、メロディーラインのイメージをしっかり掴みます。次の小節からは、あなたが演奏してください！ 弾く鍵盤は画面に表示されます。

5 鍵盤を弾いてみましょう



曲に合わせて、両手で左側の楽譜を弾いてみましょう。弾く鍵盤はずっと同じ「ドミソドミソドミ」でかまいません。すると…？ 弾く鍵盤は同じなのに、曲がすすむにつれて、どんどん音が変わっていきます。これがパフォーマンスアシスタント機能の『コードタイプ』です。

曲の途中で[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングはストップします。

6 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ](P.A.T. ON/OFF) ボタンを押して、パフォーマンスアシスタント機能を終了します

MAIN画面のタイプ表示が「---」になります。

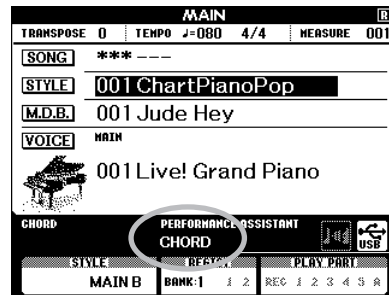
NOTE

・アベ・マリアの楽譜は124ページにあります。

コード/フリー (CHORD/FREE) — 左手だけコードタイプを効かせる

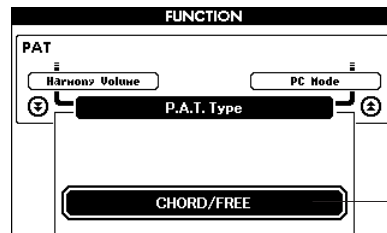
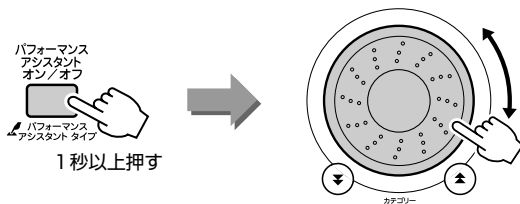
1 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを押します

パフォーマンスアシスタント機能がオンになると、現在選ばれているタイプがMAIN画面に表示されます。



現在選ばれているタイプ

2 タイプにコード/フリーを選びます



CHORD/FREE (コード/フリー) を表示させます

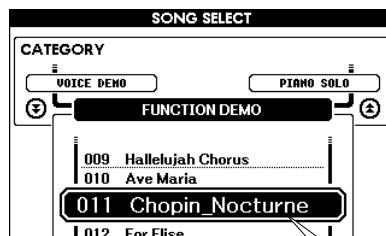
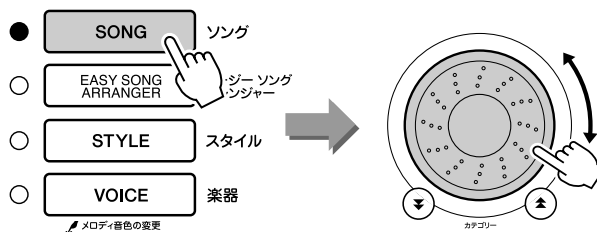
[パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを1秒以上押すと、タイプを選ぶ画面が表示されますので、ダイヤルを回してCHORD/FREE(コード/フリー)を選びます。

3 ソングを選びましょう

[ソング] (SONG) ボタンを押すと、画面にソングリストが表示されますので、ダイヤルを回して好きなソングを選びます。ここでは「011 夜想曲第2番 (Chopin_Nocturne)」を選んでみましょう。コード/フリータイプでは、この曲だけ機能紹介が画面で見られます！

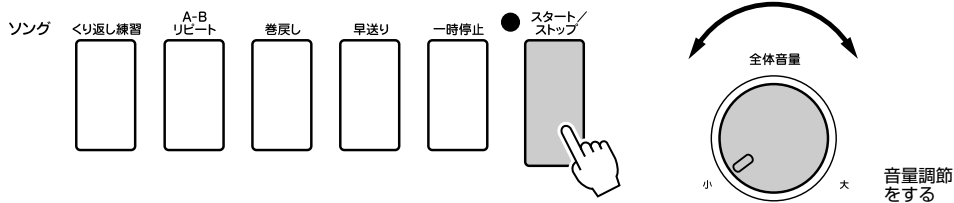
NOTE

・ソングを選んで鳴らそう。(33ページ)



ここに表示されたソングを鳴らすことができます

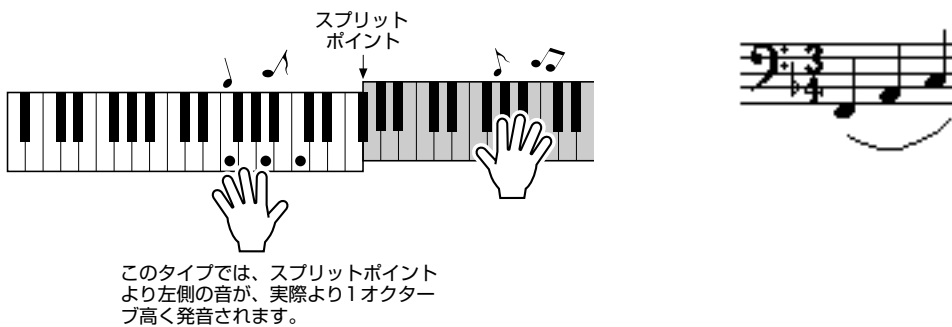
4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します



ソングの再生が始まります。
4小節分聞いて、次の小節からは、あなたが演奏してください！ 左手で弾く鍵盤は画面に表示されます。

5 鍵盤を弾いてみましょう

スプリットポイントを境に、右手は右側、左手は左側の鍵盤で演奏します。



右手は夜想曲 第2番のメロディーを弾きます。左手は画面に表示された譜面どおり、つねに「ファ、ラ、ド」の分散和音を弾きます。すると…？ 同じ鍵盤を弾いているのに、左手の分散和音がどんどん変わっていきますね！
これがパフォーマンスアシスタント機能の『コード/フリー』タイプです。

NOTE

・夜想曲 第2番の楽譜は126ページにあります。

右手の譜面が見たいときは、[譜面](SCORE)ボタンを押すと画面に表示されます。
曲の途中で[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングはストップします。

6 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ](P.A.T. ON/OFF) ボタンを押して、パフォーマンスアシスタント機能を終了します

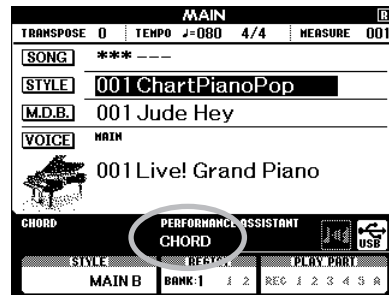
MAIN画面のタイプ表示が「---」になります。

メロディー (MELODY) — 指一本でメロディーを弾こう

メロディーを上手に弾くコツは、48ページにあります。

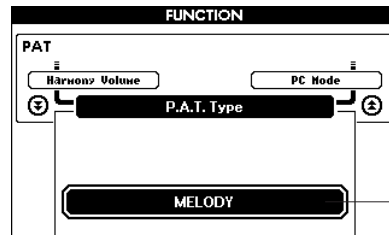
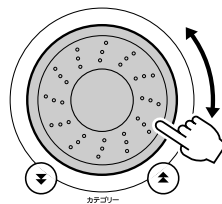
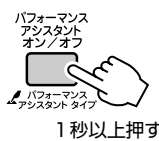
1 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを押します

パフォーマンスアシスタント機能がオンになると、現在選ばれているタイプがMAIN画面に表示されます。



現在選ばれているタイプ

2 タイプにメロディーを選びます



MELODY (メロディー) を表示させます

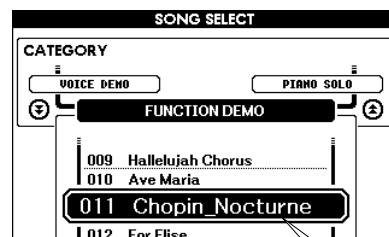
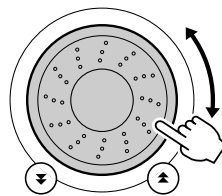
[パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを1秒以上押し、タイプを選ぶ画面が表示されますので、ダイヤルを回してMELODY(メロディー)を選びます。

3 ソングを選びましょう

[ソング] (SONG) ボタンを押すと、画面にソングリストが表示されますので、ダイヤルを回して好きなソングを選びます。

NOTE

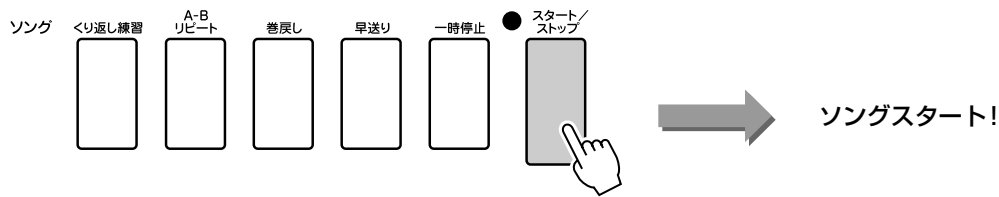
・ソングを選んで鳴らそう。(33ページ)



ここに表示されたソングを鳴らすことができます

4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します

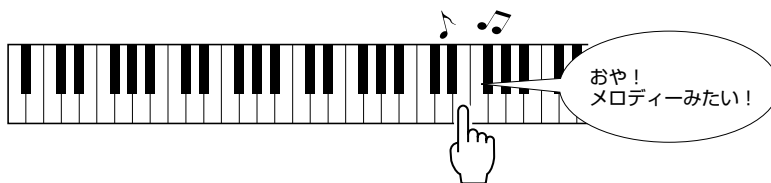
メロディータイプを選んでいるので、ソングのメロディーは鳴りません。
手順5でご自分でメロディーを弾いて楽しんでいただけます。



5 鍵盤を弾いてみましょう

まずはソングのリズムを感じてください。それから右手の指一本で、ソングのリズムにあわせながら、ポンポンポン…と鍵盤を鳴らしてみてください。どの鍵盤を弾いてもかまいません。

右手の譜面が見たいときは、[譜面] (SCORE) ボタンを押すと画面に表示されます。



いかがですか？ メロディーを思わせる旋律が鳴りましたね。
これがパフォーマンスアシスタント機能の『メロディー』タイプです。

曲の途中でも[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと、ソングはストップします。

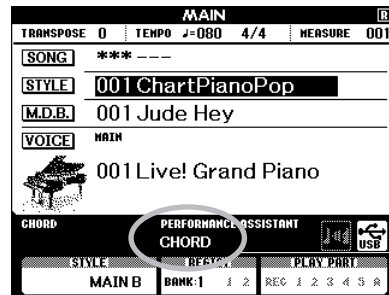
6 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを押して、パフォーマンスアシスタント機能を終了します

MAIN画面のタイプ表示が「---」になります。

コード/メロディー (CHORD/MELODY) — 左手はコードタイプ、右手はメロディー

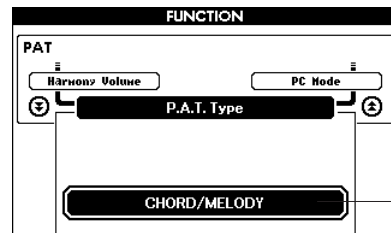
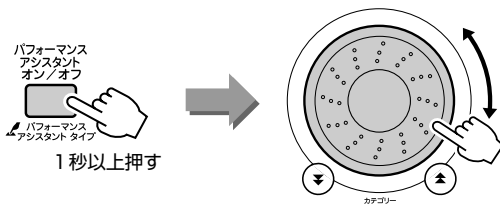
1 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを押します

パフォーマンスアシスタント機能がオンになると、現在選ばれているタイプがMAIN画面に表示されます。



現在選ばれているタイプ

2 タイプにコード/メロディーを選びます



CHORD/MELODY (コード/メロディー) を表示させます

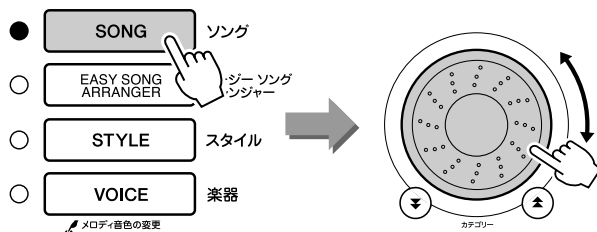
[パフォーマンスアシスタント オン/オフ] (P.A.T. ON/OFF) ボタンを1秒以上押すと、タイプを選ぶ画面が表示されますので、ダイヤルを回してCHORD/MELODY(コード/メロディー) を選びます。

3 ソングを選びましょう

[ソング] (SONG) ボタンを押すと、画面にソングリストが表示されますので、ダイヤルを回して好きなソングを選びます。

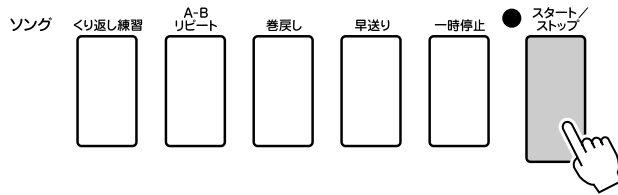
NOTE

・ソングを選んで鳴らそう。(33ページ)



ここに表示されたソングを鳴らすことができます

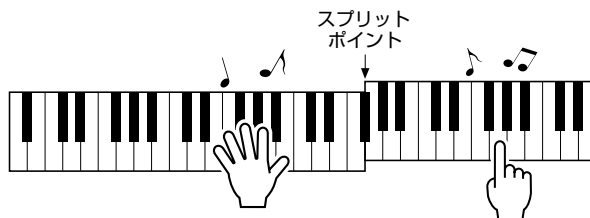
4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します



ソングの再生が始まります。
4小節聞いた後、次の小節からは、あなたが演奏してください！

5 鍵盤を弾いてみましょう

スプリットポイントを境に、右手は右側、左手は左側の鍵盤で演奏します。



このタイプでは、スプリットポイントより左側の音が、実際より1オクターブ高く発音されます。

右手はソングのメロディーのリズムどおりに弾きます。スプリットポイントより右側であれば、どの鍵盤を弾いてもかまいません。左手は和音やフレーズを伴奏のように弾きます。

すると…？ 右手はソングのメロディー、左手はきれいな和音やフレーズが鳴りますね！

これがパフォーマンスアシスタント機能の『コード/メロディー』タイプです。

右手の譜面が見たいときは、[譜面](SCORE)ボタンを押すと画面に表示されます。

曲の途中でも[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すと、ソングはストップします。

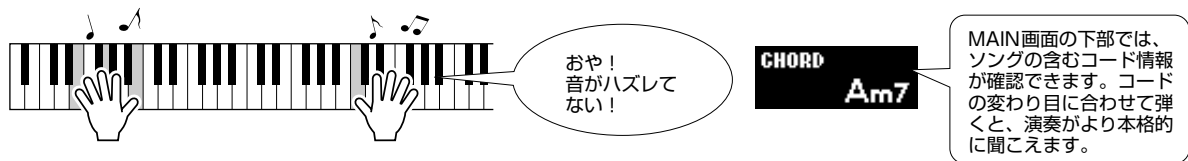
6 [パフォーマンスアシスタント オン/オフ](P.A.T. ON/OFF) ボタンを押して、パフォーマンスアシスタント機能を終了します

MAIN画面のタイプ表示が「---」になります。

—パフォーマンスアシスタントを使って—

それっぽく弾きこなしたい！

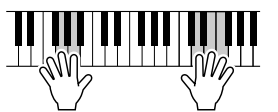
コードタイプを選んだ場合のコツをご紹介します。
コード/フリー、コード/メロディーを選んだ場合は、左側の鍵盤がコードタイプになりますので、ここでのコツは左側の鍵盤に使えます！
まずは、ソングのリズムを感じてください。両手をじゃんけんのパーの形にして、ソングのリズムに合わせて、そのまま交互に鍵盤を押さえて音を鳴らしてください。押さえる鍵盤はどこでもかまいません。



どうでしょう？どこを弾いても外れた音が鳴りませんね。
これが『パフォーマンスアシスタント機能』です！

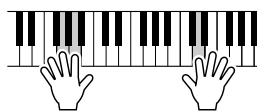
次は、以下の3通りの弾き方を試してみてください。弾き方がちがうと鳴る音も変わります。

●左手と右手を同じタイミングで弾く(1)



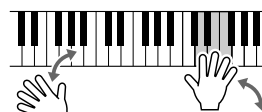
右手は一度に3音
まとめて弾く

●左手と右手を同じタイミングで弾く(2)



右手は「人さし指→中指→薬指」
のように1音ずつ弾く

●左手と右手を交互に弾く



右手は一度に3音
まとめて弾く

慣れてきたら、左手は和音、右手は単音で弾くなど、いろいろな弾き方で楽しみましょう！

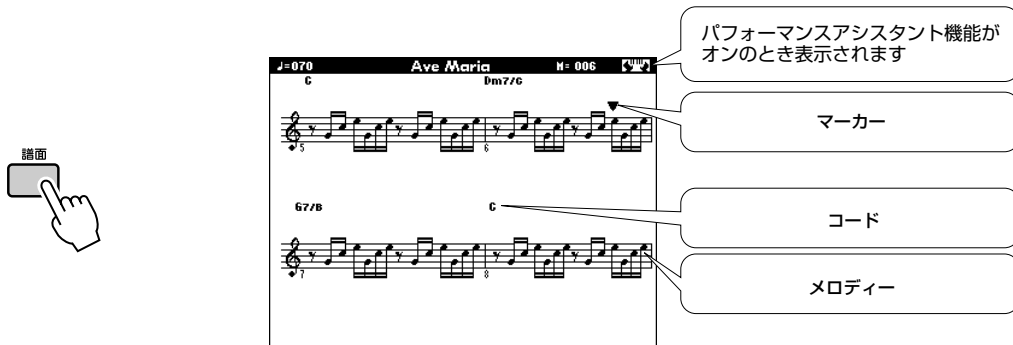
メロディータイプの場合は譜面を活用しよう

正確なリズムでメロディーを弾きたいときは、譜面を表示させましょう。

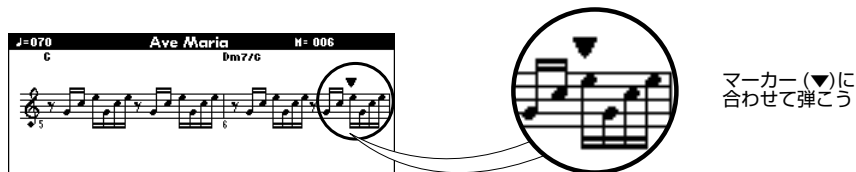
《譜面の出し方》

44ページの手順1～4まで行なったあと、[譜面](SCORE)ボタンを押します。

メロディー譜が表示されます。



ソングの進行に合わせてマーカー (▼)がメロディー譜の上部を移動します。マーカー (▼)が音符の真上にくるたびに鍵盤をおさえると、原曲どおりのリズムでメロディーが弾けます。



●パフォーマンスアシスタント機能を使えるソング

コードタイプを選んだ場合は「コード情報」が含まれたソングでなければパフォーマンスアシスタント機能は使えません。メロディータイプを選んだ場合は、「メロディー情報」が含まれたソングでなければ使えません。必要な情報が含まれているかどうかを見分けるには、使いたいソングを選択したあと、[譜面](SCORE)ボタンを押します。[譜面](SCORE)ボタンを押して、コードが表示されれば、コードタイプが使えます。メロディーが表示されれば、メロディータイプが使えます。

●内蔵曲以外のソングで機能を試したい

内蔵ソング30曲に加えて、インターネットからコンピューターにダウンロードしたソングも、コード情報やメロディー情報を含んでいれば、楽器内へ転送してそれぞれのタイプで使うことができます。楽器への転送方法は108ページをご覧ください。



曲を選んでレッスンしてみよう

Yamaha Education Suite

好きなソングを選んで、右手、左手、両手別にレッスンができます。

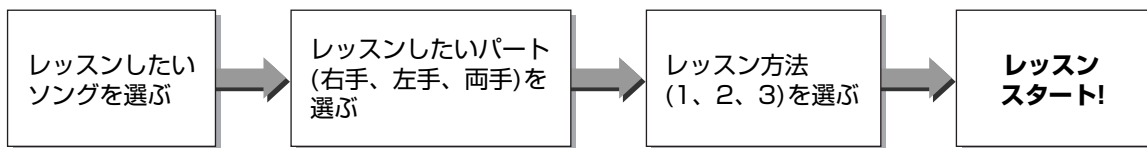
レッスン方法は3段階です。

コンピューターから楽器に転送したSMFフォーマット0と1のソングデータもレッスンに使えます(107ページ参照)。レッスン中は、ゆっくり弾いても、弾く音を間違えても大丈夫。弾く人のテンポに合わせてソングがペースダウンしてくれるので、自分のペースでゆったり練習できます。

さあ、やってみましょう！

レッスン手順は次のとおり！

ピアノソロ、ピアノアンサンブルカテゴリーの曲(012~019)がおすすめです！



レッスン方法

- レッスン1正しい鍵盤を押さえる
- レッスン2タイミングを合わせて正しい音を弾く
- レッスン3仕上げのレッスン

レッスン1：ウェイティング

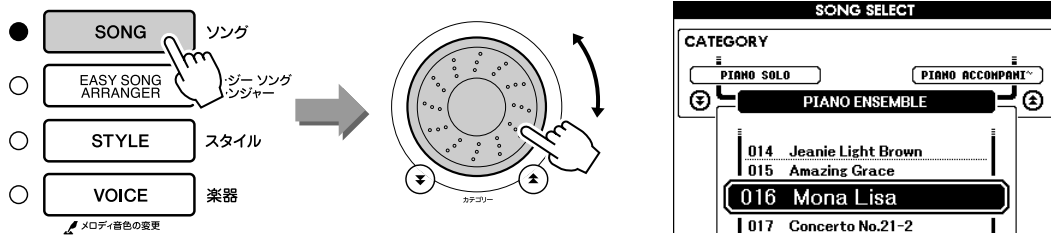
正しい鍵盤を押さえるレッスンです。

画面には、押さえる鍵盤位置と音符が表示されます。

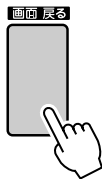
伴奏は、正しい鍵盤が押さえられるまで、進まず待っていてくれます。

1 レッスンしたいソングを選びます

[ソング](SONG) ボタンを押すと、ソングリストが表示されますので、ダイヤルを回してレッスンしたいソングを表示させます。ここでは「016 Mona Lisa (モナリザ)」を選んでみましょう。

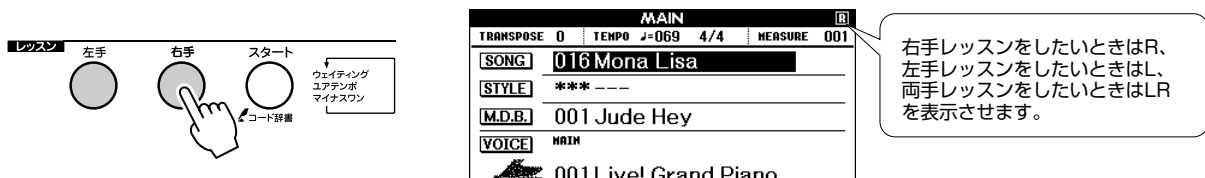


2 [画面 戻る](EXIT) ボタンを押して、MAIN画面に戻ります



3 レッスンしたいパート(右手、左手、両手)を選びます

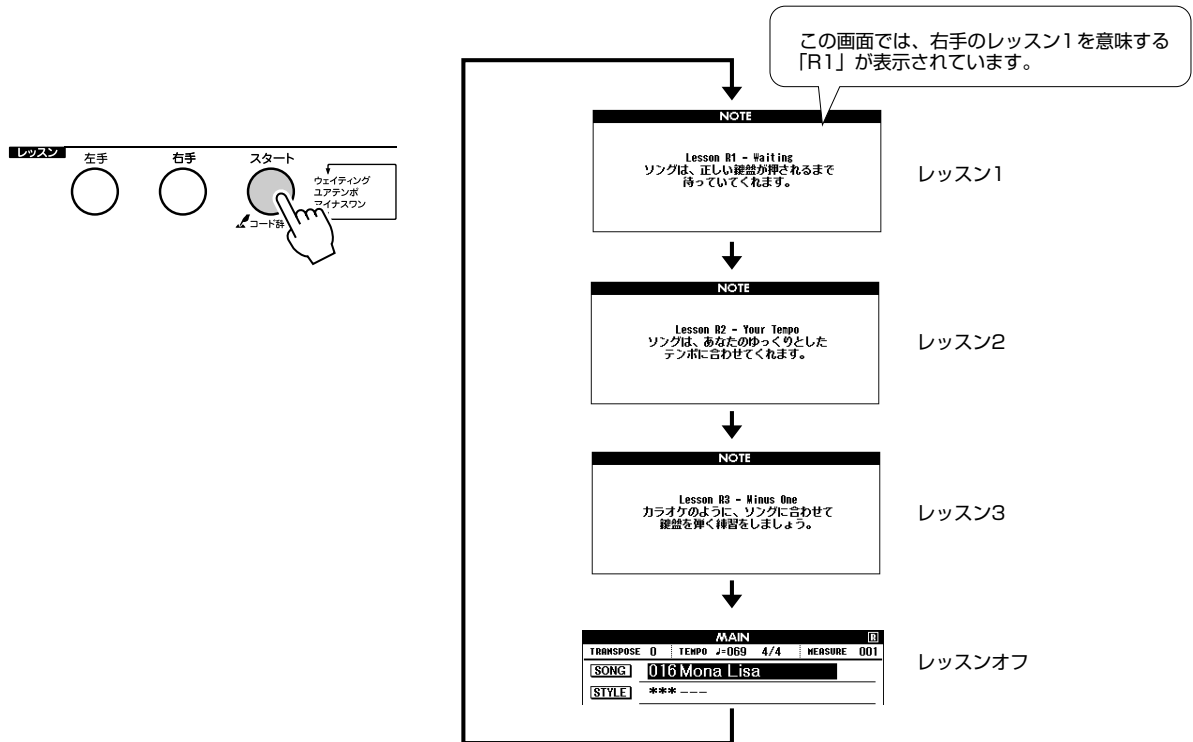
右手のレッスンをしたいときは[右手](R) ボタン、左手のレッスンをしたいときは[左手](L) ボタンを押します。両手のレッスンをしたいときは[右手](R) ボタンと[左手](L) ボタンを同時に押します。画面右上には選んだパートが表示されます。



4 レッスン1を始めましょう

レッスン[スタート] (START) ボタンを何度か押して、レッスン1を選びます。


レッスン[スタート] (START) ボタンを押すたびにレッスンモードは「レッスン1」→「レッスン2」→「レッスン3」→「オフ」→「レッスン1」…の順番で切り替わり、選んだレッスンの説明が画面に表示されます。



レッスン1を選ぶとソングが自動的にスタートします。

画面上の譜面を見ながら正しい音を弾いてください。弾く音は、画面の鍵盤上にマーカー(●)で示されます。正しい鍵盤が押されると、次に押さえる鍵盤位置にマーカーが移動します。伴奏は、正しい鍵盤を押さえるまで待ってくれます。譜面のマーカー(▼)はソングの進行の目安です。

●画面の鍵盤を左右に動かす

[+]、[-]ボタンを押すと、隠れていた鍵盤()部分が表示されます。



画面に表示されている鍵盤は61鍵です。DGX-630は88鍵あるので、ソングによっては非常に高い音、低い音が画面の鍵盤に表示されないことがあります。その場合、画面の鍵盤の左右に領域オーバー表示が出るので、[+]、[-]ボタンを押して、鍵盤を左右に動かしてください。隠れていた鍵盤部分とマーカー (●)位置が表示されます。また、実際の鍵盤領域から外れた音には、レッスン機能は使えません。

5 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとレッスン機能が終了し、MAIN画面に戻ります。

レッスン1ができるようになったら、次はレッスン2に進みましょう！

■評価をみましょう.....



ソングを最後まで再生してレッスンを終了すると、その演奏が4段階(OK, Good, Very Good, Excellent)で評価され、画面に表示されます。Excellent! が最もよい評価です。

評価の表示後、ソングが最初から自動的にスタートし、再びレッスンが始まります。

NOTE

・評価はオフにすることもできます。→FUNCTION画面のGrade項目。(95ページ)

レッスン2：ユアテンポ

正しい鍵盤を正しいタイミングで弾くレッスンです。

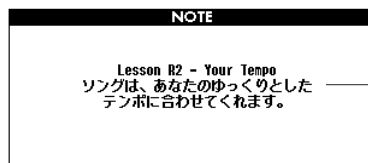
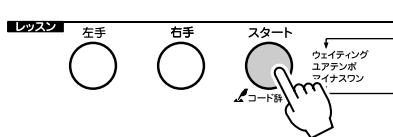
弾く人のペースに合わせてソングのペースが変化します。

音を弾き間違えたときはソングのテンポがゆっくりに。自分のペースで練習したい方におすすめです。

1 ソングとレッスンパートを選びます⇒(50ページの手順1～3)

2 レッスン2を始めましょう

レッスン[スタート] (START) ボタンを押すたびに、レッスン1→レッスン2→レッスン3→オフ→レッスン1…と切り替わります。

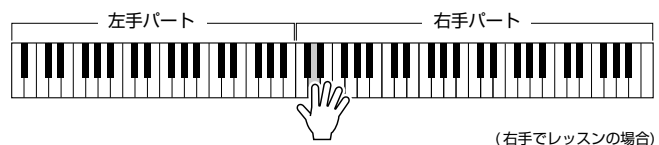


この画面では、右手のレッスン2を意味する「R2」が表示されています

レッスン2を選ぶとソングが自動的にスタートします。

▼マーカーが画面に表示され、ソングに合わせて移動するので、それに合わせて弾いてみましょう。音を弾き間違えたりすると、ソングのテンポがゆっくりになります。正しい音を正しいタイミングで弾くと、徐々に本来のテンポに戻っていきます。

▼マーカーの移動に合わせて弾きましょう



3 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押すとレッスン機能が終了し、MAIN画面に戻ります。

レッスン2ができるようになったら、次はレッスン3に進みましょう！

レッスン3：マイナスワン

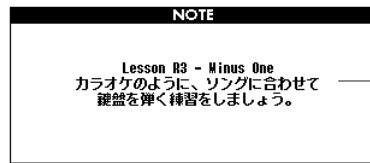
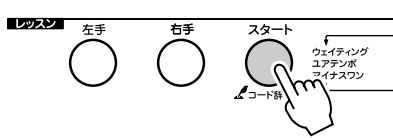
正しい音を正しいタイミングで弾く練習をしましょう。

カラオケのように、あなたの弾くパートだけが鳴らずにソングが進みます。ソングをよく聞いて演奏しましょう。

1 ソングとレッスンパートを選びます⇒(50ページの手順1～3)

2 レッスン3を始めましょう

レッスン[スタート] (START) ボタンを押すたびに、レッスン1→レッスン2→レッスン3→オフ→レッスン1…と切り替わります。

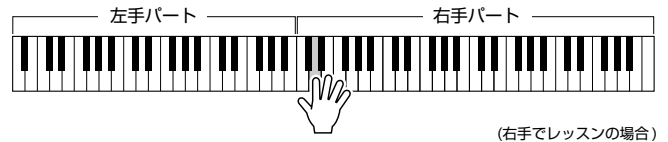
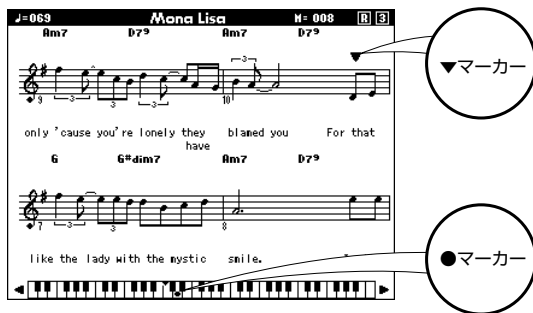


この画面では、右手のレッスン3を意味する「R3」が表示されています

レッスン3を選ぶとソングが自動的にスタートします。

画面に表示される音符を弾きましょう。

画面には弾く音の音符と鍵盤位置がマーカーで表示されます。



3 レッスンを終わるには

[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押すとレッスン機能が終了し、MAIN画面に戻ります。

くり返し練習しよう

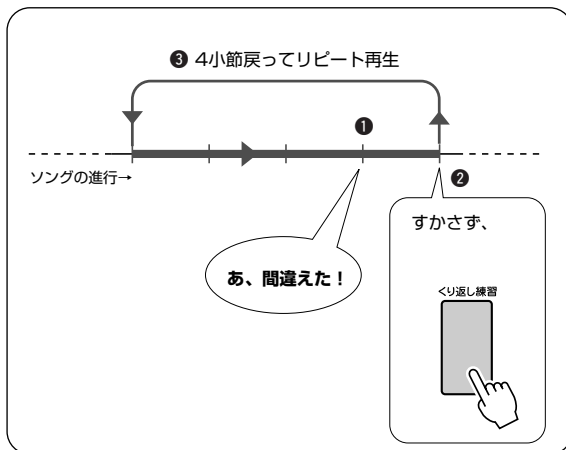
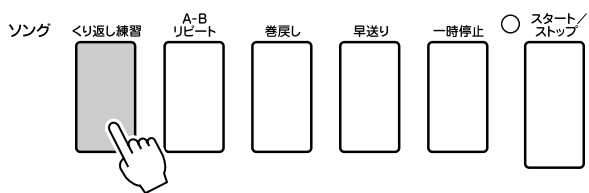
レッスン中に間違ったところを少し手前から弾きなおしたい、苦手なところをくり返して練習したい。こんなときは[くり返し練習](REPEAT & LEARN)ボタンを使いましょう。

レッスン中に[くり返し練習](REPEAT & LEARN)ボタンを押します

ソングが押した時点から4小節前まで戻り、1小節カウントしたあと再生されます。押した時点までくると、また4小節前まで戻ってくり返し再生するので、「あっ、間違えた」というときにポンと押せば、間違えた部分も含んで何度でも練習できます。

NOTE

- ・リピート再生中に[1]~[9]の数字ボタンを押すと、くり返す小節数を変えることができます。

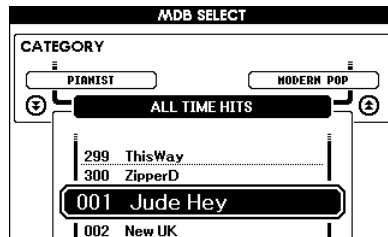




弾きたい曲に合った設定にしようーミュージックデータベース

自分の好きなジャンルの音楽を演奏したいけれども、楽器音色(ボイス)やスタイルなどのパネル設定をどのようにしたらよいかわからない。そんなときは、ミュージックデータベースの中から、あなたの好きな音楽ジャンルを選んでください。ジャンルに合ったパネル設定になります！

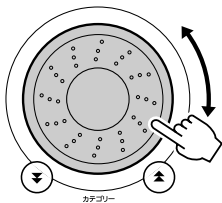
1 [ミュージックデータベース](MUSIC DATABASE)ボタンを押します



画面にミュージックデータベース名が表示されます。

2 弾きたい曲のイメージに合うミュージックデータベースを選びます

135ページのミュージックデータベースリストを参考に選びます。ここでは、ジャズの「158 Patrol」を選んでみましょう。

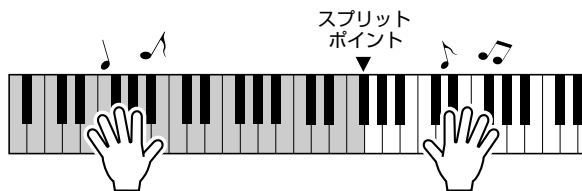


NOTE

・コンピューターから楽器内部に転送したミュージックデータベース(MDB)や、楽器に接続したUSBフラッシュメモリー内のMDBも、内蔵MDBと同様に選べます(MDB番号301～)。ファイルの転送については107ページをご覧ください。

3 左手でコードを押さえ、右手でメロディーを弾いてみましょう

左手でスプリットポイント(28ページ)より左側の鍵盤を押さえるだけで、ジャズらしいスタイルが自動的に鳴り始めます。コードの押さえ方については30～32ページを参照してください。



このとき[画面戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面に戻ると、どんな楽器音やスタイルが割り当てられているか確認することができます。

4 ストップさせたいときは、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押します



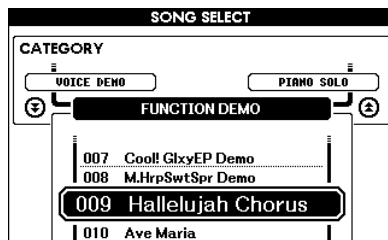
ソングの雰囲気を変えてみよう

この楽器には、好きなスタイル(自動伴奏)でソングを鳴らすことができる「イージーソングアレンジャー」という機能があります。この機能を使えば、本来バラード調のソングをボサノバ調で鳴らしたり、ヒップホップ調で鳴らしたりできます。ソングはメロディーとスタイル(自動伴奏)の組み合わせでできているので、スタイル部分を変えることによって、まったく異なる雰囲気にアレンジできます。また、ソングのメロディーの楽器音や、鍵盤の楽器音を変えることもできるので、ソングのイメージを変えて楽しんでみましょう。

イージーソングアレンジャー機能のデモ曲を聞く

内蔵ソングのハレルヤ・コーラスで、イージーソングアレンジャー機能が体験できますので、聞いてみましょう。

[ソング](SONG) ボタンを押したあとダイヤルを回し、
「009 Hallelujah Chorus (ハレルヤ・コーラス)」を選びます。
[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押すと
ソングがスタートします



「009 Hallelujah Chorus」を再生させると、イージーソングアレンジャー機能の説明が画面に表示されます。ソングが進むにつれて、スタイルだけが切り変わり、ソングのイメージもどんどん変わっていくのがわかります。イージーソングアレンジャー機能は、コードを含む別のソングでも体験できます。

NOTE

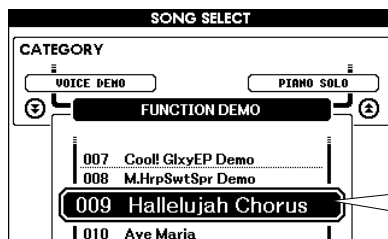
・ハレルヤ・コーラスの楽譜は122ページにあります。

イージーソングアレンジャー機能を使う

イージーソングアレンジャー機能は、コード情報が含まれたソングでご利用いただけます。

1 [イージーソングアレンジャー](EASY SONG ARRANGER) ボタンを押します

EASY SONG ARRANGER MAIN画面のSONG(ソング)欄が反転表示されます。反転表示された欄は、ダイヤルを使って別のソングを選べる状態にあります。



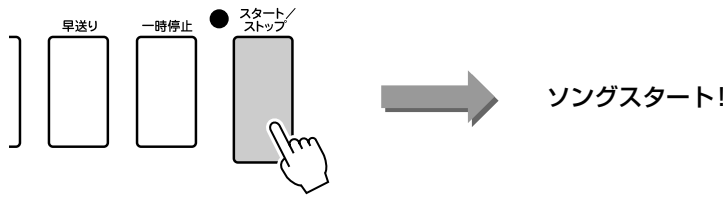
SONG欄には現在選ばれているソング番号とソング名が表示されています

2 ソングを選びます

ダイヤルを回して好きなソングを選びます。

3 ソングを聞いてみましょう

[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押すとソングが始まります。

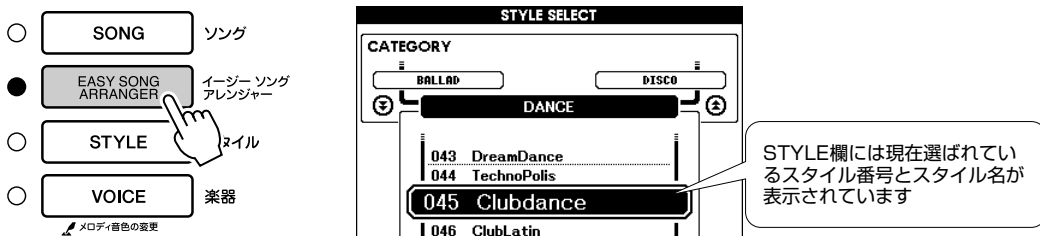


NOTE

・ソング番号010、011、020～030の曲は、イージーソングアレンジャーを使っているとき、メロディーが入っているトラックが自動的にミュート(消音)されるため、メロディーが鳴りません。メロディーを鳴らすためには、ソングメモリーの [3]～[5] ボタンを押してください。

4 [イージー ソング アレンジャー](EASY SONG ARRANGER)ボタンを押します

EASY SONG ARRANGER MAIN画面のSTYLE(スタイル)欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイヤル**を使って別のスタイルを選べる状態にあります。



5 スタイルを選びます

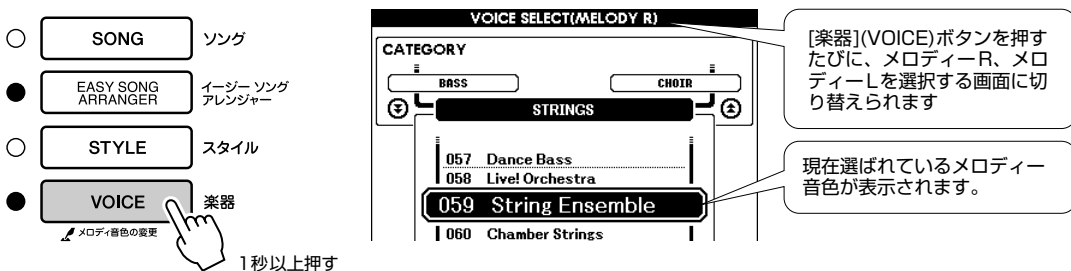
ダイヤルを回してどんどんスタイルを変えてみてください。ソングのスタイルだけが次々に切り替わっていくのがわかります。お好きなスタイルを選んだら、ソングを鳴らしたまま次の手順に進んでください。

NOTE

・イージーソングアレンジャーでのコード指定にはソングデータが用いられるので、自動伴奏鍵盤を弾いてもコードは指定できません。[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンも機能しません。
 ・ソングとスタイル(自動伴奏)の拍子が異なる場合は、ソングの拍子で再生されます。

6 楽器音を変えたいメロディーパートを選びます

[楽器](VOICE)ボタンを1秒以上押し続けると、ソングのメロディー RまたはメロディーLに選べる楽器リストが表示されます。[楽器](VOICE)ボタンを押すたびに、メロディーRとメロディーLの画面が切り替わります。



7 ボイスを選びます

ダイヤルを回してみましょう。同じソングの、メロディーの楽器音だけが次々に切り替わるのがわかります。

NOTE

・スタイル再生中に[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.)ボタンを押すと、スタイルが終了してソングが鳴り続けます。[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押して終了してください。



自分の演奏を録音しよう

自分の演奏を録音して、ユーザーソングとして031～035のソング番号に、5曲まで保存することができます。保存した曲も内蔵曲と同様に再生できます。USB記憶装置に保存(100ページ)することもできます。

■ 録音できるデータ

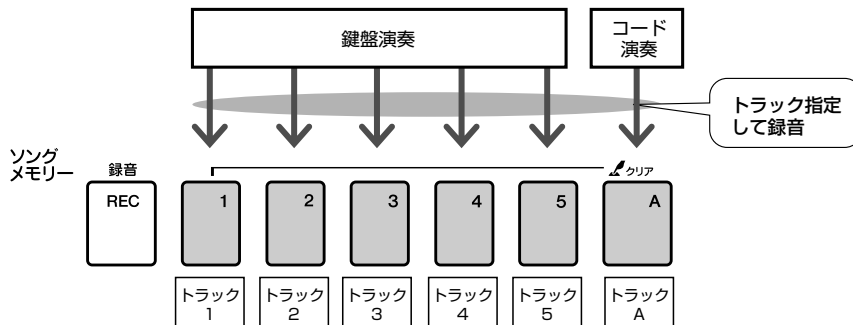
メロディー演奏が5トラック、スタイル(コード演奏)は別のトラックに録音できます。トラックとは、音の情報を入れる場所です。自分の演奏を録音するには、ソングメモリーの[1]～[5]、[A]ボタンを押して、演奏を入れるトラックを指定します。

録音はトラックごとに行ないます。

- ソングメモリー (トラック)[1]～[5]... メロディー演奏を録音します。
- ソングメモリー (トラック)[A] スタイルを使った演奏を録音します。

NOTE

- ・録音容量：メロディートラックだけに録音した場合、5曲(全体)で約30,000の音符数が録音できます。
- ・保存したソングは、SMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマット0になります。SMFについては107ページをご参照ください。

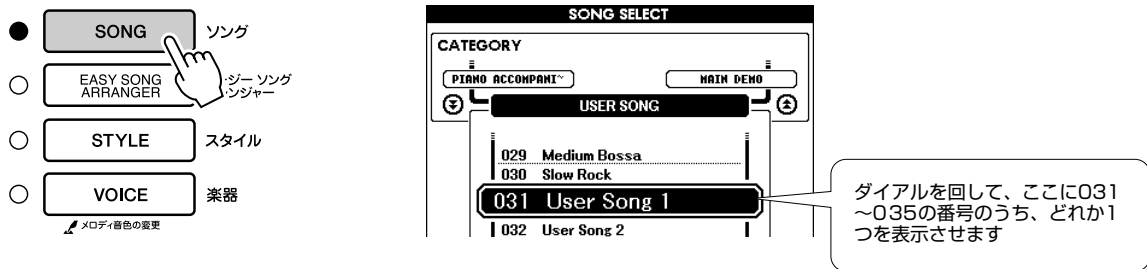


■ トラックミュート(消音)

この楽器では録音時や再生時に録音済みのトラックを鳴らすか鳴らさないかの設定ができます。(89ページ)

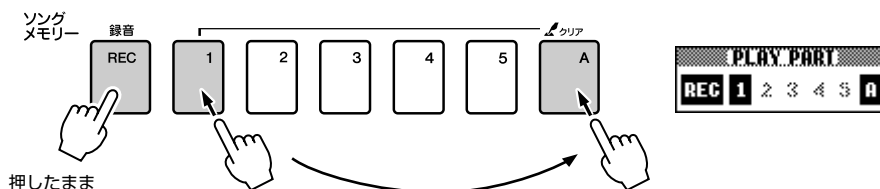
録音の手順

1 MAIN画面で[ソング](SONG)ボタンを押し、ダイヤルを回して録音を入れたいユーザーソング番号(031~035)をSONG欄に表示させます

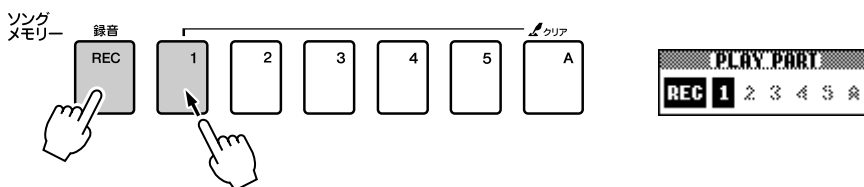


2 画面のトラック表示を確認し、録音するトラックを選びます

◆メロディトラック1つと伴奏トラックを同時に録音する場合
 [録音](REC)ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン[1]~[5]のどれかを押します。
 続けて[録音](REC)ボタンを押したまま、[A]ボタンを押します。
 選ばれたトラックが反転表示されます。



◆メロディトラックを録音する場合
 [録音](REC)ボタンを押しながら、録音したいトラックボタン[1]~[5]を押します。デュアルボイスを録音する場合は[1]~[3]を選んでください。スプリットボイスは録音できません。
 選ばれたトラックが反転表示されます。



・すでに録音されているトラックへ録音すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。

NOTE

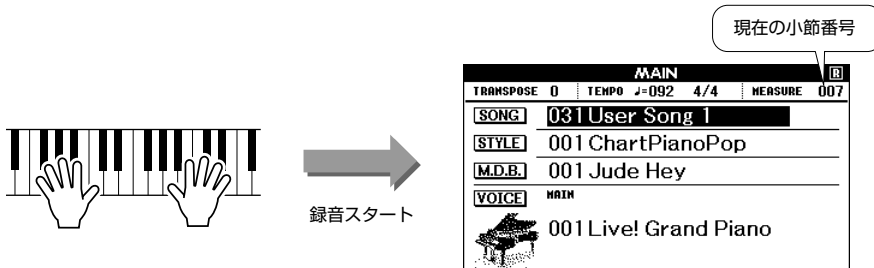
・録音にスタイルトラック[A]を選ぶと、自動的にスタイルはオンになります。
 ・録音スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。

NOTE

・スタイルがオンで、スタイルトラック[A]がまだ録音されていない場合は、メロディトラックを選ぶと、スタイルトラック[A]も自動的に録音トラックとして選ばれます。メロディだけを録音したい場合は、スタイルトラック[A]を消灯させます。
 ・選択したトラックへの録音をキャンセルする場合は、そのトラックボタンをもう一度押します。スタート後に、スタイルオン/オフの切り替えはできません。

3 鍵盤を弾くと録音がスタートします

また、[スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押しても録音がスタートします。
録音中は、画面に現在の小節番号が表示されます。



NOTE

- 録音中にメモリー一杯になった場合は、メッセージを表示し録音が終了します。ソングクリアまたはトラッククリア (63 ページ) により空きメモリーを増やしたあとで、録音をやり直してください。

4 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンまたは [録音] (REC) ボタンを押して録音を終了します



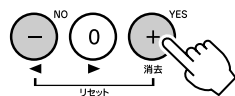
録音を終了すると、画面の小節番号は「001」に戻り、録音したトラックの表示は四角く囲まれます。

NOTE

- スタイルトラック録音中に、[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、エンディングにふさわしいフレーズを演奏して録音が終了します。

5 ソングを保存します

録音が終わると保存を促すメッセージが表示されますので、保存したい場合は[+ /YES] ボタン、保存したくない場合は[- /NO] ボタンを押してください。保存したソングはMIDIファイルとして、ソング番号031~035に保存されます。



メッセージに対して[- /NO] ボタンを押すと、演奏はMIDIファイルとしては保存されませんが、電源を切らない限りRAM上に残りますので、あとからMIDIファイルに変換して保存することができます。[録音] (REC) ボタンを長押しすると、保存を促すメッセージが表示されますので、[+ /YES] ボタンを押してください。



- 録音したソングを保存せずに電源を切ると、録音したデータは失われます。ご注意ください。

■他のトラックを録音する場合

手順2~5をくり返し、他のトラックを録音しましょう。
 ソングメモリー [1]~[5]、[A] ボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラック番号のワク点灯)、他のトラックを録音することもできます。また、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラック番号のワク消灯)、他のトラックを録音することもできます。

■録音をやり直すには

やり直したいトラックを録音トラックとして選びます。
 録音をスタートすると、上書き録音(前のデータを消去して、新しいデータを録音)します。

6 録音が終わったら

◆ユーザーソングを再生させる場合

通常のソング再生と同じ手順です。(33ページ)

- 1 [ソング](SONG) ボタンを押します。
- 2 反転表示されたSONG欄に、**ダイヤル**を使って、聞きたいユーザーソング(031~035)の番号とソング名を表示させます。
- 3 [スタート/ストップ](START/STOP) ボタンを押します。

◆ユーザーソングをUSBフラッシュメモリーに保存する場合⇒100ページへ

●録音されないデータについて

- ・スプリット音色は録音されません。
- ・拍子、スタイル番号、スタイル音量は曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

ユーザーソングの消去(ソングクリア)

録音済みのユーザーソングを1曲すべて(全トラック)をクリアします。

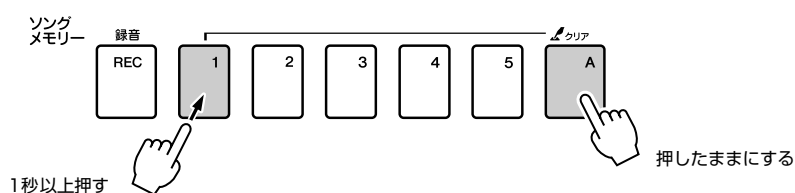
NOTE

- ・ユーザーソング1曲中の特定のトラックだけを消去したいときは、トラッククリアを行いません。

1 MAIN画面で、消去したいユーザーソング番号(031~035)を選びます

2 ソングメモリー [A] ボタンを押しながら、ソングメモリー [1] ボタンを1秒以上押します

クリア確認の画面が表示されます。
 消去をキャンセルするときは、[-] ボタンを押します。



3 消去するときは[+]ボタンを押します

クリア実行中の画面が表示され、ソングが消去されます。

ユーザーソングのトラック消去(トラッククリア)

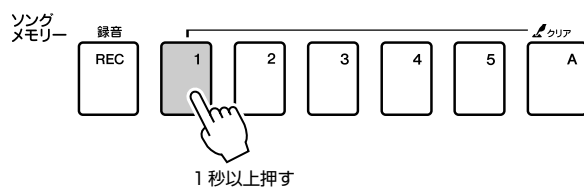
録音済みのユーザーソングの1つのトラックを選んで、そのトラックのデータだけを消去します。

1 MAIN画面で、消去したいユーザーソング番号(031~035)を選びます

2 消去したいトラック番号のソングメモリーボタン([1]~[5]、[A])を1秒以上押します

クリア確認の画面が表示されます。

消去をキャンセルするときは、[-]ボタンを押します。



3 消去するときは[+]ボタンを押します

クリア実行中の画面が表示され、指定したトラックのデータが消去されま

ず。



バックアップと初期化

バックアップ

DGX-630の以下のデータは、自動的にバックアップされるため、電源を切ってもデータは消えません。設定を初期化したいときは、下記の「初期化」を行なってください。

●バックアップされる内容

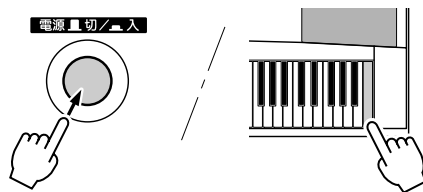
- ・レジストレーションメモリー
- ・FUNCTION画面内の各設定：チューニング、スプリットポイント、タッチ感度、スタイル音量、ソング音量、メトロノーム音量、採点、デモキャンセル、言語切り替え、パネルサステイン、マスターEQタイプ、コードフィンガリング

初期化

この楽器のフラッシュメモリーにあるソングデータやバックアップデータを消去し、設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行なってください。

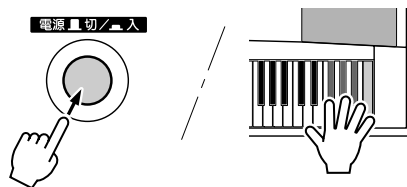
■バックアップクリア

本体のレジストレーションメモリーとFUNCTION画面内の各設定をクリアしたいときは、鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら**[電源 切/入]** (STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、上記のデータは消去され、楽器は初期設定値に戻ります。



■フラッシュクリア

ユーザーソングや、コンピューターから本体フラッシュメモリーに転送したソング、スタイル、ミュージックデータベースをクリアしたいときは、鍵盤の最高音(白鍵)と一番高い黒鍵3つを同時に押しながら**[電源 切/入]** (STANDBY/ON)スイッチを押して電源を入れると、上記のデータは消去されます。



・フラッシュクリアすると、購入した有料のデータも消去されます。消去したくないデータは、必要に応じてコンピューターに保存しましょう。



基本操作と画面表示

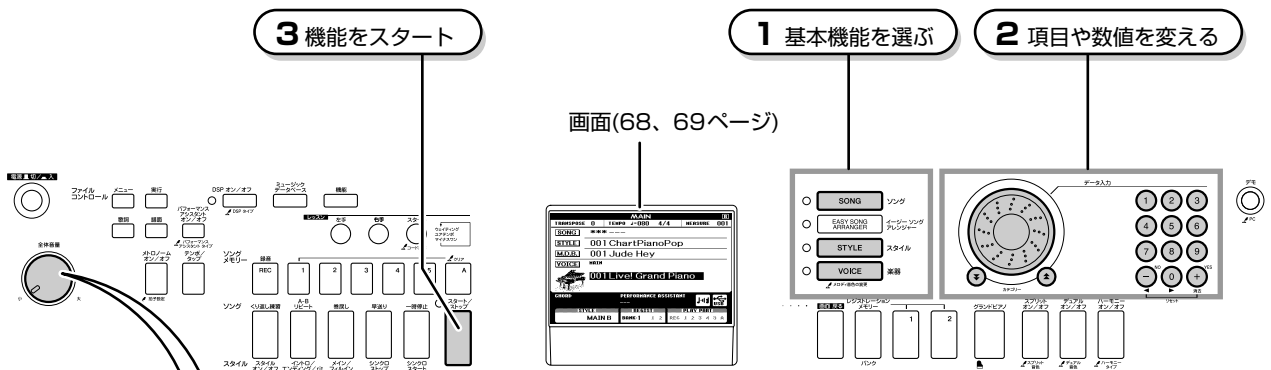
基本操作

DGX-630では以下の操作が基本になります。

1 ボタンを押して、基本機能を選ぶ

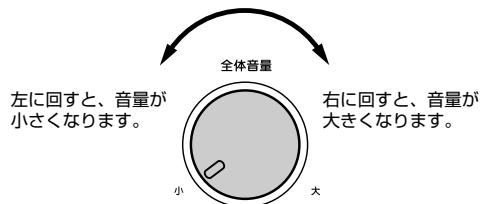
2 ダイアルなどを使って項目や数値を変える

3 機能をスタートする



● 音量の設定

スピーカーの音量、およびPHONES端子に接続したヘッドフォンの音量を調節します。



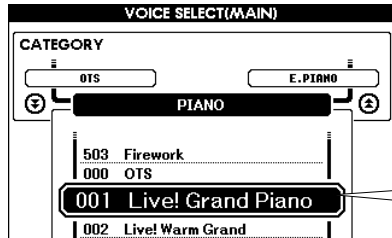
1 ボタンを押して、基本機能を選ぶ

- SONG** ソング —— 聞きたいソングやレッスンしたいソングを選べる状態になります。
- EASY SONG ARRANGER** イージーソングアレンジャー
- STYLE** スタイル —— スタイル(自動伴奏)を選べる状態になります。
- VOICE** 楽器 —— 鍵盤で弾きたい音を選べる状態になります。

メロディ音色の変更

2 ダイアルなどを使って項目や数値を変える

基本の機能を選ぶと、画面中の、その機能に関連した欄が反転表示されます。反転表示された欄は、**ダイアル**や数字ボタン[0]～[9]などを使って変えることができます。

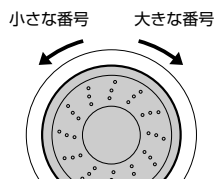


選ばれた欄が反転表示されます。
例：[楽器](VOICE)ボタンを押したとき

■数値の変え方.....

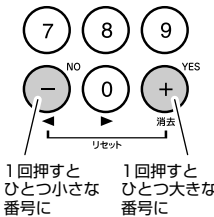
●ダイアル

右(時計回り)に回すとひとつ大きな番号に、左に回すとひとつ小さな番号になります。回し続けると連続して変わります。



●[+]、[-]ボタン

[+]ボタンを1回押すとひとつ大きな番号に、[-]ボタンを1回押すとひとつ小さな番号になります。押し続けると連続して変わります。

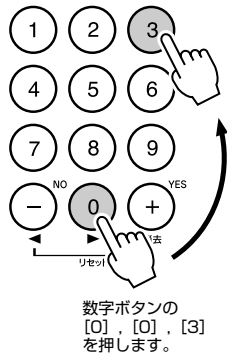


●数字ボタン[0]～[9]

ソングなどの番号や値を直接数値で設定します。100の位、もしくは100の位と10の位が0の場合は、「0」の入力を省略できます。

例)ソング番号003を選ぶ場合、次のどの方法でも入力できます。

- ・[0]→[0]→[3]と押す。
- ・[0]→[3]を押す。
(しばらく待つと「003」と表示されます)
- ・[3]を押す。
(しばらく待つと「003」と表示されます)



●カテゴリーボタン[▲]、[▼]

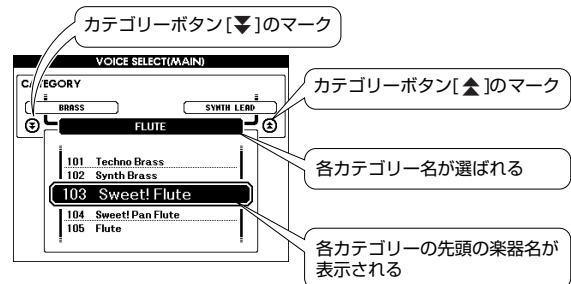
ソング、スタイル、ボイスの設定の際、ボタンを1回押すごとに各カテゴリーの先頭の番号が順番に選ばれます。



1回押すごとに各カテゴリーの先頭の番号に

カテゴリーボタン[▲]、[▼]は、たとえば以下のようなカテゴリー項目が表示された画面で使うと便利です。

例) VOICE SELECT画面



カテゴリーが表示されている画面では、最初にカテゴリーボタン [▲]、[▼] を何度か押してカテゴリーを選択します。そのあとで**ダイアル**や[+]、[-]ボタンを使って具体的な楽器を選べば、狙った範囲から手早く選択することができます。とくに数の多い楽器音を選ぶときは便利です。

この取扱説明書の操作手順では、画面の項目を選んだり、数値の変更をするのもっとも簡単な方法として、**ダイアル**の使用を多くお勧めしています。**ダイアル**で変更できる項目は、ほとんどの場合、[+]、[-]ボタンや数字ボタン[0]～[9]でも変えられます。

3 機能をスタートする

○ スタート/ストップ



このボタンを[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンと呼びます。[ソング](SONG)ボタンや[スタイル](STYLE)ボタンを押したあとこのボタンを押すと、ソングやスタイル(リズム)がスタートします。

画面について

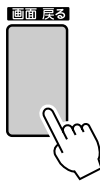
● 画面の呼び方

操作は画面を見ながら行ないます。画面の一番上には、その画面のタイトルが英語で表示されます。たとえば下の画面は一番上に「MAIN」と表示されているので、「MAIN画面」と呼びます。

● MAIN画面



MAIN画面を表示させる

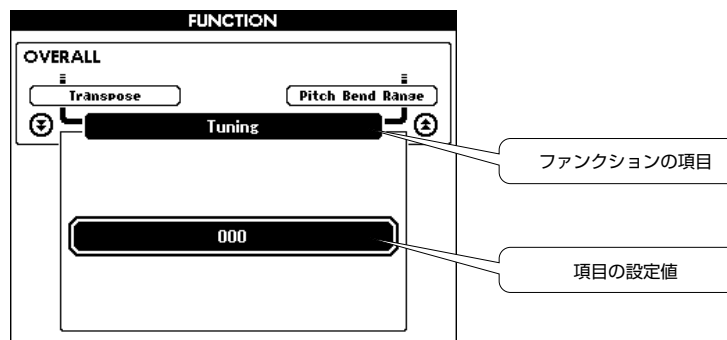


MAIN画面は操作の基本となる画面です。
一連の操作をはじめの前や終わった後は、画面の右斜め下にある
[EXIT] (画面 戻る) ボタンを押して、MAIN画面を表示させておきます。


● FUNCTION(ファンクション)画面 (92ページ)

FUNCTION画面は、50種類の項目に関する設定を変更する画面です。

[機能] (FUNCTION) ボタンを押すと表示されます。67ページで説明したカテゴリーボタン[▲]、[▼]を押すたびに、50種類の異なった項目に切り替わります。変更したい項目が表示されるまでボタンを何回か押し、そのあとダイヤルや[+]、[-]ボタン、数字ボタン[0]～[9]を使って、設定を変更します。



ボタンを「長く押し」マークについて

 が印刷されているボタンは、1秒以上押したままにすると、そのボタンの機能に関する設定画面にダイレクトに入ることができます。ボタンによっては、上のFUNCTION画面の関連した項目にダイレクトに入れるので、とても便利です。



MAIN画面の表示について

MAIN画面には、ソング、スタイル、楽器音など、基本的な設定状態が表示されます。また、どの機能がオンになっているのかがアイコンなどで表示されますので、操作は画面を見ながら行ってください。

* 画面表示のコントラスト調整は、リアパネルの CONTRAST ツマミで行ないます。

CONTRAST



テンポ
TEMPO J=100 4/4

A-Bリピート表示
くり返しの設定をしている場合に表示されます。

トランスポーズ
TRANPOSE 0

小節番号
MEASURE 001

コード表示
CHORD Am7

いろいろな機能のオン/オフに関する表示

デュアル
DUAL 056
オンで表示
表示中は、メインボイスにもう1つ別の楽器音を重ねて鳴らせます。

スプリット
SPLIT 047
オンで表示
表示中は、スプリットポイントより左側の鍵盤を弾くと、右側とは別の音を鳴らせます。

パフォーマンスアシスタント
PERFORMANCE ASSISTANT
CHORD

スタイル(自動伴奏)に関する表示 (28ページ)

ACMP スタイルを選んだあと、[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してスタイルをオンにすると、表示されます。表示中はスプリットポイントより左側の鍵盤がコードを認識できる状態になります。

MAIN A スタイルパターン名

レジストレーションメモリーに関する表示 (90ページ)

BANK:1 選択されているバンク番号が表示されます。

1 2 記録済みのメモリー番号が表示され、選択されると四角いワクで表示されます。

ソングトラックに関する表示 (60ページ)

1 2 3 4 5 A ユーザーソングの録音中に反転表示されます。

1 2 3 4 5 A ユーザーソングの録音時、選択されたトラック番号が反転表示されます。データのあるトラック番号が表示されます。データのあるトラック番号を選択すると、四角いワクが表示されます。ミュート(消音)されたトラック番号の四角いワクは表示されません。

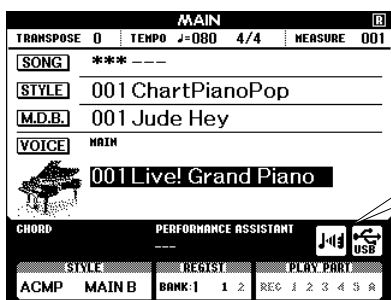
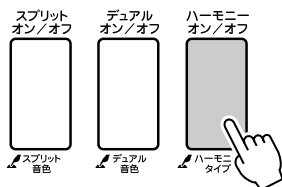
ファイルコントロール
USB TO DEVICE端子へのアクセス可能時に表示。

効果をつけて演奏しましょう

ハーモニー効果をつける

メインの音色にトレモロやエコーなどのハーモニーがつけられます。

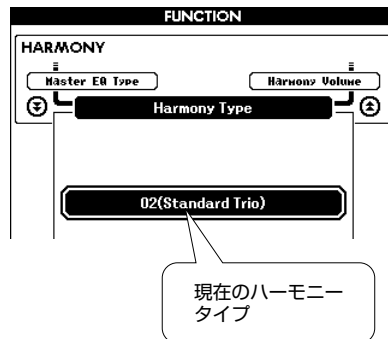
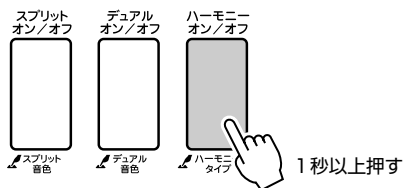
- 1** [ハーモニー オン/オフ] (HARMONY ON/OFF) ボタンを押してハーモニーをオンにします
 ハーモニー効果をつけたくないときはもう一度同じボタンを押してオフにします。



NOTE

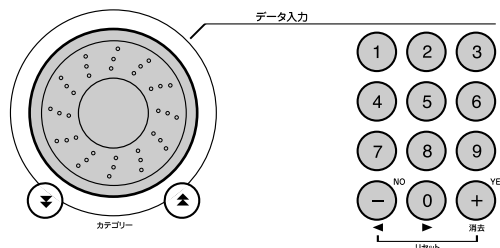
・ハーモニーをオンにすると、そのときの楽器音にいちばん合うハーモニータイプが自動的に選ばれます。

- 2** [ハーモニー オン/オフ] (HARMONY ON/OFF) ボタンを1秒以上押して、ハーモニータイプの項目「Harmony Type」を表示させます
 現在選択されているハーモニータイプが表示されます。



- 3** ダイアルを回して好きなハーモニータイプを選びます

ハーモニータイプは、137ページのハーモニータイプリストにのっています。
 ハーモニーはタイプによって鳴らしかたがちがいますので、下に記載の「タイプ別鳴らしかた」とハーモニータイプリストを参照しながら弾いてみましょう。



NOTE

- ・ハーモニーはメイン音色のみにかかります。デュアル音色とスプリット音色にはかかりません。
- ・スタイルオンにすると、スプリットポイントより左側の鍵盤ではハーモニーは鳴りません。

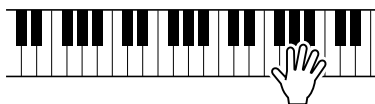
●タイプ別鳴らしかた

- ・ハーモニータイプ01～10、13



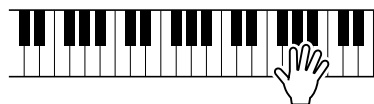
スタイルをオン(28ページ)にして自動伴奏鍵盤でコードを弾きながら右手鍵盤を弾く

- ・ハーモニータイプ15～18(エコー)



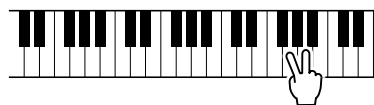
鍵盤を押さえ続ける

- ・ハーモニータイプ19～22(トレモロ)



鍵盤を押さえ続ける

- ・ハーモニータイプ23～26(トリル)



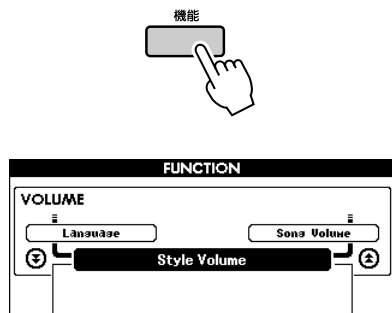
鍵盤を2つ押さえ続ける

ハーモニー音量の調節は、94ページの機能設定で行ないます。

リバーブ効果をかける

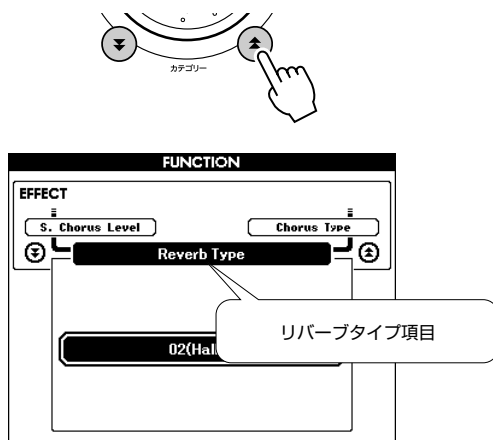
演奏音に、コンサートホールで弾いたような残響音(リバーブ)などを加えることができます。スタイルやソングを選ぶと、その楽器音に最適なリバーブタイプが自動的に選ばれます。自分でリバーブタイプを選びたい場合は、以下の方法で設定してください。

- 1** [機能](FUNCTION) ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



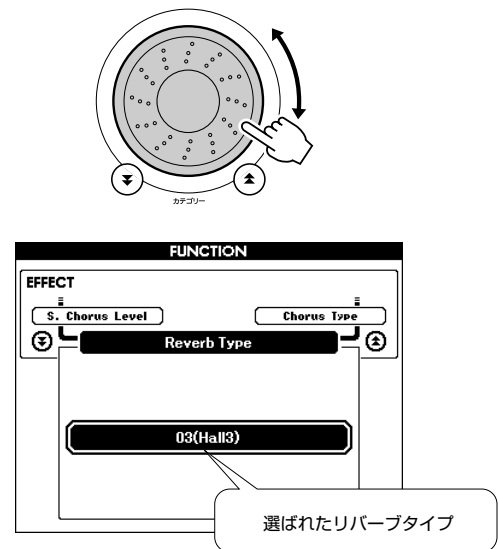
- 2** カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、リバーブタイプの項目「Reverb Type」を表示させます

現在選択されているリバーブタイプが表示されます。



- 3** ダイヤルを回して好きなリバーブタイプを選びます

鍵盤を弾いて音の響きを確認してみましょう。



リバーブタイプの説明については138ページのエフェクトタイプリストをご覧ください。

●リバーブレベルの調整

メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、リバーブのかかり具合を調整できます。(93ページ)

コーラス効果をかける

同時に複数のパートを演奏しているかのような厚みを音に加える機能です。

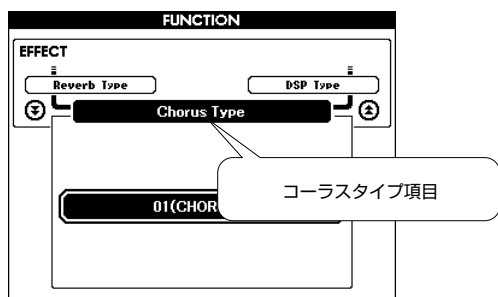
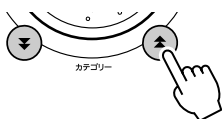
スタイルやソングを選ぶと、その楽器音に最適なコーラスタイプが自動的に選ばれます。コーラスタイプを自分で選びたい場合は、以下の方法で設定してください。

- 1 [機能] (FUNCTION) ボタンを押して
FUNCTION画面に入ります



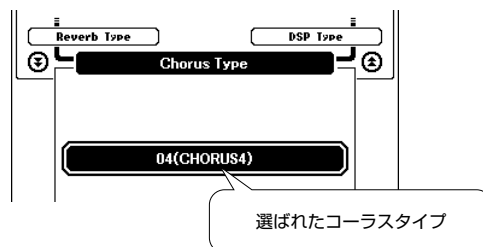
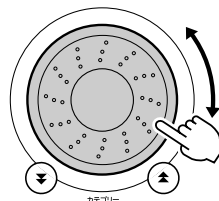
- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、
コーラスタイプの項目「Chorus Type」を表示
させます

現在選択されているコーラスタイプが表示されます。



- 3 ダイアルを回して好きなコーラスタイプを選び
ます

鍵盤を弾いて音の響きを確認してみましょう。



●コーラスレベルの調整

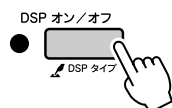
メイン/デュアル/スプリットボイスのそれぞれに対して、コーラスのかかり具合を調整できます。(93ページ)

DSP効果かける

鍵盤での演奏音(メイン/デュアルボイス)にデジタル処理で音の変化を付ける効果です。

1 [DSP オン/オフ](DSP ON/OFF) ボタンを押してDSPをオンにします

オンにするとボタン横のLEDが点灯します。DSP効果をつけたくないときはもう一度同じボタンを押してオフにします。

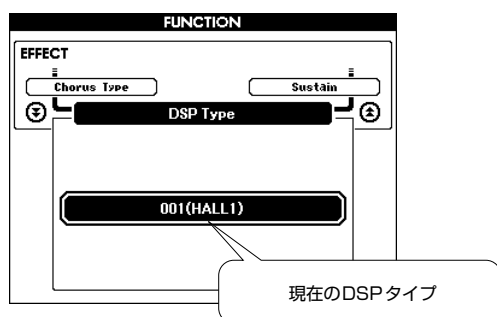
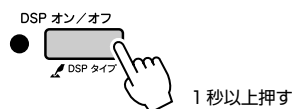


NOTE

- DSPをオンにすると、そのときの楽器にいちばん合うDSPタイプが自動的に選ばれます。
- DSPのオン/オフにより楽器の音量が変わって聞こえる場合があります。
- DSPは楽器全体で一つのタイプしか選べないという制約があります。この理由によりたとえば外部から本体にロードしたソングやスタイルを再生しているとき、自分で鍵盤を弾いた音のDSP効果が思ったようにならない場合があります。これはDSPの設定がソングやスタイルの設定に依存されるためで故障ではありません。また、ソングの再生で[早送り](FF)、[巻き戻し](REW)や[A-Bリピート](A-B REPEAT)ボタンを使用したときも同様に感じる場合があります。

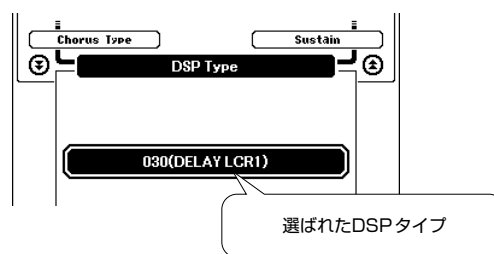
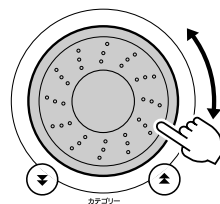
2 [DSP オン/オフ](DSP ON/OFF) ボタンを1秒以上押して、DSPタイプの項目「DSP Type」を表示させます

現在選択されているDSPタイプが表示されます。



3 ダialを回して好きなDSPタイプを選びます

鍵盤を弾いて音の響きを確かめてみましょう。DSPタイプは139ページのDSPタイプリストをご覧ください。



● DSPレベルの調整

メイン/デュアルボイスのそれぞれに対して、DSPのかかり具合を調整できます。(93ページ)

パネルサステイン(余韻)をつける

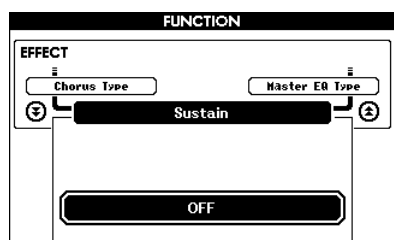
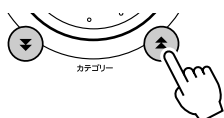
鍵盤を弾いたときの音に余韻が残ります。メインボイスとデュアルボイスのみにかかり、スプリットボイスにはかかりません。フットスイッチとは別に、常に音に効果をかけたいときに使います。

1 [機能](FUNCTION) ボタンを押します



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してサステインの項目「Sustain」を表示させます

現在の設定が表示されます。



3 [+], [-] ボタンを使って、オン/オフを選択します

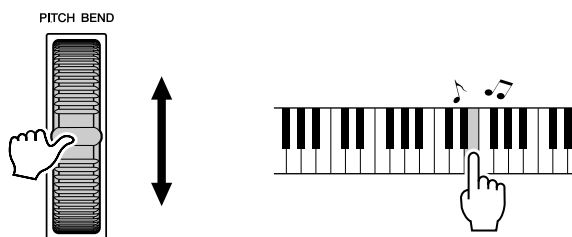
オンにするとサステイン効果がかかります。

NOTE

・音色によっては、パネルサステインをオンにしても、余韻の長さにあまり変化がない音もあります。

ピッチベンドを使ってみよう (PITCH BEND)

ピッチベンドは鍵盤で弾いた音の音程を滑らかに変化(アップ、またはダウン)させる機能です。押鍵中に[ピッチベンド](PITCH BEND)ホイールを上下に動かすことで、音程を上げたり下げたりすることができます。鍵盤の楽器音をたとえば「048 Overdriven(オーバードライブ ギター)」というギターの音色に変えて(19ページ参照)この機能を使うと、とても弦楽器らしい演奏になります。

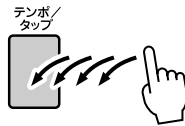




演奏するときの機能

タップスタート

4拍子のソングなら4回、3拍子なら3回、[テンポ/タップ](TEMPO/TAP)ボタンを押して、押したテンポでソングやスタイルをスタートさせることができます。ゆっくり押すとテンポはゆっくり、素早く押すとテンポは速くなります。ソング再生中は、2回押すとテンポが変わります。

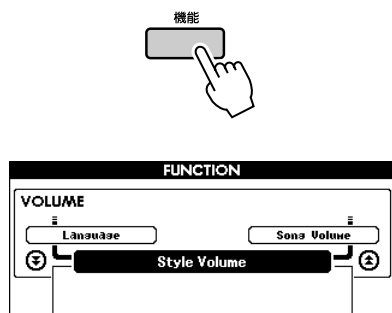


鍵盤を弾く強弱で音量を変える

タッチレスポンスがオンの場合のタッチ感度(鍵盤を弾く強さによって音量が変化する割合)を、3段階(1~3)に設定することができます。

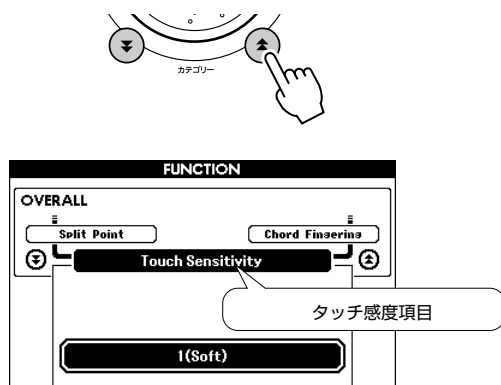
1 [機能](FUNCTION)ボタンを押します

現在選ばれている項目が表示されます。



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]ボタンを何度か押して、タッチ感度の項目「Touch Sensitivity」を表示させます

現在選択されているタッチ感度が表示されます。



3 ダイアルを回してタッチ感度(1~3)を設定します。設定値が大きくなるほど、弾く強さによる演奏の強弱がつけやすくなります

4に設定するとタッチ感度がオフになるため、鍵盤を弾く強弱にかかわらず、一定の音量が出ます。

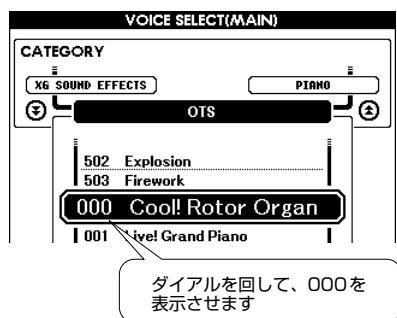
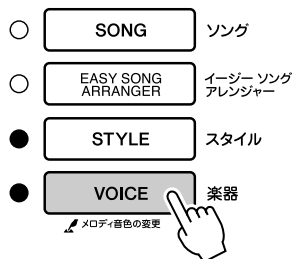
NOTE

・工場出荷時、タッチ感度は「2」に設定されています。

ワンタッチで最適な楽器音を設定(OTS)

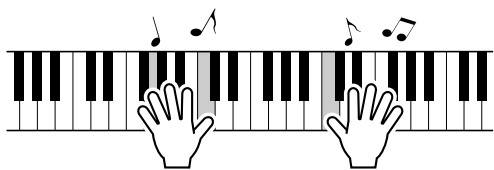
ソングやスタイルを鳴らしながら自分も鍵盤を弾いて演奏する場合、どの楽器音を選べば一番バランスのとれた演奏ができるのか。それを選択してくれるのがワンタッチセッティング(One Touch Setting)です。楽器音に000 OTSを選択すると、ソングやスタイルを選んだ際、そのソングやスタイルに最適な楽器音が自動的に選ばれます。

1 ボイスの楽器音に楽器番号000を選びます(→19ページ手順1~2)



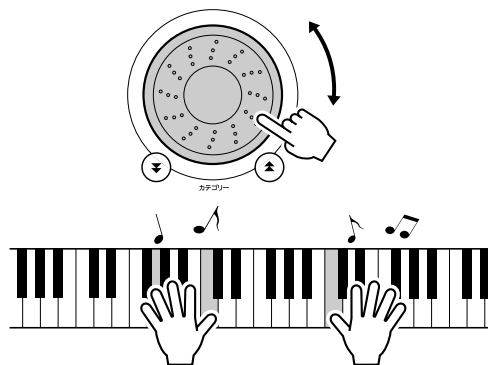
2 好きなソングを選んで再生させます(→33ページ手順1~3)

3 鍵盤を弾いて、どんな音色か覚えておきます



手順の途中でソング再生が終わった場合は、もう一度、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押してソングを再生させてください。

4 ダイアルを回してソングを変えたら、再び鍵盤を弾いてみましょう



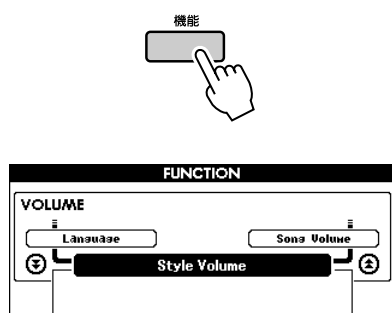
手順3で弾いたときの鍵盤の楽器音とはちがうことがわかります。000の楽器音の欄を見ながらソングを変えてみてください。ソングを変えるたびに、000の楽器音が最適なものにどんどん切り替わっていくのがわかります。

最適な音で聞く

スピーカーへ最終出力される段階でのサウンド全体を、スピーカーで鳴らして聞いたりヘッドフォンで聞いたりなど、5つのシチュエーションにあわせてもっとも聞きやすい音に設定できます。

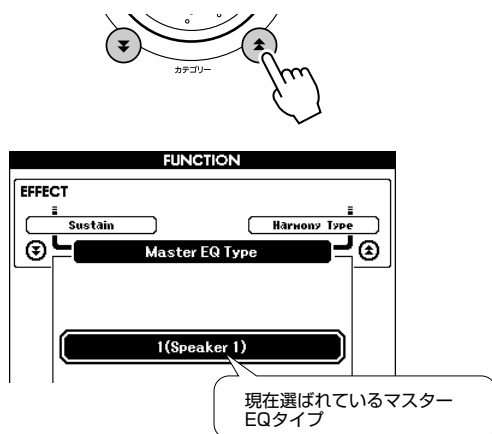
1 [機能](FUNCTION) ボタンを押します

現在選ばれている項目が表示されます。



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、マスター EQタイプの項目「Master EQ Type」を表示させます

現在選択されているマスター EQタイプが表示されます。



3 ダイアルを回して好きなマスター EQタイプを選びます

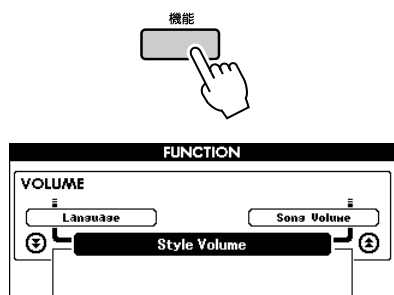
設定は1～5の5つです。1、2は楽器内部のスピーカーを使ってそのまま聞く場合、3はヘッドフォンで聞く場合、4、5はミキサーや外部スピーカーを接続して聞く場合に選びます。

楽器のピッチ(音の高さ)を変える

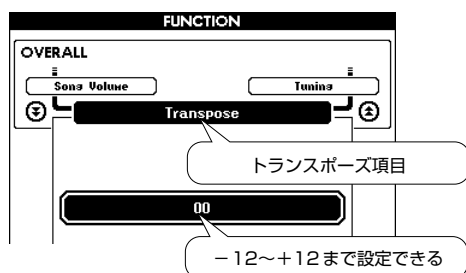
◆大きく音の高さを変える場合(トランスポーズ)

楽器全体の音の高さを、半音単位で、±1オクターブの範囲で変更できます。

- 1 [機能](FUNCTION) ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してトランスポーズの項目「Transpose」を表示させます



- 3 ダイアルを回してトランスポーズ量(-12~+12)を変更します

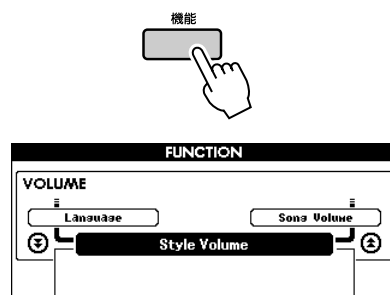
NOTE

・ドラムキットの音程は変えられません。

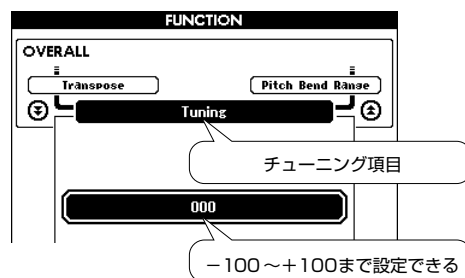
◆微妙な調整をする場合(チューニング)

楽器全体のチューニング(音の高さの微調整)を、-100~+100(単位:セント)の範囲で設定することができます。

- 1 [機能](FUNCTION) ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してチューニングの項目「Tuning」を表示させます



- 3 ダイアルを回して音の高さ(-100~+100)を微調整します

NOTE

・ドラムキットの音程は変えられません。



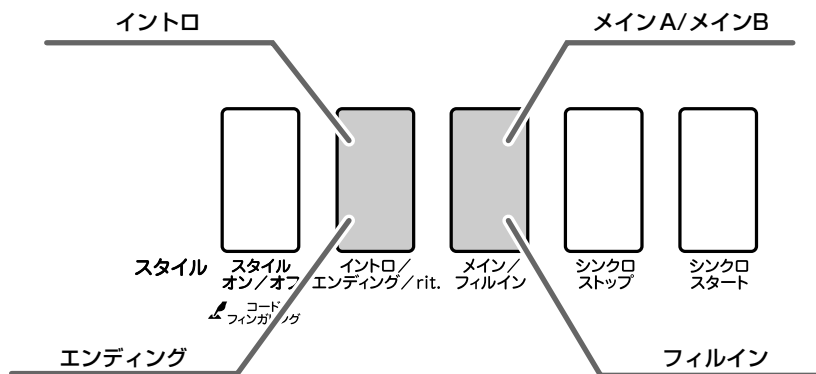
スタイル(自動伴奏)に関する機能

自動伴奏の基本的な操作については、クイックガイド『自動伴奏を鳴らしてみよう』(27ページ)で説明しました。

ここでは、スタイルのいろいろな鳴らし方やスタイル音量の調整方法、スタイルを鳴らすためのコードなどについて説明します。

スタイルのパターンに変化を付ける(セクション)

演奏を盛り上げるために、同じスタイルの中にも下記のバリエーションが用意されています。それが「セクション」です。

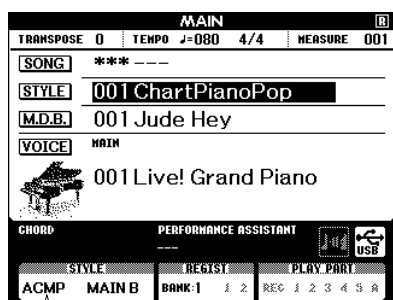
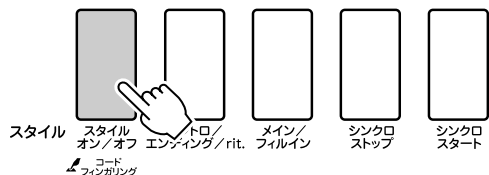


- **イントロ (INTRO)セクション**
曲の始まりに適したセクションです。イントロの演奏が終了するとメインに移ります。イントロの小節数はスタイルによって異なります。
- **メイン (MAIN)セクション**
曲のメイン部分の演奏で使います。他のセクションボタンを押すまで、メインのスタイルパターンをくり返し演奏します。A/Bのバリエーションがあり、左手で押さえたコードに基づいたスタイルが演奏されます。
- **フィルイン (AUTO FILL)セクション**
メインセクションA/Bが切り替わるときに自動的に挿入されます。
- **エンディング (ENDING)セクション**
曲の終わりに適したセクションです。エンディングセクションの演奏が終わると、スタイルはストップします。エンディングセクションの小節数はスタイルによって異なります。

1 [スタイル](STYLE) ボタンを押して、好きなスタイルを選びます

2 スタイルをオンにします

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押します。

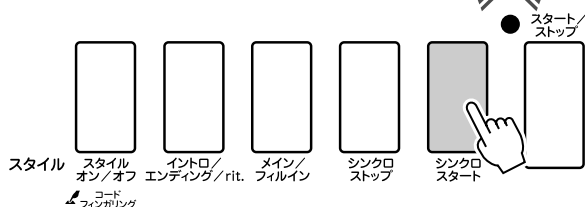


STYLE
ACMP MAIN B

スタイルがオンのとき表示されます

3 [シンクロスタート](SYNC START) ボタンを押して、シンクロスタートをオンにします

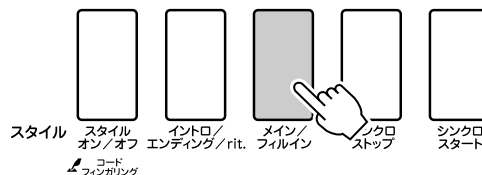
シンクロスタートオンで点滅します



●シンクロスタート

シンクロスタートがオンになると、シンクロスタート待機状態になり、自動伴奏鍵域でコードを弾くとスタイルがスタートします。

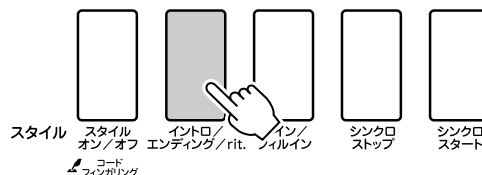
4 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを押します



STYLE
ACMP MAIN B

選んだセクション MAIN A または MAIN B が表示されます

5 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押します

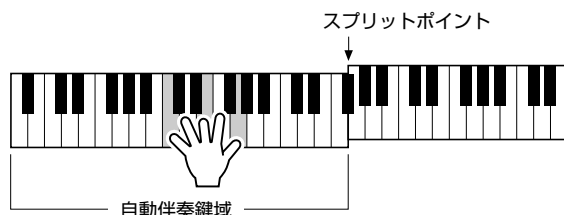


STYLE
ACMP INTRO

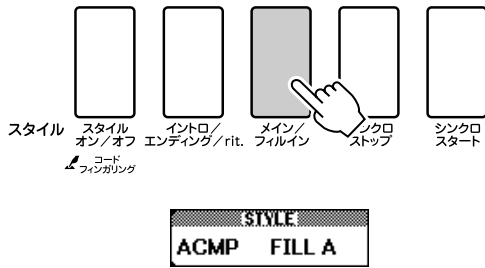
これで、メインパターンに入る前にイントロが再生される準備ができました。

6 左手でコードを押さえると、スタイルのイントロセクションがスタートします

たとえばC(Cメジャー)を押さえてみましょう。コードの押さえ方は32ページをご参照ください。

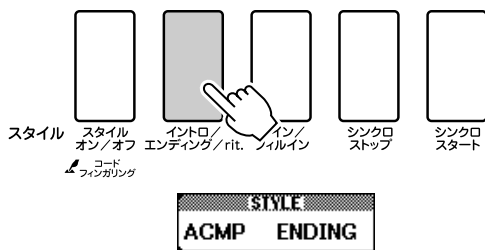


7 [メイン/フィルイン](MAIN/AUTO FILL) ボタンを自由に押します



フィルインを演奏したあとメインセクションA/Bが変わります。

8 [イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) を押します

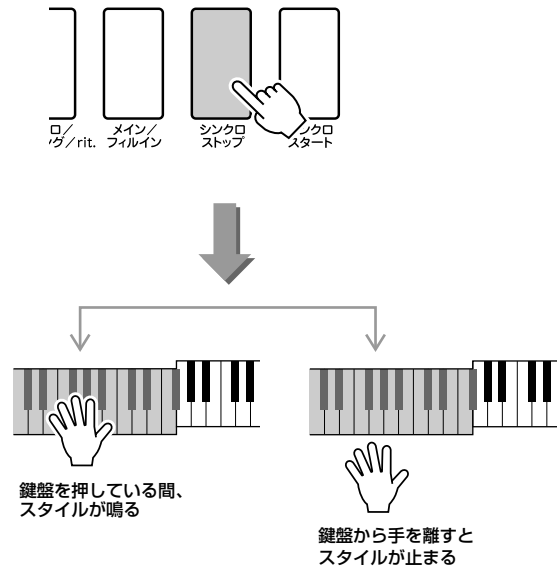


エンディングセクションの演奏に切り替わります。エンディングセクションの演奏が終わるとスタイルはストップします。

エンディングセクションの再生中にもう1度[イントロ/エンディング/rit.](INTRO/ENDING/rit.) ボタンを押すと、リタルダンドして(だんだん遅くなって)スタイルはストップします。

●シンクロストップ—コードを弾くとスタート、手を離すとストップ

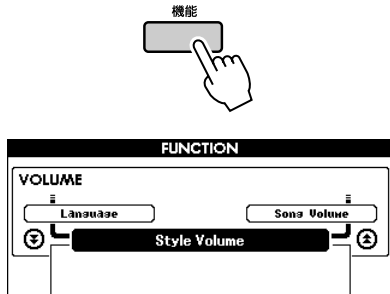
[シンクロストップ](SYNC STOP)ボタンを押してシンクロストップをオンにすると、スタートの動作はシンクロスタートと同様ですが、自動伴奏鍵域から手を離すとスタイルがとまります。つまり、自動伴奏鍵域で弾いているあいだだけスタイルが鳴りません。これをシンクロストップ機能といいます。



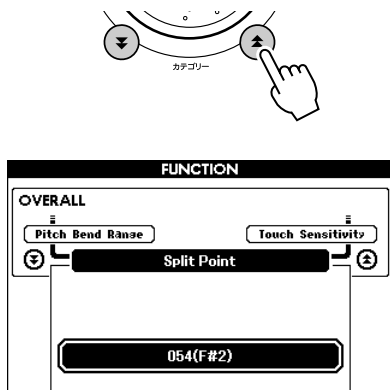
スプリットポイントの設定

スプリットポイントは初期値では54(F#2)に設定されていますが、自由に変更することができます。

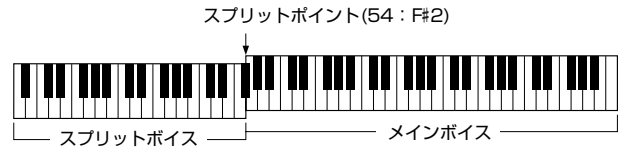
1 [機能] (FUNCTION) ボタンを押します



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、スプリットポイントの項目「Split Point」を表示させます



3 ダialを回してスプリットポイント 021(A-1)～108(C7)を設定します



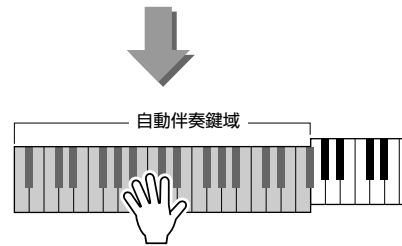
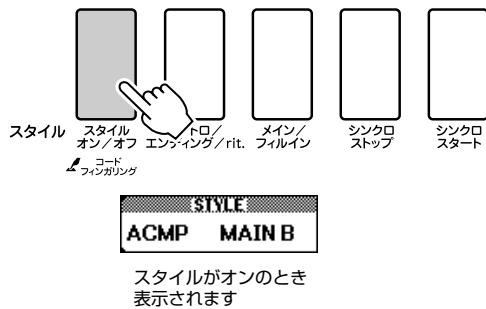
NOTE

- ・スプリットポイントを変更すると、自動伴奏のスプリットポイントも同時に変更されます。
- ・ソングレッスン時のスプリットポイントは変更できません(固定)。
- ・スプリットポイントの鍵盤ではスプリットボイスが鳴ります。

リズムなしでコード音を鳴らす

[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押して自動伴奏をオン(ACMP表示が点灯)にしたあと、左手(自動伴奏) 鍵盤を弾くと、リズムを再生させずにコード音を鳴らすことができます。これをストップアカンパニメント機能といいます。自動伴奏鍵盤で押さえられた押鍵情報を DGX-630 がコードとして認識するため(32ページ)、スタイルを再生することなくハーモニー機能を使うこともできます。

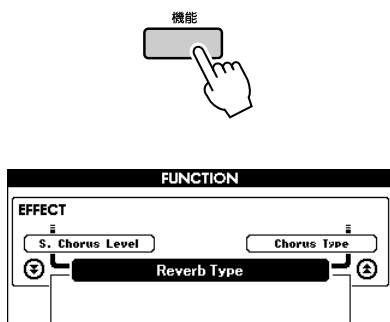
[スタイル](STYLE) ボタンを押してスタイルモードに入ったあと、[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押して、スタイルをオンにします。



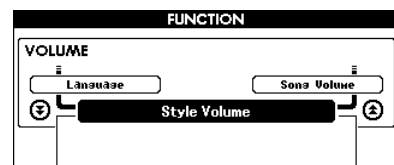
スタイル音量の設定

[スタイル](STYLE) ボタンを押してスタイルモードに入っておきます。

1 [機能](FUNCTION) ボタンを押して FUNCTION 画面に入ります



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、スタイル音量の項目「Style Volume」を表示させます

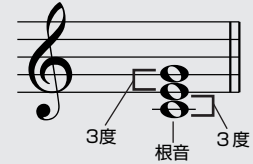


3 ダイアルを回してスタイル音量(000~127)を設定します

コードについて

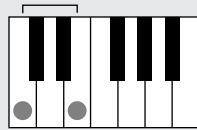
音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがあります。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

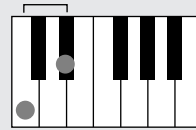


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

長3度.....半音4つの間隔

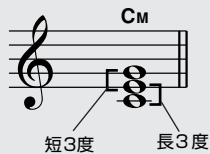


短3度....半音3つの間隔

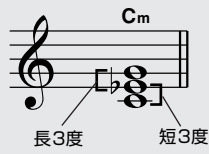


その組み合わせは次の4種類になります。

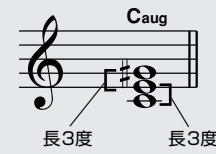
◆メジャーコード



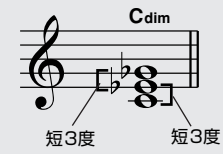
◆マイナーコード



◆オーギュメントコード



◆ディミニッシュコード



和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

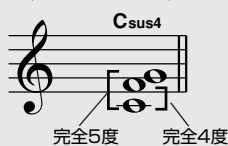
● 和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目でわかるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみがわかると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。

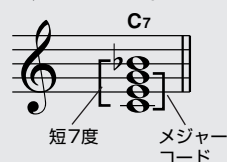


● 和音の種類(通常の手さえ方で認識されるものの一部)

◆サスフォーコード



◆セブンスコード



◆マイナーセブンスコード



◆メジャーセブンスコード



◆マイナーメジャーセブンスコード



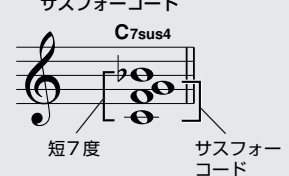
◆セブンスフラットファイブコード



◆マイナーセブンスフラットファイブコード



◆セブンスサスフォーコード

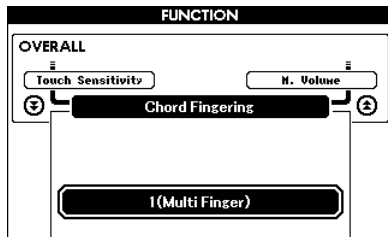
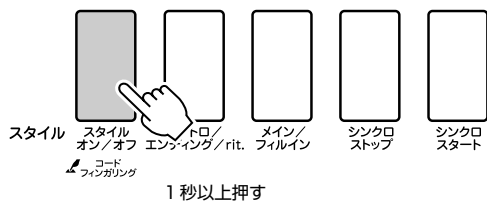


鍵盤全域でスタイルを演奏する

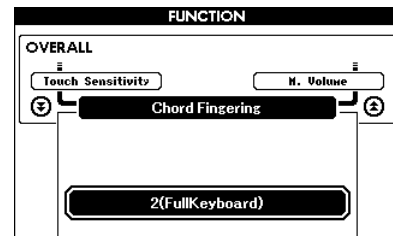
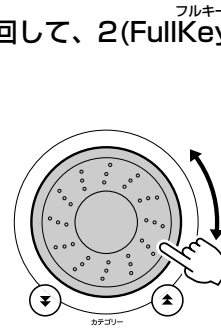
28ページ「スタイルを鳴らして自分も演奏しよう」でご紹介したスタイル演奏は、スプリットポイントの左側の鍵域だけでコードを検出していました。以下の設定を行なうことで、左手/右手鍵域に関係なく、全鍵域での押鍵をもとにコードを検出し、スタイル演奏ができます。同時に全鍵域で通常どおり鍵盤演奏も行なえますので、ダイナミックなスタイル演奏が可能になります。

コードの検出方法は、32ページにある通常のコードの押さえ方のみになります。

1 [スタイル オン/オフ] (ACMP ON/OFF) ボタンを1秒以上押します



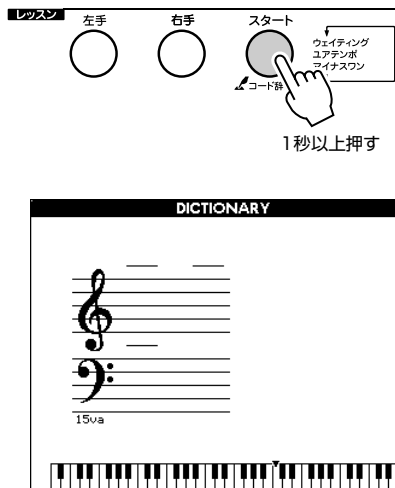
2 ダイアルを回して、2(FullKeyboard) を選びます



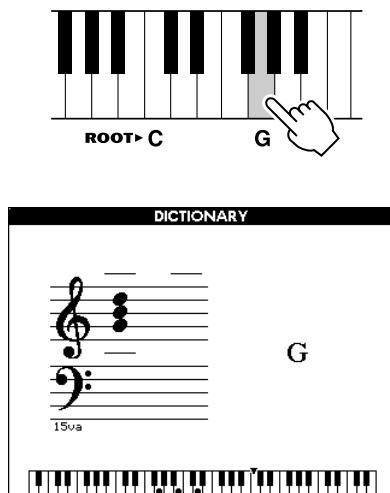
コード辞書でコードを調べる

コード名がわかっていて、鍵盤の押さえ方がわからない場合、コード辞書で調べることができます。

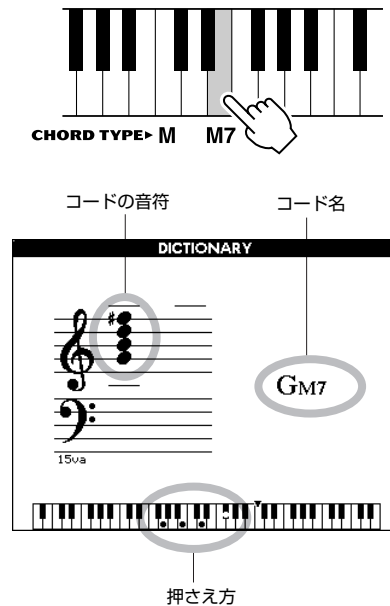
- 1** レッスン[スタート](START) ボタンを1秒以上押します。ディクショナリー画面「DICTIONARY」が表示されます



- 2** たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の下に書かれた「CHORD ROOT」から「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音が画面に表示されます



- 3** 鍵盤の下に書かれた「CHORD TYPE」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押さえます(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、画面に楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます



[+]、[-] ボタンを押すと、コードの転回形を表示します。

NOTE

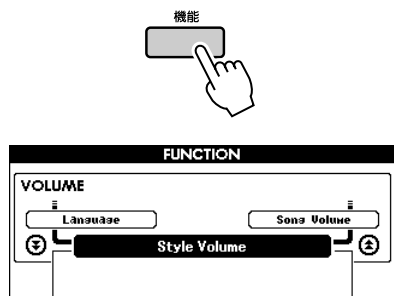
- メジャーコードについて
通常メジャーのコード名は、ルート音だけで表記します。
例：Cの表記はCメジャーを意味します。
メジャーコードを調べる場合は、ルート音を押したあとに「M」を押してください。
- このページで説明したコードタイプは、スタイルを鳴らすときに左手で弾くコードのことです。パフォーマンスアシスタント機能のコードタイプとはちがいます。

- 4** 画面の表示にしたがって、自動伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。正しくコードが押さえられると、「ピン」と鳴り表示が反転します

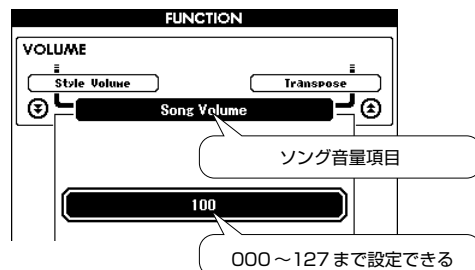
ソングの再生に関する設定

ソング音量の設定

- 1 [機能] (FUNCTION) ボタンを押して
FUNCTION画面に入ります



- 2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、
ソング音量の項目「Song Volume」を表示させます



- 3 ダイアルを回してソング音量を設定します

NOTE

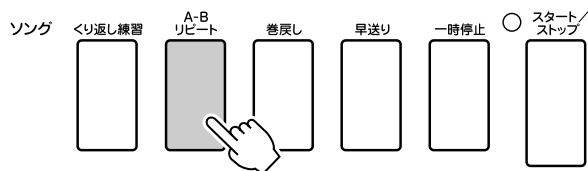
・ソング音量は、ソングが選ばれているときに設定できます。

ソングの一部をくり返して聞く

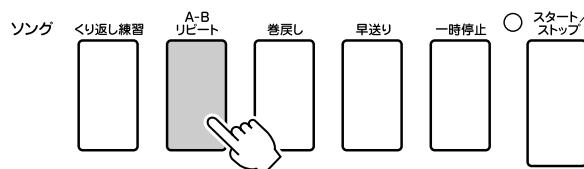
ソングのある特定の範囲(A点とB点)を指定して、くり返し再生することができます。



- 1 ソングを再生(33ページ)し、くり返し再生の開始位置(A点)にしたいところで[A-Bリピート] (A-B REPEAT) ボタンを押します



- 2 くり返し再生の終了位置(B点)にしたいところで、もう一度[A-Bリピート] (A-B REPEAT) ボタンを押します



- 3 ソングはA-B間でくり返し再生されます

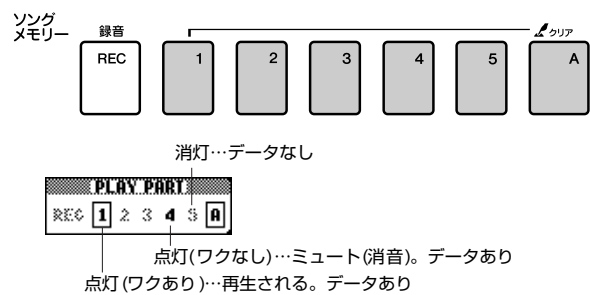
くり返し設定を取り消すには、くり返し再生中に[A-Bリピート] (A-B REPEAT) ボタンを押します。

NOTE

- ・A点とB点は、ソングの停止中は同じ小節内には設定できません。
- ・MAIN画面の右上には、001などの小節番号が表示されます。現在どの小節を再生中かあらわしており、ソングの進行にしたがって小節番号も変わります。
- ・くり返しの開始位置(A)を曲の先頭に指定したい場合は、ソングをスタートする前に[A-Bリピート] (A-B REPEAT) ボタンを押して設定します。

ソングの一部をミュート(消音)する

ソングは、演奏のパートや伴奏などに分かれた複数のトラックが同時に鳴っています。
それらの一部のトラックを鳴らさずに自分で弾いたり、特定のトラックだけを鳴らしたりすることができます。
トラックをミュートするには、消音したいトラック番号のボタン([1]～[5]、[A])を押します。トラックをミュート解除するときには、もう一度同じボタンを押します。



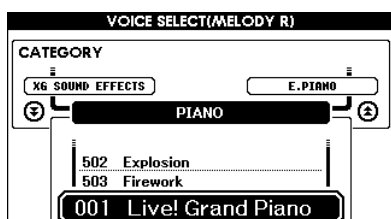
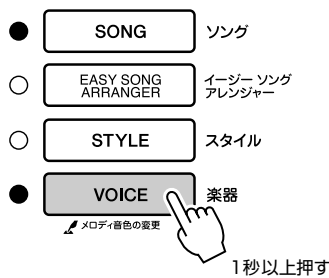
メロディー音色を変える

ソングのメロディー音色を、好みの楽器音に変えることができます。

レッスンの[右手]と[左手]ボタンを同時に押して、MAIN画面の右上に“LR”を表示させます。ソングを選んで再生させておきます。

1 [楽器](VOICE) ボタンを1秒以上押して、楽器リストを表示させます

[楽器](VOICE) ボタンを押すたびに、楽器リストのタイトルはメロディー RとメロディーLで切り替わりますので、好きなほうを選びます。



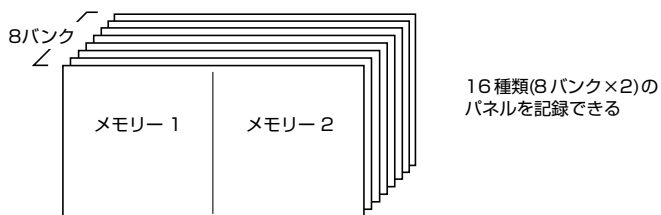
2 ダイアルを回して楽器音を選びます

楽器音を選ぶと、ソングは同じままで、メロディーの楽器音だけが切り替わります。



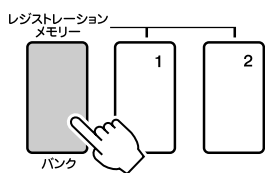
好みのパネル設定を記憶させよう

この楽器には、楽器音やスタイルなど、パネル上での設定内容を16種類(8バンク×2)まで本体に記録させることができるREGISTRATION MEMORY(レジストレーションメモリー)という機能があります。記録したパネル設定は、いつでも呼び出すことができます。

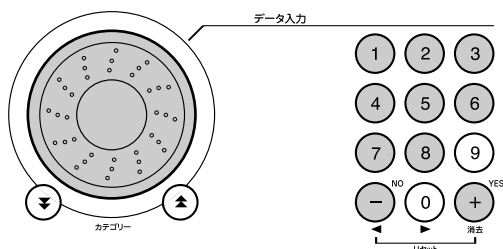


レジストレーションメモリーに記録する

- 1 パネル設定(楽器音、スタイルなど本体パネル上で行なう設定)を、記録させたい状態にします
- 2 [メモリー /バンク](MEMORY/BANK) ボタンを押して指を離すと、バンク番号が表示されます



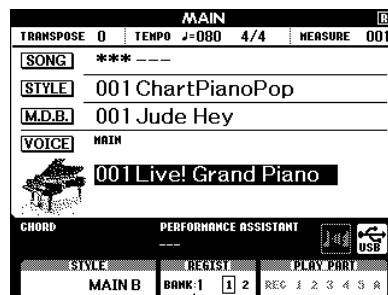
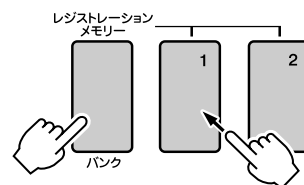
- 3 記録したいバンク(1~8)の番号をダイヤルや数字ボタン[1]~[8]を使って選択します



NOTE

・ソング再生中は、レジストレーションメモリーへの記録はできません。

- 4 [メモリー /バンク](MEMORY/BANK) ボタンを押しながら、レジストレーションメモリーボタン([1]または[2])を押します。これで現在のパネル設定が本体に記録されました



NOTE

・記憶したレジストレーションメモリーはユーザーファイルとしてUSBフラッシュメモリーへ保存できます(99ページ)。

NOTE

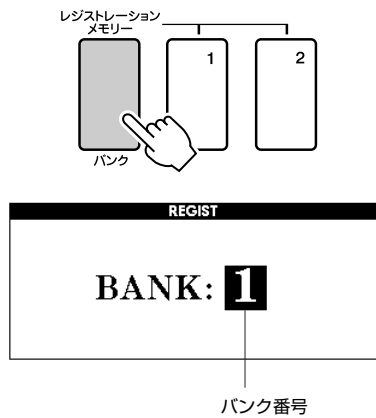
・すでにデータが記録されているレジストレーションメモリーを選択すると、データが上書きされ、以前のデータは消えてしまいます。



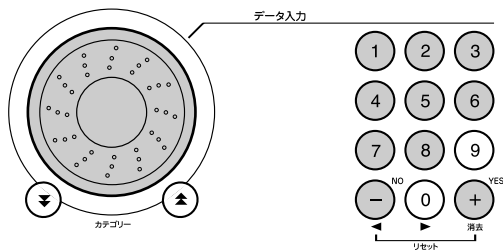
・書き込み中の表示をしているあいだは電源を切らないでください。データがこわれるおそれがあります。

記録したレジストレーションメモリーを呼び出す

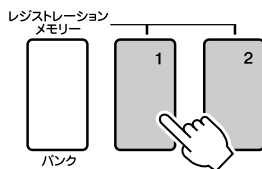
- 1** [メモリー / バンク](MEMORY/BANK) ボタンを押して指を離すと、バンク番号が表示されます



- 2** 呼び出したいバンク (1~8) の番号をダイヤルや数字ボタン [1]~[8] を使って選択します



- 3** 呼び出したい記録が入っているレジストレーションメモリーボタン ([1] または [2]) を押します。これで希望するパネル設定が呼び出されました



- レジストレーションメモリーに記録/呼び出しできる設定内容

- ・ **スタイル設定*** スタイル番号、スタイル オン/オフ、スプリットポイント、スタイル設定 (メインA/B)、スタイル音量、テンポ、コードフィンガリング
- ・ **楽器音設定** **メインボイス設定** (楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブレベル、コーラスレベル、DSPレベル)
デュアルボイス設定 (デュアル オン/オフ、楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブレベル、コーラスレベル、DSPレベル)
スプリットボイス設定 (スプリット オン/オフ、楽器番号、音量、オクターブ、パン、リバーブレベル、コーラスレベル)
- ・ **エフェクト設定** リバーブタイプ、コーラスタイプ、パネルサステイン オン/オフ、DSP オン/オフ、DSP タイプ
- ・ **ハーモニー設定** ハーモニー オン/オフ、ハーモニータイプ、ハーモニー音量
- ・ **その他** トランスポーズ設定
ピッチベンドレンジ

* ソングを選んでいる状態では、スタイル設定は記録/呼び出しできません。

機能設定(FUNCTION画面)

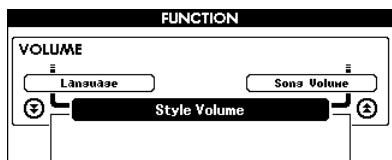
チューニングやスプリットポイント、各楽器音やエフェクトなどの細かな設定をするのが機能設定(FUNCTION画面)です。

項目を選んで値を変える

設定できる項目は50項目あります。

1 設定したい項目を、93ページのリストで見つけます

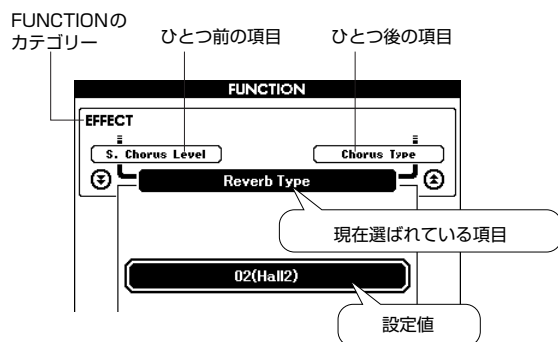
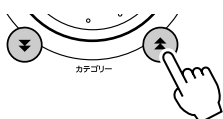
2 [機能](FUNCTION) ボタンを押してFUNCTION画面に入ります



3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を押すたびに、50個の項目が順番に画面に表示されますので、設定したい項目を選びます

設定できる項目については、93～95ページの機能設定リストをご覧ください。

画面上部左側にはひとつ前の項目が、右側にはひとつ後の項目が表示されています。

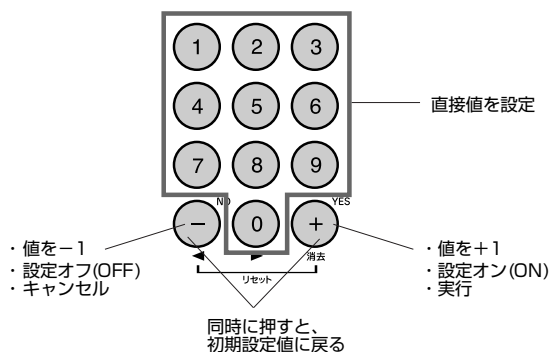


4 ダイヤルや[+]、[-]ボタン、または数字ボタン[0]～[9]で、値を設定します

オン(ON)/オフ(OFF)の設定には、[+]ボタン(オン)/[-]ボタン(オフ)を使います。

実行/キャンセルの設定には[+]ボタン(実行)/[-]ボタン(キャンセル)を使います。

また、[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。(MIDIのイニシャルセットアップセンド以外)



機能設定のいくつかの項目は、設定した時点で記憶されます。どの項目が記憶されるかについては、65ページの「バックアップされる内容」をご覧ください。記憶された設定を初期化するには、65ページの「初期化」の項目にある「バックアップクリア」を行なってください。

■ FUNCTION画面リスト

カテゴリー	設定	項目	設定値	内容
音量 (VOLUME)	スタイル音量	Style Volume	000~127	スタイルの再生音量を設定します。
	ソング音量	Song Volume	000~127	ソングの再生音量を設定します。
オーバーオール (OVERALL)	トランスポーズ	Transpose	-12~+12	音程を半音単位で設定します。
	チューニング	Tuning	-100~+100	楽器全体のチューニング (音の高さの微調整) を設定します。単位はセント。
	ピッチベンドレンジ	Pitch Bend Range	01~12	ピッチベンドの変化幅を半音単位で設定します。
	スプリットポイント	Split Point	021(A-1)~108(C7)	スプリットボイスとメインボイスの境目を設定します。自動伴奏のスプリットポイントにもこの設定が当てられます。
	タッチ感度	Touch Sensitivity	1(Soft)、2(Medium)、3(Hard)、4(Off)	タッチ感度を設定します。
	コードフィンガリング	Chord Fingering	1 (Multi Finger)、2 (FullKeyboard)	コードの検出方法を設定します。Multi Finger (マルチフィンガー) はスプリットポイントより左側の鍵盤で、通常のコードの押さえ方と、簡単なコードの押さえ方の両方を検出します。FullKeyboard (フルキーボード) は全鍵で通常の押さえ方のコードを検出し、同時に通常の鍵盤の音も鳴らせます。
メインボイス (MAIN VOICE)	音量	M. Volume	000~127	メインボイスの音量を設定します。
	オクターブ	M. Octave	-2~+2	メインボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	M. Pan	000~64~127 (左~中央~右)	メインボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブレベル	M. Reverb Level	000~127	メインボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスレベル	M. Chorus Level	000~127	メインボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
	DSPレベル	M. DSP Level	000~127	メインボイスにかけるDSP効果のかかり具合を設定します。
デュアルボイス (DUAL VOICE)	音量	D. Volume	000~127	デュアルボイスの音量を設定します。
	オクターブ	D. Octave	-2~+2	デュアルボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	D. Pan	000~64~127 (左~中央~右)	デュアルボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブレベル	D. Reverb Level	000~127	デュアルボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスレベル	D. Chorus Level	000~127	デュアルボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。
	DSPレベル	D. DSP Level	000~127	デュアルボイスにかけるDSP効果のかかり具合を設定します。
スプリットボイス (SPLIT VOICE)	音量	S. Volume	000~127	スプリットボイスの音量を設定します。
	オクターブ	S. Octave	-2~+2	スプリットボイスのオクターブを設定します。単位はオクターブ。
	パン	S. Pan	000~64~127 (左~中央~右)	スプリットボイスのパンを設定します。0にすると音は左のスピーカーから聞こえ、127にすると音は右のスピーカーから聞こえます。
	リバーブレベル	S. Reverb Level	000~127	スプリットボイスにかけるリバーブのかかり具合を設定します。
	コーラスレベル	S. Chorus Level	000~127	スプリットボイスにかけるコーラスのかかり具合を設定します。

カテゴリー	設定	項目	設定値	内容
エフェクト (EFFECT)	リバーブタイプ	Reverb Type	01～30	リバーブタイプを選択します。30はリバーブオフ。エフェクトタイプリスト参照(138ページ)
	コーラスタイプ	Chorus Type	01～25	コーラスタイプを選択します。25はコーラスオフ。エフェクトタイプリスト参照(138ページ)
	DSPタイプ	DSP Type	001～183	DSPタイプを選択します。エフェクトタイプリスト参照(138ページ)。
	パネルサステイン	Sustain	ON/OFF	MAIN/DUAL音色に常にサステイン効果をかける(ON)か、かけない(OFF)かを設定します。(74ページ)
	マスターEQタイプ	MasterEQ	1 (Speaker 1)、 2 (Speaker 2)、 3 (Headphones)、 4 (Line Out 1)、 5 (Line Out 2)	スピーカーへ出力されるサウンドを、シチュエーションに応じてもっとも聞きやすい音に設定します。
ハーモニー (HARMONY)	ハーモニータイプ	Harmony Type	01～26	ハーモニータイプを選択します。ハーモニータイプリスト参照(138ページ)
	ハーモニー音量	Harmony Volume	000～127	ハーモニー音量を設定します。
パフォーマンスアシスタント (Performance assistant technology)	パフォーマンスアシスタントタイプ	P.A.T. Type	1 (CHORD)、 2 (CHORD/FREE)、 3 (CHORD/MELODY)、 4 (MELODY)	パフォーマンスアシスタントのタイプを選びます。
PCモード(PC)	PCモード	PC Mode	PC1/PC2/OFF	コンピューターと接続する際のMIDI設定を、もっとも適したものになります(106ページ)。
MIDI (MIDI)	ローカル オン/オフ	Local	ON/OFF	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。(106ページ)
	外部クロック	External Clock	ON/OFF	この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(OFF)か、外部クロックで動作させる(ON)かを設定します。(106ページ)
	キーボードアウト	Keyboard Out	ON/OFF	鍵盤の演奏情報をUSB TO HOST端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	スタイルアウト	Style Out	ON/OFF	スタイルの再生時にスタイルデータをUSB TO HOST端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	ソングアウト	Song Out		ソングの再生時にユーザーソングをUSB TO HOST端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
	イニシャルセンド	Initial Send	YES/NO	この楽器のパネル設定をコンピューターに送信します。[+]ボタンを押すと実行、[-]ボタンを押すとキャンセル。
メトロノーム (METRONOME)	拍子	Time Numerator	01～60	メトロノームの拍子を設定します。
	1拍の長さ	Time Denominator	2分音符、4分音符、 8分音符、16分音符	メトロノームの1拍の長さを設定します。
	ベル	Bell	ON/OFF	ベルを鳴らす(オン)か鳴らさないか(オフ)を設定します。
	メトロノーム音量	Metronome Volume	000～127	メトロノームの音量を設定します。
スコア (SCORE)	クオンタイズ	Quantize	1(4分音符)、 2(4分3連音符)、 3(8分音符)、 4(8分3連音符)、 5(16分音符)、 6(16分3連音符)、 7(32分音符)、 8(32分3連音符)	譜面に表示される音符のタイミングのずれを修正して、譜面を見やすくすることができます。ソングで使っている最小の音符を選びます。たとえば、4分音符と8分音符が録音されているソングなら、♪(8分音符)に設定します。8分音符より細かい音符や休符は譜面に表示されなくなります。

カテゴリー	設定	項目	設定値	内容
レッスン (LESSON)	レッスントラック R	R-Part	GuideTrack 1～16	右手のレッスンをする際のガイドトラックを設定します。USBフラッシュメモリーかフラッシュメモリー内のSMFフォーマット0と1のソング(036～)にだけ機能します。
	レッスントラック L	L-Part	GuideTrack 1～16	左手のレッスンをする際のガイドトラックを設定します。USBフラッシュメモリーかフラッシュメモリー内のSMFフォーマット0と1のソング(036～)にだけ機能します。
	評価	Grade	ON/OFF	レッスン機能終了後に評価をする (ON)かしない (OFF)かを設定します。
ユーティリティ (UTILITY)	デモキャンセル	Demo Cancel	ON/OFF	オン (ON)にすると、[デモ](DEMO)ボタンを押してもデモソングがスタートしません。
言語 (LANGUAGE)	言語切り替え	Language	Japanese/English	デモ画面、メッセージ(一部)、歌詞表示およびファイル名の表示言語を設定します。それ以外の文字は常に英語表示されます。 Englishに設定した場合、ファイル名は欧文フォントで表示されるため、日本語(全角)で付けられたファイル名は文字化けします。また、歌詞表示はソングデータ中の言語設定に従いますが、言語設定がない場合はここでの設定に従って表示されます。

* [+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと、初期設定値に戻ります。(MIDIのイニシャルセンドを除く)



データの保存と読み込み

この楽器のUSB TO DEVICE端子にUSBフラッシュメモリーを接続すると、この楽器で録音した自分の演奏データや楽器の設定などを、ファイルとしてUSBフラッシュメモリーに保存したり、保存したファイルを楽器本体へ読み込むことができます。また、コンピューター上のソング、スタイル、ミュージックデータベースのファイルを、USBフラッシュメモリーに保存して楽器に接続すると、内蔵データと同じように扱えます(この場合読み込みは必要ありません)。

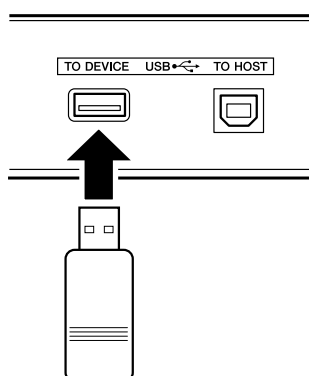
ここではUSBフラッシュメモリーの接続からフォーマット(初期化)およびデータファイルの保存(セーブ)、読み込み(ロード)、消去(デリート)操作について説明します。

USBフラッシュメモリーの取り扱いについては、97ページ「USB TO DEVICE端子で使用上の注意」、97ページ「USB記憶装置の取り扱いについて」をご覧ください。

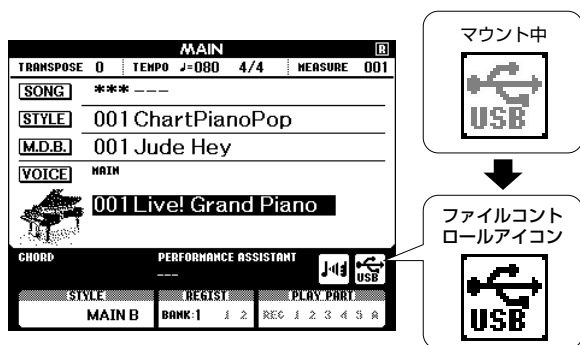
USBフラッシュメモリーを接続する

1 USBフラッシュメモリーをUSB TO DEVICE端子に、正しい向きで接続してください

USBフラッシュメモリーの向き(上下、前後)を間違えないようご注意ください。



2 MAIN画面にファイルコントロールアイコンが表示されているか確認します



この状態で[メニュー] (MENU) ボタンを押すと、ファイルの操作ができるFILE CONTROL(ファイルコントロール)画面に入ります。これ以降の操作は以下の参照ページを確認してから操作してください。

メニュー	参照ページ
USBフラッシュメモリーの初期化	98
ユーザーファイルの保存	99
ユーザーソングの保存	100
ファイルの読み込み	101
楽器内のファイルの削除	103
USBフラッシュメモリー内のファイルの削除	102

操作中、操作をスムーズに導くために、画面にメッセージが表示されることがあります。メッセージについては、120ページ「メッセージ一覧」をご覧ください。

NOTE

- FILE CONTROL画面が表示されているあいだは、鍵盤を弾いても音は鳴りません。またファイル操作に関するボタンしか使用できなくなります。

NOTE

- 以下の場合、ファイルコントロール画面は表示されません。
 - スタイルやソングの再生中
 - レッスン中
 - USBフラッシュメモリーの読み込み中

USB TO DEVICE端子ご使用上の注意

本機にはUSB TO DEVICE端子があります。USB TO DEVICE端子にUSB機器を接続する場合は、以下のことをお守りください。

NOTE

- ・USB機器の取り扱いについては、お使いのUSB機器の取扱説明書もご参照ください。

■ 使用できるUSB機器

- ・USB対応の記憶装置(フラッシュメモリー、フロッピーディスクドライブ)

動作確認済みUSB機器については、ご購入の前にインターネット上の下記URLでご確認ください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>

NOTE

- ・上記以外のUSB機器(マウス、コンピューターのキーボードなど)は、接続しても使えません。

■ USB機器の接続

- ・USB TO DEVICE端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。
- ・本機はUSB1.1に対応していますが、USB2.0の機器でも使用できます。ただし転送スピードはUSB1.1相当になりますので、ご了承ください。

USB記憶装置の取り扱いについて

本機にUSB記憶装置を接続すると、楽器本体で制作したデータをUSB記憶装置に保存したり、USB記憶装置のデータを楽器本体で再生したりできます。

NOTE

- ・USB記憶装置としてCD-R/RWドライブを接続した場合、CD-ROMのデータ(MIDIデータ)を楽器本体で再生/再現することはできませんが、楽器本体のデータを保存してCD-ROMを作ることはできません。

■ 接続できるUSB記憶装置の数

同時に使用できるUSB記憶装置は、1台だけです。

■ USB記憶装置のフォーマット

USB記憶装置の中には、本機で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。USB TO DEVICE端子にUSB記憶装置を接続したとき(またはUSB記憶装置にフロッピーディスクなどのメディアを挿入したとき)に、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、フォーマットを実行してください(98ページ)。



- ・フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。必要なデータが入っていないのを確認してからフォーマットしてください。

■ 誤消去防止

USB記憶装置には、誤ってデータを消してしまわないようライトプロテクト機能のついたものがあります。大切なデータが入っている場合は、ライトプロテクトで書き込みができないようにしましょう。逆にデータを保存する場合などは、ご使用前にお使いのUSB記憶装置のライトプロテクトが解除されていることをご確認ください。

■ USB記憶装置の抜き差し

USB記憶装置を外すときは、保存/削除などデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。



- ・USB記憶装置の頻繁な電源のオン/オフや抜き差しをしないでください。楽器本体の機能が停止するおそれがあります。保存/削除/フォーマットなどデータのアクセス中やUSB記憶装置のマウント中は、USBケーブルを抜いたり、USB記憶装置からメディア取り出したり(USBフラッシュメモリーを抜いたり)、双方の電源を切ったりしないでください。メディアが壊れたり、楽器本体/メディアのデータが壊れたりするおそれがあります。

USBフラッシュメモリーのフォーマット

市販のUSBフラッシュメモリーを、この楽器で使用できる状態にすることをフォーマット(初期化)といいます。



・データが入っているUSBフラッシュメモリーをフォーマットすると、中に記録されていたデータはすべて失われてしまいます。大切なデータをフォーマットで消してしまわないようにご注意ください。

- 1** フォーマットするUSBフラッシュメモリーがUSB TO DEVICE端子に接続された状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください

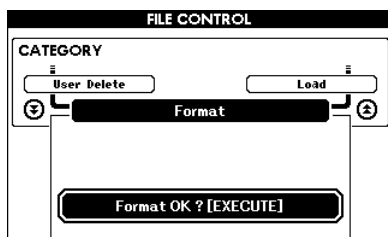
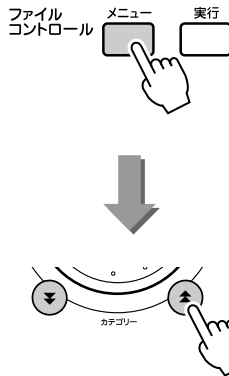


- 2** ファイルコントロールの[メニュー](MENU)ボタンを押して、FILE CONTROL画面のFormatの項目を表示させます

フォーマットの実行を確認する画面が表示されます。

NOTE

・手順2でLoadの項目に入った場合は、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してFormatの項目を表示させてください。



- 3** [実行](EXECUTE)ボタンを押すと、フォーマットの実行を再確認する表示が表れます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

- 4** [実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押すと、フォーマットが実行されます



・フォーマット実行中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

- 5** フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます

[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

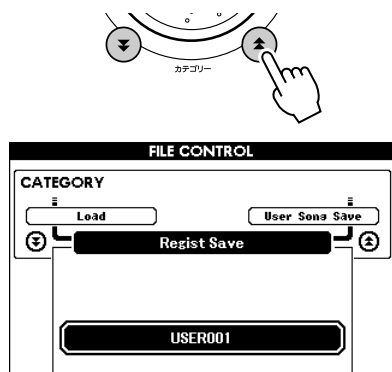
NOTE

・USBフラッシュメモリーにライトプロテクトがかかっている場合はメッセージが表示され、フォーマット操作はできません。

ユーザーファイル(レジストレーションメモリー)をUSBフラッシュメモリーに保存する

レジストレーションメモリーを“ユーザーファイル”として、USBフラッシュメモリーに保存します。このファイルの拡張子は.usrです。(楽器本体に拡張子は表示されません)

- 1 フォーマット済みのUSBフラッシュメモリーがUSB TO DEVICE端子に接続された状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください
- 2 ファイルコントロールの[メニュー](MENU)ボタンを押します
- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、「Regist Save」を表示させます
保存操作によって作成されるファイルの名前が自動的に付けられます。



- すでにあるファイルを書き替えるには
すでにUSBフラッシュメモリーにあるユーザーファイルに上書きをする(書き替える)場合は、**ダイヤル**や[+]、[-]ボタンでファイルを選び、手順6へ進みます。

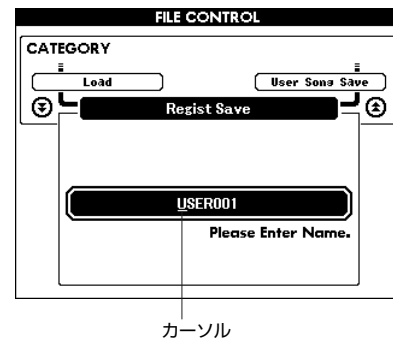
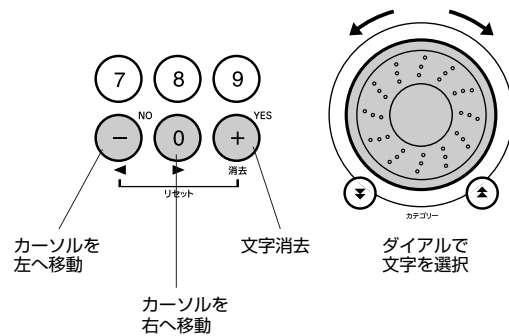
NOTE

- ・USBフラッシュメモリーにライトプロテクトがかかっている場合はメッセージが表示され、保存操作はできません。
- ・保存するのに必要なメモリーの空き容量がUSBフラッシュメモリーにない場合はメッセージが表示され、保存操作はできません。不要なファイルを削除(102ページ)するなどして、保存に必要な空き容量を確保してください。
- ・その他、メッセージが表示され、保存操作ができない場合は、『メッセージ一覧』(120ページ)をご覧ください。

- 4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。ファイル名の先頭文字の下にカーソルが表示されます

- 5 必要に応じて、ファイル名を変更します

- ・[-]ボタンでカーソルを左、[0]ボタンで右に移動します
- ・ダイヤルで文字を選びます
- ・[+]ボタンでカーソル位置の文字を消去します



- 6 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。
保存の実行を確認する画面が表示されます
キャンセルの場合は[-]ボタンを押します。

- 7 [実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押すと保存が実行されます

ユーザーファイルは、USBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダーに保存されます。



- ・保存中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

- 8 保存が完了すると、メッセージが表示されます
[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

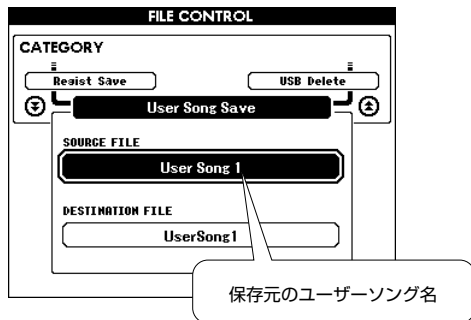
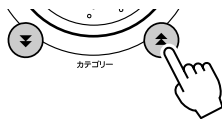
NOTE

- ・すでにあるファイル名を選んでいる場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は[実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押します。キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。
- ・USBフラッシュメモリーの状態により、保存にかかる時間が長くなる場合があります。

ユーザーソングをUSBフラッシュメモリーに保存する

ユーザーソング(ソング番号031~035)をUSBフラッシュメモリーに保存します。

- 1 フォーマット済みのUSBフラッシュメモリーがUSB TO DEVICE端子に入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください
- 2 ファイルコントロールの[メニュー](MENU)ボタンを押します
- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して「User Song Save」を表示させます
SOURCE FILEの欄が反転し、ユーザーソング名が表示されています。

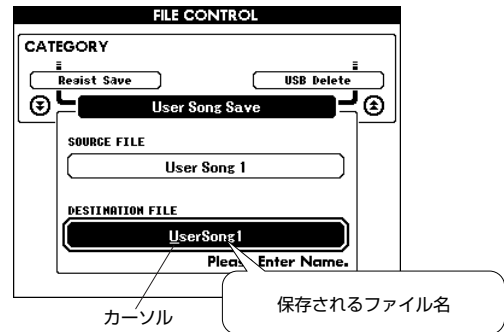


- 4 ダialを回して保存元のユーザーソングを選びます
[+]ボタンと[-]ボタンを同時に押すと、先頭のユーザーソングが表示されます。
- 5 [実行](EXECUTE)ボタンを押します
保存されるファイル名(自動設定)が表示されています。

●すでにあるファイルを書き替えるには
すでにUSBフラッシュメモリーにあるソングファイルに上書きをする(書き替える)場合は、**ダイヤル**や[+]、[-]ボタンでファイルを選び、手順7へ進みます。

- 6 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。ファイル名の先頭文字の下にカーソルが表示されます

- 7 必要に応じて、ファイル名を変更します
(変更方法は、『ユーザーファイルを保存する』99ページの手順4、5を参照)



- 8 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。
保存の実行を確認する画面が表示されます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。
- 9 [実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押すと保存が実行されます
ユーザーソングは、USBフラッシュメモリー内の「USER FILES」フォルダーに保存されます。



・保存中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

- 10 保存が完了すると、メッセージが表示されます
[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

NOTE

- ・すでにあるファイル名を選んでいる場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は[実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押します。キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。
- ・USBフラッシュメモリーの状態により、保存にかかる時間が長くなる場合があります。

USBフラッシュメモリーからファイルを読み込む(ロード)

USBフラッシュメモリー内のユーザーファイルやスタイルファイル、ソングファイル、ミュージックデータベースファイルを、本体メモリーに読み込みます。



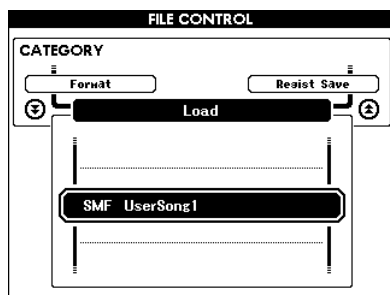
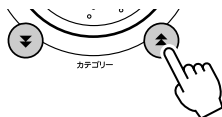
・ユーザーファイルを読み込むと、レジストレーションメモリーはすべて上書きされます。大切なデータは読み込み前にUSBフラッシュメモリーに保存しておきましょう。

- 1 読み込みたいファイルの入ったUSBフラッシュメモリーがUSB TO DEVICE端子に接続された状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください



- 2 ファイルコントロールの[メニュー](MENU) ボタンを押します

- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押してロードの項目「Load」を表示させます



- 4 ダIALを回して、読み込みたいファイルを選択します

ファイルはユーザーファイル、ソング、スタイル、ミュージックデータベースの順番に表示されます。読み込みたいファイルは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダー内にある必要があります。フォルダー外にあるファイルは認識されません。

- 5 [実行](EXECUTE) ボタンを押します。読み込みの実行を確認する画面が表示されます。キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

- 6 [実行](EXECUTE) ボタンまたは[+]ボタンを押すと読み込みが実行されます



・読み込み中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

- 7 読み込みが完了すると、メッセージが表示されます

[画面 戻る](EXIT) ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

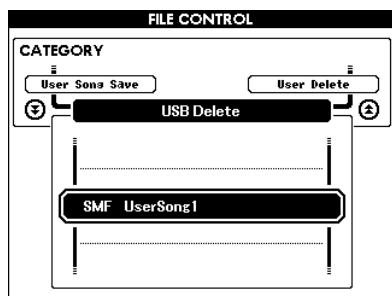
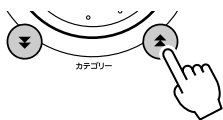
USBフラッシュメモリー内のデータを削除する

USBフラッシュメモリー内のユーザーファイル、ソング、スタイル、ミュージックデータベースを削除します。

- 1 削除したいファイルが入ったUSBフラッシュメモリーがUSB TO DEVICE端子に接続された状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください



- 2 ファイルコントロールの[メニュー](MENU)ボタンを押します
- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して「USB Delete」を表示させます



- 4 ダialを回して削除したいファイルを選択します

ファイルはユーザーファイル、ソング、スタイル、ミュージックデータベースの順番に表示されます。削除したいファイルは、USBフラッシュメモリーの「USER FILES」フォルダー内にある必要があります。フォルダー外にあるファイルは認識されません。

- 5 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。削除の実行を確認する画面が表示されます。キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

- 6 [実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押すと削除が実行されます



・削除中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

- 7 削除が完了すると、メッセージが表示されます。[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

NOTE

・USBフラッシュメモリーにライトプロテクトがかかっている場合はメッセージが表示され、削除はできません。

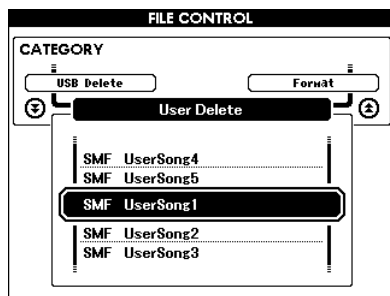
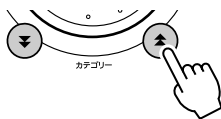
楽器内部のユーザーデータを削除する

ユーザーソングと、コンピューターなどから読み込んだソング、スタイル、ミュージックデータベースを削除します。この機能を使っても、楽器内蔵のデータが削除されることはありません。

1 ファイルコントロールの[メニュー](MENU)ボタンを押します

2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して「User Delete」を表示させます

USBフラッシュメモリーを接続していない場合は、User Deleteカテゴリーしか選べません。



3 ダialを回して削除したいファイルを選択します

ファイルはユーザーソング、コンピューターなどから読み込んだソング、スタイル、ミュージックデータベースの順番に表示されます。

4 [実行](EXECUTE)ボタンを押します。削除の実行を確認する画面が表示されます
キャンセルする場合は[-]ボタンを押します。

5 [実行](EXECUTE)ボタンまたは[+]ボタンを押すと削除が実行されます



・削除中はキャンセルできません。絶対に電源を切ったりUSBフラッシュメモリーを抜いたりしないでください。

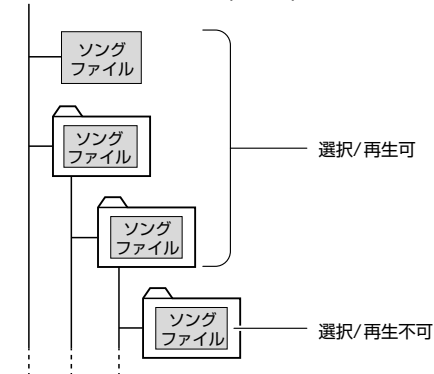
6 削除が完了すると、メッセージが表示されます
[画面戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面へ戻ります。

USBフラッシュメモリー内のファイルを再生する

IMPORTANT

・コンピューターなど他の機器からUSBフラッシュメモリーにコピーしたデータを再生したい場合、ルートかルート上のフォルダー、またはルート上のフォルダー内につくったフォルダーの中に保存してください。これよりさらに下の階層のフォルダーに保存されたソングは、この楽器では選択/再生できませんのでご注意ください。

USBフラッシュメモリー (ルート)



1 再生したいソング、スタイル、またはミュージックデータベースが入っているUSBフラッシュメモリーがUSB TO DEVICE端子に入った状態で、MAIN画面のファイルコントロールアイコンが表示されているのを確認してください



2 再生したいデータに合わせて、[ソング](SONG)ボタン、[スタイル](STYLE)ボタン、[ミュージックデータベース](MUSIC DATABASE)ボタンのいずれかを押します

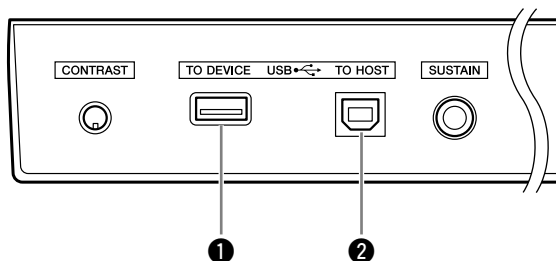
3 Dialなどを使って、ファイルを選びます
ソングは36以降、スタイルは161以降、ミュージックデータベースは301以降の番号から選びます。

4 [スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押したり、鍵盤を弾いてデータを再生させます



他の機器と接続する

端子について



① USB TO DEVICE 端子

USB記憶装置を接続する端子です。
詳しくは97ページの「USB TO DEVICE 端子ご使用上の注意」をご覧ください。

② USB TO HOST 端子

コンピューターに直接接続する端子です。
詳しくは105ページの「コンピューターと接続する」をご覧ください。

コンピューターと接続する

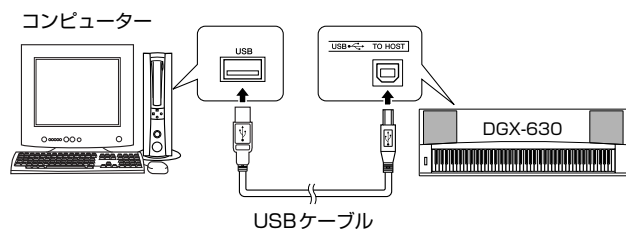
この楽器とコンピューターを接続することで、以下のことができます。

- この楽器とコンピューターとのあいだで演奏情報をやりとりする。(105ページ)
- この楽器とコンピューターとのあいだでファイルを送受信する。(107ページ)

コンピューターとの接続は、以下の手順で行ないます。

- 1 USB-MIDIドライバーをコンピューターにインストールする
USB-MIDIドライバーは、付属のCD-ROMの中に入っています。詳しくは112～114ページ「USB-MIDIドライバーのインストール」をご覧ください。
- 2 ABタイプのUSBケーブル(別売)で楽器とコンピューターを接続する

付属のCD-ROMに入っているソフトウェア「ミュージックソフト ダウンローダー」を使うと、コンピューター上のソングファイルをこの楽器のUSBフラッシュメモリまたはフラッシュメモリへ転送することができます。ミュージックソフト ダウンローダーのインストール方法と、ソングファイルの転送方法は、107、115ページをご覧ください。



■USB端子ご使用時の注意

USB TO HOST端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。

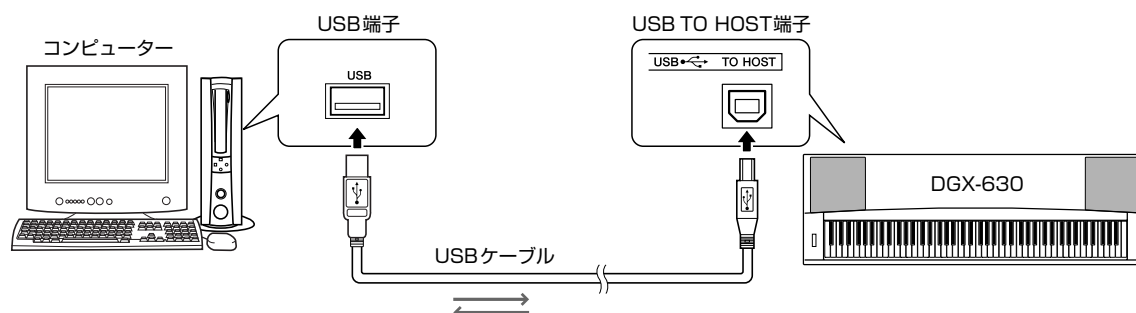


- ・USBケーブルは、ABタイプのものご使用ください。また、3メートル以下のケーブルをご使用ください。
- ・USB TO HOST端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- ・本体の電源を入れる前に、USB TO HOST端子とコンピューターを接続してください。
- ・本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - ・すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - ・本体からデータが送信されていないか確認してください。(鍵盤を演奏したりソング再生などをさせたりしても、本体からデータが送信されます。)
- ・本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。
- ・楽器のUSB TO HOST端子とコンピューターのUSB端子は、ハブを経由せずに接続してください。

演奏情報を送受信する

他のMIDI機器やコンピューターとこの楽器を接続することにより、この楽器の演奏情報を他のMIDI機器やコンピューターで活用したり、他のMIDI機器やコンピューターから演奏情報を受信してこの楽器で鳴らすことができます。

- コンピューターと接続して演奏情報を送受信します



■MIDI設定

演奏情報の送受信に関する設定を行ないます。

項目	設定値	内容
ローカル オン/オフ	ON/OFF	この楽器の演奏を、この楽器の内部音源で鳴らす(ON)か鳴らさない(OFF)かを設定します。
外部クロック	ON/OFF	この楽器のクロックを内部クロックで動作させる(OFF)か、外部クロックで動作させる(ON)かを設定します。
キーボードアウト	ON/OFF	鍵盤の演奏情報をUSB TO HOST端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
スタイルアウト	ON/OFF	スタイルの再生時にスタイルデータをUSB TO HOST端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
ソングアウト	ON/OFF	ソングの再生時にユーザーソングをUSB TO HOST端子から送信する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。



・ローカルがオフに設定されていると、鍵盤を弾いても楽器から音は鳴りません。

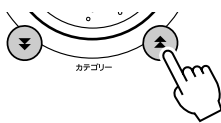


・外部クロックをオンにすると、外部からクロック信号が入力されない限り、ソング、スタイルはスタートしません。

1 [機能](FUNCTION) ボタンを押します



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して設定を変えたい項目を表示させます



3 ダイアルを回してONかOFFを選びます

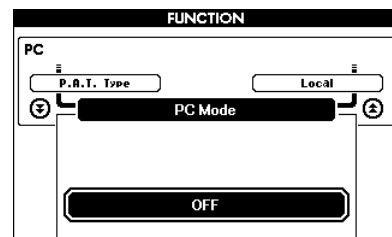
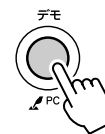
■PC設定

MIDI設定を、以下の表のように一括で切り替えるのがPC設定です。PC1、PC2、OFFから選びます。ただしCD-ROMの中に入ったソングファイルとスタイルファイルをコンピューターから楽器に転送する場合は、PC設定を行なう必要はありません。

* PC2は将来の拡張用です。

	PC1	PC2*	OFF
ローカル	オフ	オフ	オン
外部クロック	オン	オフ	オフ
ソングアウト	オフ	オフ	オフ
スタイルアウト	オフ	オフ	オフ
キーボードアウト	オフ	オン	オン

1 [デモ](DEMO) ボタンを1秒以上押して、FUNCTION画面のPCモードの項目「PC Mode」を表示させます



2 ダイアルを回してPCモードをPC1かオフ(OFF)に設定します

NOTE

・[機能](FUNCTION)ボタンを押してから、カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、PCモードの項目「PC Mode」に移動することもできます。(92ページ)

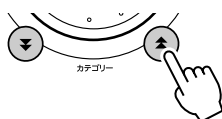
楽器のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

この楽器のパネル設定を外部機器に送信します。DGX-630の演奏をシーケンサーなどに録音するとき、演奏の前にイニシャルセンドを行なうことにより、再生時に、録音したときと同じパネル設定で再生することができます。

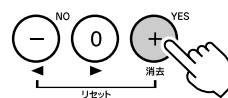
1 [機能](FUNCTION) ボタンを押します



2 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、イニシャルセンドの項目「Initial Send」を表示させます



3 [+ /YES] ボタンを押して送信します



楽器とコンピューターとのあいだでファイルを送受信する

コンピューター上や付属CD-ROM内のソング、スタイル、ミュージックデータベースを、楽器へ転送することができます。また、バックアップファイルを楽器とコンピューターのあいだで送受信することもできます。

コンピューターとこの楽器との間でファイルの受渡しをするためには、この楽器に付属のCD-ROMに入っている「ミュージックソフト ダウンローダー」および「USB-MIDIドライバー」を、ご使用のコンピューターにインストールする必要があります。インストールについて詳しくは、『CD-ROMインストールガイド』(110ページ)をご覧ください。

●コンピューターからこの楽器へ転送できる内容

- ・データ量：1,895KB
ソング、スタイル、ミュージックデータベース
全体で最大502ファイル
- ・データフォーマット
ソング：.mid SMFフォーマット0/1
スタイル：.sty
ミュージックデータベース：.mfd
バックアップファイル：08PG88G.bup

●SMF(スタンダードMIDIファイル)とは
演奏データを記録する書式のことをシーケンスフォーマットといいます。SMF(スタンダードMIDIファイル)は代表的なシーケンスフォーマットの1つで、「FORMAT 0」と「FORMAT 1」があります。多くのMIDI機器が「SMF FORMAT 0」に対応しており、また市販のソングデータの多くが、「SMF FORMAT 0」で作られています。

■ミュージックソフト ダウンローダーを使うと、以下のことができます ●●●●●●●●

- コンピューター上のファイルを、この楽器内部のフラッシュメモリーに転送する。
⇒手順は108ページをご覧ください。
付属のCD-ROMのMIDIソングを例にして、コンピューターから楽器へ転送する方法を説明していません。
- バックアップファイルを楽器とコンピューターのあいだで送受信する。
⇒手順は109ページをご覧ください。

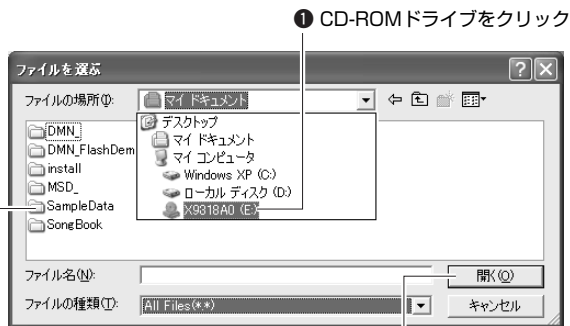
ミュージックソフト ダウンローダーはインターネットエクスプローラー 5.5以上の環境でお使いください

■ミュージックソフト ダウンローダーを使って、付属のCD-ROMのMIDIソングを楽器のフラッシュメモリーに転送してみましょう

NOTE

・楽器がソングやスタイルを再生中の場合は、ストップさせてください。またファイルコントロール画面が表示されている場合は、[画面 戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面に戻っておいてください。

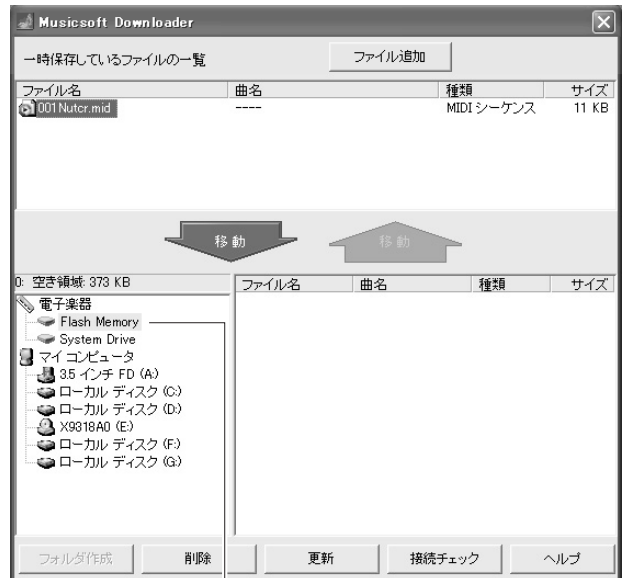
- 1 ミュージックソフト ダウンローダーおよびUSB-MIDIドライバーをコンピューターにインストール(112ページ)し、楽器とコンピューターをUSBケーブルで接続します
 - 2 アクセサリー CD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに挿入します。自動的にスタート画面が表示されるので、スタート画面を閉じてください
 - 3 デスクトップのミュージックソフト ダウンローダーのショートカットアイコンをダブルクリックします。ミュージックソフト ダウンローダーが起動し、画面が表示されます
- NOTE**
- ・ミュージックソフト ダウンローダー起動中は、楽器の操作はできません。
- 4 [ファイル追加] ボタンをクリックすると、ファイル追加画面が表示されます
 - 5 「ファイルの場所」の右横にある▼ボタンをクリックして、ポップアップメニューのCD-ROMドライブをクリックします。画面上に「SampleData」フォルダーが表示されるので、ダブルクリックします。「SongData」フォルダーから電子楽器に転送したいソングファイルを選択し、[開く] をクリックします



- ① CD-ROMドライブをクリック
- ② 「SampleData」フォルダーをダブルクリックし、「SongData」フォルダーから転送したいファイルを選択
- ③ [開く]をクリック

ここでコンピューター上のスタイルファイルやミュージックデータベースファイルを選べると、ソングと同様に楽器内に転送することができます。

- 6 画面上部の「一時保存しているファイルの一覧」に、選んだMIDIソングファイルのコピーが表示されます。コピーの移動先として、画面左下にメディアが表示されるので、[電子楽器] をクリックしてから、[Flash Memory] をクリックします



- ① [電子楽器] をクリックしたあと、[Flash Memory] をクリック

- 7 転送したいファイルを選択し、下向きの[移動] ボタンを押すと、確認のメッセージが出ます。[OK] をクリックすると、「一時保存しているファイルの一覧」から楽器のメディアへソングが転送されます

NOTE

・USBフラッシュメモリーのルートディレクトリーなど、USBフラッシュメモリーのUSER FILES フォルダ以外の場所にミュージックソフト ダウンローダーで転送されたファイルは、楽器本体のファイルコントロール画面では削除できません。これらのファイルを削除したい場合は、ミュージックソフト ダウンローダーの削除ボタンを使ってください。

8 画面を閉じて、ミュージックソフト ダウンローダーを終了させてください

NOTE

・転送したファイルを再生するには、ミュージックソフト ダウンローダーを終了させる必要があります。

9 転送したソングを再生させるには、[ソング] (SONG) ボタンを押します。ダイヤルを回して聞きたいソング名を表示させます。[スタート/ストップ] (START/STOP) ボタンを押すと、ソングが再生されます



・通信中はUSBケーブルを抜かないでください。送信中のデータが保存されないだけでなく、メディアの動作が不安定になり、メモリー内容が電源を入れたり切ったりするときにすべて消える可能性があります。



・保存したデータは、故障や誤操作のために失われることがあります。大切なデータはコンピューター側に保存しておくことをおすすめします。

●コンピューターから転送したソングをレッスン および譜面表示するために...

コンピューターから転送したSMFフォーマット0と1のソングを使ってレッスンをするには、どのチャンネルを右手/左手パートとして再生させるのか設定しておく必要があります。これをガイドトラックの設定と呼びます。

- 1 [ソング] (SONG) ボタンを押して、ガイドトラックの設定を行ないたいメディア内のソング(036～)を選択しておきます
- 2 [機能] (FUNCTION) ボタンを押して、FUNCTION画面を表示させます
- 3 カテゴリーボタン[▲]、[▼]を何度か押して、右手パートの項目「R-Part」、または左手パートの項目「L-Part」を表示させます
- 4 ダイヤルを回して、右手パート、左手パートとして再生させたいチャンネルを表示させます

右手パートには1ch、左手パートには2chを設定することをおすすめします。

■楽器からコンピューターへバックアップファイルを転送する

ミュージックソフト ダウンローダーを使って、楽器内のレジストレーションメモリーとFUNCTION画面内の各設定(65ページ)を、「バックアップファイル」としてコンピューターに送信できます。ミュージックソフト ダウンローダー画面の左下にある[電子楽器]をクリックして、[System Drive]をクリックすると、08PG88G.bupというファイルが画面右下に表示されます。これがバックアップファイルです。ファイルをコンピューターに送信する方法は、ミュージックソフト ダウンローダーについているヘルプ「コンピューターと電子楽器の間でデータを転送する(プロテクトのかかっていないデータの場合)」をご参照ください。



・バックアップファイルは、1つのファイルとして送受信されます。このため受信のたびにレジストレーションメモリーはすべて上書きされますのでご注意ください。



・コンピューター上でバックアップファイル名をリネーム(書き換え)しないでください。楽器内に転送したとき認識されなくなります。



CD-ROMインストールガイド

ご注意

- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の著作権はすべてヤマハ(株)が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアが入っているディスクは、オーディオ/映像用ではありません。コンピューター以外の機器では絶対に使用しないでください。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

CD-ROMについて

●データの種類

このCD-ROMには、コンピューター用のソフトウェアが入っています。ソフトウェアのインストールについては112ページをご参照ください。



- ・ このCD-ROMを、コンピューター以外の機器で再生しないでください。大音量により聴覚障害になったり、機器が破損したりするおそれがあります。

●データの対応OS (オペレーティングシステム)

このCD-ROMのデータは、Windowsにのみ対応しています。Macintoshには対応していません。

ソフトウェアの動作環境

データ名	OS	CPU	メモリー	ハードディスク	ディスプレイ
ミュージックソフト ダウンローダー	Windows 2000/ XP Home Edition/ XP Professional/ Vista *32bitのみ対応	233MHz以上の Intel® Pentium® およびCeleron® ファミリー (500MHz以上推奨)	64MB以上 (256MB以上推奨)	128MB以上の 空き領域 (512MB以上 推奨)	800×600 HighColor(16-bit)
USB Driver for Windows 2000/XP	Windows 2000/ XP Home Edition/ XP Professional	166MHz以上の Intel® Pentium® およびCeleron® ファミリー	32MB以上 (64MB以上推奨)	3MB以上の空き 領域	—
USB Driver for Windows Vista/XP x64	Windows Vista/ XP Professional x64 Edition	800MHz以上の Intel® Pentium® およびCeleron® ファミリーまたは Intel®64対応	512MB以上	3MB以上の空き 領域	—

ソフトウェアのインストール

●アンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

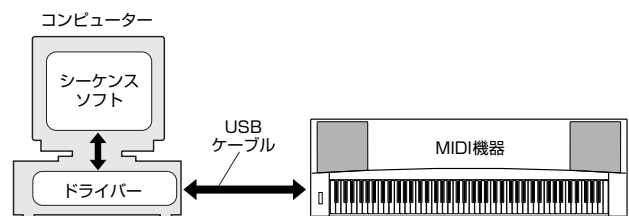
NOTE

・ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

■USB-MIDIドライバーのインストール・・・

MIDI機器をコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。

USB-MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MIDI機器にMIDI信号を送信したり、逆にMIDI機器からシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



Windows 2000をお使いの場合→113ページ

Windows XPをお使いの場合→113ページ

Windows Vistaをお使いの場合→114ページ

お使いのCD-ROMドライブのドライブ名(D:、E:、Q: など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピュータ」の中のCD-ROMアイコンの下に表示されています。(CD-ROMドライブのルートディレクトリーはそれぞれD:¥、E:¥、Q:¥、などになります。)

Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows 2000にログオンします
 - 2 [マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視-ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします
 - 3 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されます
 - 4 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB TO HOST端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。**[次へ]**をクリックします
(コンピューターによっては、このウィンドウが表示されるまでに数分かかる場合があります。)
- 自動的に表示されない場合は、取扱説明書のCD-ROMインストールガイド「困ったときは」をご覧ください。
- 5 「デバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、**[次へ]**をクリックします
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
 - 6 「CD-ROMドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。**[次へ]**をクリックします

NOTE

・ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv2k」フォルダー(D¥USBdrv2k_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 「別のドライバーを1つインストールする」のチェックを外して、**[次へ]**をクリックします

NOTE

・インストール中、「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージが表示される場合がありますが、[はい]をクリックして次へ進んでください。

- 8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。**[完了]**をクリックします

NOTE

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

- 9 コンピューターを再起動します

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows XPへのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows XPにログオンします
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。
コントロールパネルがカテゴリー表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます
- 3 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ドライバー署名オプション]で「無視-ソフトウェアをインストールし、確認を求めない(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします
- 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます
- 5 CD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されます
- 6 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB TO HOST端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます
自動的に表示されない場合は、取扱説明書のCD-ROMインストールガイド「困ったときは」をご覧ください。

ディスプレイの右下に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されることがありますが、「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されるまでお待ちください。(コンピューターによっては、このウィンドウが表示されるまでに数分かかる場合があります。)

Windows Update に接続するかどうかを選ぶウィンドウが表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選んで**[次へ]**をクリックします。

NOTE

・コンピューターによっては、この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

- 7 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、**[次へ]**をクリックします。インストールが始まります

NOTE

・インストール中、「ロゴテストに合格していません」というメッセージが表示される場合がありますが、[続行]をクリックして次へ進んでください。

8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします

NOTE

・コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに数分かかる場合があります。

9 コンピューターを再起動します

ディスプレイの右下に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されることがありますが、「システム設定の変更」ウィンドウが表示されるまでお待ちください。(コンピューターによっては、このウィンドウが表示されるまでに数分かかる場合があります。)

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

NOTE

・Windows XP Professional x64 Editionをお使いの場合は、この画面は表示されません。再起動は不要です。

10 Windows XP Professional x64 Editionをお使いの場合、サポートモジュールのインストールが必要です

「スタート」メニューから「マイコンピュータ」を開きます。CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「開く」を選択します。「USBdrvVista」→「XPx64SupportModule」→「Setup.exe」の順に選択し、「Setup.exe」を起動させます。画面の指示に従ってインストールを行なってください。

NOTE

・サポートモジュールのインストール後に新たな機器を追加した場合や、ドライバーをアップデートした場合は、この操作は不要です。

Windows Vistaへのインストール

1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows Vistaにログインします

2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。自動的にスタート画面が表示されます

3 MIDI機器の電源が切れていることを確認した上で、コンピューターのUSB端子とMIDI機器のUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMIDI機器の電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアが見つかりました」が自動的に表示されます。「ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)」をクリックします。

自動的に表示されない場合は、取扱説明書のCD-ROMインストールガイド「困ったときは」をご覧ください(コンピューターによっては、このウィンドウが表示されるまでに数分かかる場合があります。)

NOTE

・「ユーザーアカウント制御」の警告メッセージが表示された場合は、「続行」をクリックしてください。

4 「新しいハードウェアの検出」ウィンドウが表示されたら、「オンラインで検索しません」をクリックします

5 付属ディスクの挿入を促すウィンドウが表示されたら、[次へ]をクリックします。インストールが始まります

NOTE

・コンピューターの設定によっては、インストール中に「Windows セキュリティ」の警告メッセージが表示される場合があります。発行元が「YAMAHA CORPORATION」であることを確認して、[インストール]をクリックしてください。

6 インストールが終わると、「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました」と表示されます。[閉じる]をクリックします

(コンピューターによっては、インストール終了後このウィンドウが表示されるまでに数分かかる場合があります。)

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

■ミュージックソフト ダウンローダーのインストール.....

これらのソフトウェアはMIDI機器とコンピューターを接続して使用するので、USB-MIDIドライバーをインストールしておく必要があります。USB-MIDIドライバーをインストールした上で、下記のとおりインストールしてください。

IMPORTANT

- ・ミュージックソフト ダウンローダーをWindows 2000、XP、またはVistaにインストールするには、administrator権限のあるアカウントでログオンしてください。

1 付属のCD-ROMをコンピューターのドライブに挿入します。自動的にスタート画面が起動し、アプリケーションソフトウェアの項目が表示されます

NOTE

- ・自動的にスタート画面が起動しない場合は、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開きます。CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「開く」を選びます。「Start.exe」をダブルクリックします。そのまま手順2に進んでください。

2 スタート画面上の「ミュージックソフト ダウンローダー」をクリックし、[インストール]ボタンを押します。画面の指示に従ってインストールを実行します

ミュージックソフト ダウンローダーの詳しい操作については、ヘルプをご覧ください。ミュージックソフト ダウンローダーを起動させて、[ヘルプ]をクリックします。

* 下記URLで、「ミュージックソフト ダウンローダー」の最新バージョンを入手できます。

<http://www.yamaha.co.jp/download/msd/>

IMPORTANT

- ・このMIDI機器とコンピューターの間でファイル転送を行なう場合、使用可能なアプリケーションはミュージックソフト ダウンローダーのみです。その他のファイル転送アプリケーションは使えません。

■困ったときは

ドライバーがインストールできない

- ・ USBケーブルは正しく接続されていますか？
USBケーブルの接続を確認してください(MIDI機器 取扱説明書)。
一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。
- ・ お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか？
初めてMIDI機器をコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。
 - 1 「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)、または「コントロールパネル」→「デバイスマネージャ」(Windows Vista)でデバイスマネージャを表示させます。
 - 2 「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついていないことを確認してください。「USBルートハブ」などに「！」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。
- ・ 不明なデバイスが登録されていませんか？
何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MIDI機器が「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。
 - 1 「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」(Win2000/XP)、または「コントロールパネル」→「デバイスマネージャ」(Windows Vista)でデバイスマネージャを表示させます。
 - 2 「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
 - 3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。
 - 4 USBケーブルをMIDI機器から抜いて、接続し直します。
 - 5 113、114ページの手順に従って、ドライバーをインストールし直します。

USB経由でコンピューターよりMIDI機器を操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

- ・ ドライバーはインストールしましたか(112ページ)？
- ・ USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MIDI機器取扱説明書)？
- ・ 音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか？
- ・ ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか？
- ・ ドライバーは最新のをインストールしましたか？
ヤマハホームページ(http://www.yamaha.co.jp/download/usb_midi/)から最新のドライバーをダウンロードできます。

演奏がもたつく

- ・ お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか？
- ・ 他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか？

正常にサスペンド、レジュームができない

- ・ MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか？
USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、MIDI機器は正常に動作します。)

ドライバーの削除がしたい

【Windows 2000/XP/Vistaの場合】

- 1 管理者権限のあるアカウントでWindowsにログオンします。
アプリケーションソフトウェアや、使用していないウィンドウもすべて閉じてください。
- 2 CD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入します。
- 3 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックします。
- 4 CD-ROMドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから「開く」を選びます。

5 「USBdrvVista_」または「USBdrv2k_」フォルダーから、「Uninstall」フォルダーを開き、「uninstall.exe」をダブルクリックします。画面の指示に従って削除を実行してください。

NOTE

- ・64ビットOSをお使いの場合は、「USBdrvVista_」フォルダーから「uninstall_x64.exe」をダブルクリックします。
- ・「ユーザーアカウント制御」の警告が表示される場合がありますが、「続行」をクリックします。

6 削除を完了するために再起動を促す画面が表示されますので、画面の指示に従ってコンピューターを再起動します。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、＜ソフトウェア使用許諾契約＞を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

本ソフトウェアのディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、インストール、コピー、その他のご使用はおやめください。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はお客様に対し、ソフトウェアプログラムおよびデータファイル(以下「本ソフトウェア」といいます。)を使用する権利を許諾します。本契約条項は、今後お客様に一定の条件付きで配布され得る本ソフトウェアのバージョンアッププログラム、データファイルにも適用されるものとします。本ソフトウェアの権利およびその著作権は、弊社または弊社のライセンサーが有します。本ソフトウェアの使用によって作成されたデータの権利はお客様が取得しますが、本ソフトウェアは、関連する著作権法規のもとで保護されています。

- ・お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用することができます。
- ・バックアップが許されているものは、バックアップをとる目的のみ、機械で読み取れる形式での本ソフトウェアのコピーを作成することができます。ただし、そのバックアップコピーには本ソフトウェアに表示されている弊社の著作権の表示や他の権利帰属についての説明文もコピーしてください。
- ・お客様は、本ソフトウェアを使用する権利を第三者に譲渡することができますが、それは、お客様が本ソフトウェアのコピーを保持せず、かつ譲受人が本契約条項に同意する場合に限られます。

2. 使用制限

- (1) 本ソフトウェアの使用にあたっては、次のことを遵守してください。
 - ・本ソフトウェアには著作権があり、その保護のため、お客様が本ソフトウェアを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他のいかなる方法によっても、人間が感得できる形にすることは許されません。
 - ・本ソフトウェアの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、頒布または本ソフトウェアの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。
 - ・本ソフトウェアをネットワークを通して別のコンピューターに伝送したり、ネットワークで他のコンピューターと共有することは許されません。
 - ・本ソフトウェアを使用して、違法なデータや公序良俗に反するデータを配信することは許されません。
 - ・弊社の許可無く本ソフトウェアの使用を前提としたサービスを立ち上げることは許されません。
- (2) 楽曲用MIDIデータ等、本ソフトウェアにより使用または入手できる著作権曲については次のことを遵守してください。
 - ・本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく営業目的で使用することは許されません。

・本ソフトウェアの使用によって得られたデータを著作権者の許可なく複製、転送または配信したり、または不特定多数にむけて再生および演奏することは許されません。

・本ソフトウェアの使用によって入手できるデータの暗号を著作権者の許可無く解除したり、電子透かしを改変したりすることは許されません。

3. 終了

本契約はお客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日に発効します。本契約は、お客様が著作権法または本契約条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに本ソフトウェアとそれに関するドキュメンテーション、およびそれらのコピーをすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

本ソフトウェアがディスク等の媒体で販売された場合や、ディスク等の媒体で製品に同梱された場合には、弊社は、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から14日間に限り(お受け取りの日は、受領書の写しで証明される日とします)、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。弊社はそれ以上の保証はいたしません。

5. 本ソフトウェアに関する保証

本ソフトウェアのご使用についての一切のリスクはお客様のご負担となります。

本ソフトウェアの商品性、特定の目的への適合性、第三者の権利を侵害しないことの保証は明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。特にお客様の目的に適合することや、ソフトウェアの操作が中断されないことやソフトウェアの欠陥や瑕疵が修正されることの保証はいたしません。

6. 責任の制限

弊社の義務は、お客様に本契約条項の条件で本ソフトウェアの使用を許諾することがすべてです。

弊社は、本ソフトウェアの使用、誤用またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生の可能性について予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。すべての損害、損失、契約や違法行為等に対する訴訟申立てについて、いかなる場合も、お客様に対する弊社の責任は、お客様が本ソフトウェアの購入のために支払った金額を越えることはありません。

7. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本契約条項にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

- ・弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。
- ・弊社は、明示であると黙示であるとを問わず、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証をいたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様の負担となります。
- ・弊社は、第三者ソフトウェアの使用、誤用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくはは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

8. 一般事項

本契約条項は、弊社の権限ある者の署名のある書面によらない限り、改訂することはできません。

本契約条項は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。本契約に関し紛争が生じた場合には東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。



困ったときは

現象	原因と解決方法
[電源切/入](STANDBY/ON)スイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がある。	故障ではありません。本体に電流が流れるためです。
この楽器の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)とき、本体スピーカーやヘッドフォンから雑音が出る。	この楽器の近くでは携帯電話の電源を切ってください。この楽器の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を弾くと、機構音がカタカタ鳴る。	この楽器の鍵盤機構は、ピアノの鍵盤機構をシミュレートして設計されています。ピアノの場合でも機構音は実際に出ているものです。異常ではありません。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。 ソングやスタイルを再生しても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されていませんか？ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
	MIDIのローカルがオフ(OFF)に設定されていませんか？ローカルの設定をオン(ON)にしてください。(106ページ)
	ファイルコントロール画面に入っていないませんか？ファイルコントロール画面が表示されているあいだは、鍵盤などの音は出ません。[画面戻る](EXIT)ボタンを押して、MAIN画面を表示させてください。
右手の鍵盤を弾いても、音が鳴らない。	コード辞書(87ページ)を使用していませんか？右手の鍵盤域はコードのルート音とコードタイプの指定用となり、弾いても音が鳴りません。
[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押しても、スタイル、ソングがスタートしない。	外部クロックの設定がオン(ON)に設定されていませんか？106ページの「外部クロック オン/オフ(ON/OFF)」の項を参照して、外部クロックをオフ(OFF)に設定してください。
スタイルが正しく演奏されない。	スタイル音量の設定が下がっていませんか？スタイル音量の設定を確認してください。(93ページ)
	コード押鍵に対し、スプリットポイントの設定が不適切ではありませんか？「スプリットポイントの設定」(82ページ)の項を参照して、スプリットポイントを適切な位置に設定してください。 ACMP表示は出ていますか？表示がでていない場合は、もう一度[スタイルオン/オフ](ACMP ON/OFF)ボタンを押してACMPを表示させてください。
スタイル番号131、143～160を選んでいるとき、[スタート/ストップ](START/STOP)ボタンを押してもリズムが鳴らない。	故障ではありません。スタイル番号131、143～160は、リズムパートがないので、リズムは鳴りません。スタイルオン時に自動伴奏鍵盤でコードを押さえると、リズム以外のパートを含んだスタイルを鳴らすことができます。
同時に押さえた鍵盤の音で、鳴らない音がある。 または、鍵盤演奏すると、スタイルやソングの演奏音が途中で途切れる。	この楽器の最大同時発音数(64音)を越えています。 デュアルボイスやスプリットボイス、スタイルやソングなどを合わせて最大64音の範囲で鳴らすことができます。64音以上の発音情報があった場合、発音中のいずれかの音が消えてしまいます。
フットスイッチ(サステイン)のオン/オフが逆になった。 (フットスイッチを踏むと音がカットされ、フットスイッチから足を離すとサステインが効く)	フットスイッチを踏みながら電源を入れたためです。電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう1度電源を入れ直してください。
押さえる鍵盤によって、音質や音量が異なる。	故障ではありません。この楽器で採用しているAWM音源方式では、リアルな楽器表現を可能にするために、鍵盤をいくつかにかけて楽器音をサンプリングする「マルチサンプリング」という方式をとっています。これらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。
・デモ画面が英語で表示される。 ・メッセージ表示がすべて英語になった。 ・歌詞表示が文字化けする。 ・ファイル名が文字化けする。	機能設定(FUNCTION画面)の言語(Language)の設定がEnglishになっていませんか？日本語で表示させたい場合は設定をJapaneseに設定します。(18ページ) Languageの初期設定はEnglishです。
[ソング](SONG)ボタン、[イージーソングアレンジャー](EASY SONG ARRANGER)ボタン、[スタイル](STYLE)ボタン、[ボイス](VOICE)ボタンを押しても、それぞれの項目を選べる画面にならない。	ほかの画面が表示されていませんか？ [画面戻る](EXIT)ボタンを押してMAIN画面に戻ると、これらの項目が選べます。

現 象	原因と解決方法
鍵盤を押したとおりの音で鳴らない。	パフォーマンスアシスタント機能がオンになっていませんか？ [パフォーマンスアシスタント オン/オフ](P.A.T. ON/OFF) ボタンを押してOFFにしてください。
[スタイル オン/オフ](ACMP ON/OFF) ボタンを押してもACMPが表示されない。	[スタイル](STYLE) ボタンは点灯していますか？スタイルに関する機能を使うときは、まず [スタイル](STYLE) ボタンを押してください
ハーモニーが鳴らない	ハーモニー (01～26)はタイプ別に鳴らし方が異なります。01～10, 13は、スタイルオン時、自動伴奏鍵域でコードを押さえてスタイルを鳴らし、右側の鍵盤を弾くとハーモニー音が加わります。15～26はスタイル オン/オフには関係ありませんが、23～26は2音同時に押さえる必要があります。
画面右上に「OverCurrent」と表示される。また、USB 機器が動作しない。	USB 機器に過電流が流れたため、USB機器との通信を停止しました。USB 機器をUSB TO DEVICE 端子から抜き、本体の電源を入れなおしてください。



メッセージ一覧

表示	メッセージ内容
[nnn] "ファイル名"	転送中ファイルのファイル名です。nnnは受信ブロックです。
All Memory Clearing...	フラッシュメモリー内の全データ消去中に表示されます。データの転送中は絶対に電源は切らないでください。
Backup Clearing...	本体内のフラッシュメモリーにバックアップしたデータをクリア中に表示されます。
Com モード	楽器と接続したコンピューター上で、ミュージックソフト ダウンローダーを起動させたときに表示されます。楽器がソングなどを再生しているときは表示されません。
End	イニシャルセンドの送信が終了したときに表示されます。
Error!	書き込みがエラーになったとき表示されます。
Flash Clearing...	本体内のフラッシュメモリーに転送したソング、スタイルデータをクリア中に表示されます。
MIDI受信バッファがオーバーフローしました。	MIDI受信バッファがオーバーしたとき表示されます
OverCurrent	USB機器に過電流が流れたため、USB 機器との通信を停止しました。USB機器をUSB TO DEVICE端子から抜き、本体の電源を入れなおしてください。
Send OK?	データ送信の実行を確認するときに表示されます。
Sending...	データ送信中に表示されます。
アクセスエラー	メディアやフラッシュメモリーにアクセスできなかったときに表示されます。
今は、この機能は使えません。	他の操作を実行中のため、今はこの機能は使えません。
上書きしますか？	上書き実行を確認するときに表示されます。
書き込み中です。(電源を切らないでください。データが壊れる恐れがあります。)	メモリーにデータを書き込み中です。この状態で電源を切るとデータが壊れますので、絶対に電源を切らないでください。
完了しました。	保存、転送などの実行が完了したときに表示されます。
キャンセル	イニシャルセンドの送信をキャンセルしたときに表示されます。
曲データが大きすぎるので、楽譜が表示できません。	ソングデータが大きすぎるため、譜面表示ができません。
クリアしています	ユーザーソングのソングクリア、トラッククリア実行中に表示されます。
しばらくお待ちください。	録音終了時や、譜面表示/歌詞表示までしばらく時間がかかるとき表示されます。
処理を中断します。	スタイル録音の待機中、正しくないスタイルが選択されたため、録音待機状態から抜けたときに表示されます。
スタイルデータが大きすぎるため、読み込めません。	スタイルデータが大きすぎるため、読み込めません。
セーブデータがありません。	保存するデータがないときに表示されます。
セーブ(保存)しますか？	保存の実行を確認するときに表示されます。
セーブ(保存)中	保存中に表示されます。この状態で電源を切るとデータが壊れますので、絶対に電源を切らないでください。
ディレクトリを削除します。	ミュージックソフト ダウンローダーでフォルダーを削除中に表示されます。
ディレクトリを作成します。	ミュージックソフト ダウンローダーでフォルダーを作成中に表示されます。
データ エラー	ソングデータ中に正しくないデータがあると表示されます。

表示	メッセージ内容
デリート(削除)しますか?	削除の実行を確認するとき表示されます。
デリート(削除)中	削除中に表示されます。
トラックAのクリアに失敗しました。	トラッククリアのエラー時に表示されます。
ファイルがありません。	ファイルがありません。
ファイルが大きすぎてロードできません。	ファイルが大きすぎるため、読み込めません。
ファイルが多すぎます。	ファイル数の制限を超えたため、保存できないときに表示されます。
ファイル情報エリアが足りません	ファイル情報エリアが足りないため、保存できません。
ファイル名を変更します。	ミュージックソフト ダウンローダーでソングのファイル名を書き換え中に表示されます。
ファイルを移動します。	ミュージックソフト ダウンローダーでファイル移動を実行中に表示されます。
ファイルを削除します。	ミュージックソフト ダウンローダーでファイルを削除中に表示されます。
フォーマットされていません。	フォーマットされていないメディアが接続されています。
フォーマットしますか?	メディアのフォーマット実行を確認するときに表示されます。
フォーマット中	フォーマット実行中に表示されます。
プロテクト(保護)されているメディアです。	このメディアはプロテクトがかかっているため、書き込みできません。
メディアが挿入されていません。	USB TO DEVICE端子にメディアが接続されていないのに、メディアにアクセスしようとしたとき表示されます。
メディア制限です	エントリー数の制限を超えたため、保存できません。
メディアセッティング中の為、今はこの機能が使えません。	メディアがマウント中のため、マウントが終わるまでファイルコントロール機能は使えません。
メディア容量が一杯です。	メディア容量がいっぱいになったため、データを保存できません。
メモリーフルです。	ソング録音中に、内蔵メモリーの容量がいっぱいになったときに表示されます。
ユーザーソングをセーブしています。(電源を切らないでください。データが壊れる恐れがあります。)	メモリーにデータを書き込み中です。この状態で電源を切るとデータが壊れますので、絶対に電源を切らないでください。
よろしいですか?	ソングクリアやトラッククリアの実行を確認するときに表示されます。
	各操作の実行を再確認するとき表示されます。
ロード(読み込み)しますか?	読み込みの実行を確認するときに表示されます。
ロード(読み込み)中	読み込み中に表示されます。

NOTE

・ここでは、説明が必要なメッセージだけを掲載しています。



楽譜

この楽譜はイーजीソングアレンジャーを使ったときの、スタイルの切り替え方の一例です。

Song No. 9 ♩ = 123

(Function Demo for Easy Song Arranger)

ハレルヤ・コーラス

Intro A D G/D D

Melody

Style Progression <Clubdance> Main Fill 1st time Main 2nd time <Hard Rock> Main

D G/D D G/D D G/D D A7 D A D/A A

Melody

Style Progression Fill Main Fill Main

A D/A A D/A A D/A A D A/C# E7/B A **B** A A/G

Melody

Style Progression Fill Main <Disco Philly> Fill Main <Rumba Flamenco>

D/F# Bm7 E7sus4 E7 A D/A A D/A A D/A A D/A A

Melody

Style Progression Fill Fill <Bluegrass> Main Fill

17/35

D D/C G/B Em7 A7sus4 A7 D G/D D G/D D

Main

<Tango> Main Fill <Fun 4/4> Main

21/39

G/D D G/D D **C** D *8va* G/D D D G/D D

Fill

<Dream Dance> Main

42

G/D D G/D D A7 D D

(8va)

10

Fill Ending

この楽譜、および、画面に表示される音符はパフォーマンスアシスタント機能で音程が補正されることを前提とした特別なものです。パフォーマンスアシスタント機能を使わない場合、この楽譜の通りに弾いても正しく演奏できません。

Song No. 10

♩ = 61

(Function Demo for performance assistant technology)

アベ・マリア

Melody

Play These Notes

P.A.T. Chord Symbols

These Notes Will Sound

Turn **(P.A.T.)** ON
Type = CHORD

5

Your Turn.

Repeatedly Play the Same Key.

C + Dm7/C + G7/B + C

9

Am/C + D7/C + G/B + CM7/B

13

Am7 + D7 + G

この楽譜、および、画面に表示される音符はパフォーマンスアシスタント機能で音程が補正されることを前提とした特別なものです。パフォーマンスアシスタント機能を使わない場合、この楽譜の通りに弾いても正しく演奏できません。

Song No. 11 ♩ = 108

(Function Demo for performance assistant technology)

夜想曲 第2番

Turn **P.A.T.** ON
Type = CHORD/FREE
2nd time only

1/5

Play These Notes

P.A.T. Chord Symbols

These Left-hand Notes Will Sound

9/25

You Can Even Play the Same Keys!

F B^bm/F F Am/E D7

14/30

D7 ^b5 Am7/G Gm C7 A7/C#

19/35

Dm + Bdim7 + C7sus4 + C7

23

1. | 2.

F + F + F + F + F

42

rit.

F + F + F + F + F



楽器リスト

■ 最大同時発音数について

この楽器の最大同時発音数は64音ですが、スプリット音色やスタイル、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が64音ということです。したがって、スタイルやソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。64音以上になると、後着優先*で発音します。

*後着優先：最大同時発音数を超えて演奏情報を受けた場合、発音中の音を切って音を止め、後から送られてくる演奏情報を優先的に発音するしくみ。

NOTE

- ・MIDIを使ってこの楽器の楽器音を鳴らす場合は、MIDIプログラムチェンジNo.を使用してください。
- ・プログラムチェンジを0~127で設定する場合は、リストのMIDIプログラムチェンジNo.から1を引いた数で指定します。たとえば、No.2のプログラムを指定する場合は、1の値になります。
- ・フットスイッチを踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

[パネル楽器リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラムチェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
001	000	113	001	ライブ! グランド ピアノ
002	000	114	001	ライブ! ウォーム グランドピアノ
003	000	112	001	グランドピアノ
004	000	112	002	ブライツピアノ
005	000	112	007	ハーブシコード
006	000	112	004	ホンキートンク ピアノ
007	000	112	003	ミディ グランドピアノ
008	000	113	003	CP 80
エレピ				
009	000	114	005	クール! ギャラクシー エレクトリックピアノ
010	000	118	005	クール! スーツケースエレクトリックピアノ
011	000	119	005	クール! エレクトリックピアノ
012	000	120	005	フェーズ エレクトリックピアノ
013	000	113	006	ハイパー タインズ
014	000	112	005	ファンキーエレクトリック ピアノ
015	000	112	006	DX モダン エレクトリックピアノ
016	000	114	006	ビーナス エレクトリックピアノ
017	000	113	005	トレモロ エレクトリックピアノ
018	000	114	008	エレクトリック クラビコード
019	000	112	008	クラビ
020	000	113	008	ワウクラビ
オルガン				
021	000	118	019	クール! オルガン
022	000	117	019	クール! ローターオルガン
023	000	112	017	ジャズ オルガン 1
024	000	113	017	ジャズ オルガン 2
025	000	112	019	ロック オルガン
026	000	114	019	パープル オルガン
027	000	112	018	クリック オルガン
028	000	116	017	ブライツ オルガン
029	000	127	019	シアター オルガン
030	000	121	020	16'+2' オルガン
031	000	120	020	16'+4' オルガン
032	000	113	020	チャペル オルガン
033	000	112	020	チャーチ オルガン
034	000	112	021	リード オルガン
アコーディオン				
035	000	112	022	ミュゼットアコーディオン
036	000	113	022	トラディショナルアコーディオン
037	000	113	024	バンドネオン
038	000	113	023	モダンハーブ
039	000	112	023	ハーモニカ
ギター				
040	000	112	025	クラシックギター
041	000	112	026	フォークギター
042	000	112	027	ジャズギター
043	000	117	028	60年代風 クリーンギター
044	000	113	026	12弦 ギター
045	000	112	028	クリーンギター
046	000	113	027	オクターブギター
047	000	112	029	ミュートギター
048	000	112	030	オーバードライブギター
049	000	112	031	ディストーションギター
ベース				
050	000	112	034	フィンガーベース
051	000	112	033	アコースティックベース
052	000	112	035	ピックベース
053	000	112	036	フレットレスベース
054	000	112	037	スラップベース

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラムチェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
055	000	112	039	シンセ ベース
056	000	113	039	ハイQ ベース
057	000	113	040	ダンス ベース
ストリングス				
058	000	116	050	ライブ! オーケストラ
059	000	112	049	ストリングス
060	000	112	050	チェンバー ストリングス
061	000	113	050	スロー ストリングス
062	000	112	045	トレモロ ストリングス
063	000	112	051	シンセ ストリングス
064	000	112	046	ピチカート ストリングス
065	000	112	041	バイオリン
066	000	112	043	チェロ
067	000	112	044	コントラバス
068	000	112	047	ハーブ
069	000	112	106	バンジョー
070	000	112	056	オーケストラ ヒット
コーラス				
071	000	112	053	コーラス
072	000	113	053	ボーカル アンサンブル
073	000	112	055	エア コーラス
074	000	112	054	ボックス フマーナ
サクソ				
075	000	117	067	スイート! テナー サックス
076	000	113	065	スイート! ソプラノ サックス
077	000	114	072	スイート! クラリネット
078	000	118	067	グロール サックス
079	000	112	067	テナー サックス
080	000	112	066	アルト サックス
081	000	112	065	ソプラノ サックス
082	000	112	068	バリトン サックス
083	000	114	067	ブレッシー テナー サックス
084	000	112	072	クラリネット
085	000	112	069	オーボエ
086	000	112	070	イングリッシュホルン
087	000	112	071	バスーン
トランペット				
088	000	115	057	スイート! トランペット
089	000	117	058	スイート! トロンボーン
090	000	114	060	スイート! ミュート トランペット
091	000	112	057	トランペット
092	000	112	058	トロンボーン
093	000	113	058	トロンボーン セクション
094	000	112	060	ミュート トランペット
095	000	112	061	フレンチホルン
096	000	112	059	チューバ
ブラス				
097	000	112	062	ブラス セクション
098	000	113	062	ビッグバンド ブラス
099	000	113	063	80年代風 ブラス
100	000	119	062	メロー ホーン
101	000	114	063	テクノ ブラス
102	000	112	063	シンセ ブラス
フルート				
103	000	114	074	スイート! フルード
104	000	113	076	スイート! パンフルード
105	000	112	074	フルード
106	000	112	073	ピッコロ
107	000	112	076	パンフルード

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
108	000	112	075	リコーダー
109	000	112	080	オカリナ
シンセリード				
110	000	112	081	矩形波 リード
111	000	112	082	ノコギリ波 リード
112	000	115	082	アナログン
113	000	119	082	ファーフ
114	000	112	099	スター ダスト
115	000	112	086	ボイス リード
116	000	112	101	ブライトネス
シンセパッド				
117	000	118	089	スイートヘブン
118	000	112	092	ゼノンパッド
119	000	112	095	イクイノックス
120	000	112	089	ファンタジア
121	000	113	090	ダークムーン
122	000	113	101	ベルパッド
パーカッション				
123	000	112	012	ビブラフォン
124	000	112	013	マリンバ
125	000	112	014	シロフォン
126	000	112	115	スチールドラム
127	000	112	009	チェレスタ
128	000	112	011	オルゴール
129	000	112	015	チューブラーベル
130	000	112	048	ティンパニ
ドラムキット				
131	127	000	001	スタンダードキット1
132	127	000	002	スタンダードキット2
133	127	000	009	ルームキット
134	127	000	017	ロックキット
135	127	000	025	エレクトロニックキット
136	127	000	026	アナログキット
137	127	000	113	ダンスキット
138	127	000	033	ジャズキット
139	127	000	041	ブラッシュキット
140	127	000	049	シンフォニ-キット
141	126	000	001	SFXキット1
142	126	000	002	SFXキット2

[XGlite 楽器 / XGlite オプション楽器 * リスト]

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
ピアノ				
143	000	000	001	グランドピアノ
144	000	001	001	グランドピアノ KSP
145	000	040	001	ピアノ スtringス
146	000	041	001	ドリーム
147	000	000	002	ブライトピアノ
148	000	001	002	ブライトピアノ KSP
149	000	000	003	エレクトリックグランドピアノ
150	000	001	003	エレクトリックグランドピアノ KSP
151	000	032	003	デチューンド CP80
152	000	000	004	ホンキートンクピアノ
153	000	001	004	ホンキートンクピアノ KSP
154	000	000	005	エレクトリックピアノ1
155	000	001	005	エレクトリックピアノ1 KSP
156	000	032	005	コーラス エレクトリックピアノ1
157	000	000	006	エレクトリックピアノ2
158	000	001	006	エレクトリックピアノ2 KSP
*159	000	032	006	コーラス エレクトリックピアノ2
160	000	041	006	DX+アナログ エレクトリックピアノ
161	000	000	007	ハーブシコード
162	000	001	007	ハーブシコード KSP
163	000	35	007	ハーブシコード2
164	000	000	008	クラビ
165	000	001	008	クラビ KSP

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
クロマティック				
166	000	000	009	チェレスタ
167	000	000	010	グロッケンシュピール
168	000	000	011	オルゴール1
169	000	064	011	オルゴール2
170	000	000	012	ビブラフォン
171	000	001	012	ビブラフォン KSP
172	000	000	013	マリンバ
173	000	001	013	マリンバ KSP
174	000	064	013	サイン マリンバ
175	000	097	013	バリンバ
176	000	098	013	ログドラム
177	000	000	014	シロフォン
178	000	000	015	チューブラーベル
179	000	096	015	チャーチベル
180	000	097	015	カリヨン
181	000	000	016	ダルシマー
182	000	035	016	ダルシマー2
183	000	096	016	ツィンバロン
184	000	097	016	サントウール
オルガン				
185	000	000	017	ドローバーオルガン
186	000	032	017	デチューンド ドローバーオルガン
187	000	033	017	60's ドローバーオルガン1
188	000	034	017	60's ドローバーオルガン2
189	000	035	017	70's ドローバーオルガン1
190	000	037	017	60's ドローバーオルガン3
191	000	040	017	16+2'2/3
192	000	064	017	オルガンベース
193	000	065	017	70's ドローバーオルガン2
194	000	066	017	チージーオルガン
195	000	067	017	ドローバーオルガン2
196	000	000	018	パーカッシブオルガン
197	000	024	018	70's パーカッシブオルガン
198	000	032	018	デチューンド パーカッシブオルガン
199	000	033	018	ライトオルガン
200	000	037	018	パーカッシブオルガン2
201	000	000	019	ロックオルガン
202	000	064	019	ロータリーオルガン
203	000	065	019	スロー ロータリー
204	000	066	019	ファスト ロータリー
205	000	000	020	チャーチオルガン
206	000	032	020	チャーチオルガン3
207	000	035	020	チャーチオルガン2
208	000	040	020	ノートルダム
209	000	064	020	オルガンフルート
210	000	065	020	トレモロ オルガンフルート
211	000	000	021	リードオルガン
212	000	040	021	パフオルガン
213	000	000	022	アコーディオン
214	000	000	023	ハーモニカ
215	000	032	023	ハーモニカ2
216	000	000	024	タンゴアコーディオン
217	000	064	024	タンゴアコーディオン2
ギター				
218	000	000	025	ナイロン弦ギター
219	000	043	025	ペロシティー ギターハーモニクス
220	000	96	025	ウクレレ
221	000	000	026	スチール弦ギター
222	000	035	026	12弦ギター
223	000	040	026	ナイロン&スチール弦ギター
224	000	041	026	スチール弦ギター&ボディースOUND
225	000	096	026	マンドリン
226	000	000	027	ジャズギター
227	000	032	027	ジャズアンプ
228	000	000	028	クリーンギター
229	000	032	028	コーラスギター
230	000	000	029	ミュートギター
231	000	040	029	ファンクギター
232	000	041	029	ミュート スチール弦ギター
233	000	045	029	ジャズマン
234	000	000	030	オーバードライブギター

楽器リスト

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
235	000	043	030	ギター ピンチ
236	000	000	031	ディストーションギター
237	000	040	031	フィードバックギター
238	000	041	031	フィードバックギター 2
239	000	000	032	ギターハーモニクス
240	000	065	032	ギターフィードバック
241	000	066	032	ギターハーモニクス2
ベース				
242	000	000	033	アコースティックベース
243	000	040	033	ジャズリズム
244	000	045	033	ペロシティークロスフェードアップライトベース
245	000	000	034	フィンガーベース
246	000	018	034	フィンガーダーク
247	000	040	034	ベース&ディストーションギター
248	000	043	034	フィンガー スラップベース
249	000	045	034	フィンガーベース2
250	000	065	034	モジュレートッドベース
251	000	000	035	ピックベース
252	000	028	035	ミュートピックベース
253	000	000	036	フレットレスベース
254	000	032	036	フレットレスベース2
255	000	033	036	フレットレスベース3
256	000	034	036	フレットレスベース4
257	000	000	037	スラップベース1
258	000	032	037	バンチサムベース
259	000	000	038	スラップベース2
260	000	043	038	ペロシティー スイッチ スラップ
261	000	000	039	シンセベース1
262	000	040	039	テクノ シンセベース
263	000	000	040	シンセベース2
264	000	006	040	メロー シンセベース
265	000	012	040	シーケンスド ベース
266	000	018	040	クリック シンセベース
267	000	019	040	シンセベース2 ダーク
*268	000	040	040	モジュラー シンセベース
269	000	041	040	DXベース
ストリングス				
270	000	000	041	バイオリン
271	000	008	041	スローバイオリン
272	000	000	042	ビオラ
273	000	000	043	チェロ
274	000	000	044	コントラバス
275	000	000	045	トレモロストリングス
276	000	008	045	スロー トレモロストリングス
277	000	040	045	サスペンス ストリングス
278	000	000	046	ピチカートストリングス
279	000	000	047	オーケストラ ハープ
280	000	040	047	ヤンチン
281	000	000	048	ティンパニ
アンサンブル				
282	000	000	049	ストリングス1
283	000	003	049	ステレオストリングス
284	000	008	049	スローストリングス
285	000	035	049	60'sストリングス
286	000	040	049	オーケストラ
287	000	041	049	オーケストラ2
288	000	042	049	トレモロオーケストラ
289	000	045	049	ペロシティー ストリングス
290	000	000	050	ストリングス2
291	000	003	050	ステレオスローストリングス
292	000	008	050	レガートストリングス
293	000	040	050	ウォームストリングス
294	000	041	050	キングダム
295	000	000	051	シンセストリングス
296	000	000	052	シンセストリングス2
297	000	000	053	クワイアアー
298	000	003	053	ステレオクワイア
299	000	032	053	メロークワイア
300	000	040	053	クワイアストリングス
301	000	000	054	ボイス ウー
302	000	000	055	シンセ ボイス
303	000	040	055	シンセ ボイス2

楽器 No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
304	000	041	055	コーラル
305	000	064	055	アナログ ボイス
306	000	000	056	オーケストラ ヒット
307	000	035	056	オーケストラ ヒット2
308	000	064	056	インパクト
ブラス				
309	000	000	057	トランペット
310	000	032	057	ウォーム トランペット
311	000	000	058	トロンボーン
312	000	018	058	トロンボーン2
313	000	000	059	チューバ
314	000	000	060	ミュートトランペット
315	000	000	061	フレンチホルン
316	000	006	061	フレンチホルン ソロ
317	000	032	061	フレンチホルン2
318	000	037	061	ホルンオーケストラ
319	000	000	062	ブラスセクション
320	000	035	062	トランペット&トロンボーンセクション
321	000	000	063	シンセブラス1
322	000	020	063	レゾナント シンセブラス
323	000	000	064	シンセブラス2
324	000	018	064	ソフトブラス
325	000	041	064	クワイアブラス
リード				
326	000	000	065	ソプラノサクソ
327	000	000	066	アルトサクソ
328	000	040	066	サクソセクション
329	000	000	067	テナーサクソ
330	000	040	067	ブレッシーテナーサクソ
331	000	000	068	バリトンサクソ
332	000	000	069	オーボエ
333	000	000	070	イングリッシュホルン
334	000	000	071	バスーン
335	000	000	072	クラリネット
パイプ				
336	000	000	073	ピッコロ
337	000	000	074	フルート
338	000	000	075	リコーダー
339	000	000	076	バンフルート
340	000	000	077	ボトル
341	000	000	078	尺八
342	000	000	079	口笛
343	000	000	080	オカリナ
シンセリード				
344	000	000	081	スクエアリード
345	000	006	081	スクエアリード2
346	000	008	081	LMスクエア
347	000	018	081	ハロー
348	000	019	081	シュラウド
349	000	064	081	メロー
350	000	065	081	ソロサイン
351	000	066	081	サインリード
352	000	000	082	ソートゥースリード
353	000	006	082	ソートゥースリード2
354	000	008	082	シック ソートゥース
355	000	018	082	ダイナミック ソートゥース
356	000	019	082	デジタル ソートゥース
357	000	020	082	ビッグリード
358	000	096	082	シーケンスド アナログ
359	000	000	083	カリオバリード
360	000	065	083	ビュアリード
361	000	000	084	チフリード
362	000	000	085	チャランリード
363	000	064	085	ディストーションリード
364	000	000	086	ボイスリード
365	000	000	087	5度 リード
366	000	035	087	ビッグファイブ
367	000	000	088	ベース&リード
368	000	016	088	ビッグ&ロー
369	000	064	088	ファット&パーキー
370	000	065	088	ソフト ホワール

楽器No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
シンセパッド				
371	000	000	089	ニューエイジパッド
372	000	064	089	ファンタジー
373	000	000	090	ウォームパッド
374	000	000	091	ポリシンセパッド
375	000	000	092	クワイアパッド
376	000	066	092	アイトピア
377	000	000	093	ボウドラム
378	000	000	094	メタリックパッド
379	000	000	095	ハローパッド
380	000	000	096	スweepパッド
シンセエフェクト				
381	000	000	097	レイン
382	000	065	097	アフリカンウィンド
383	000	066	097	カリブ
384	000	000	098	サウンドトラック
385	000	027	098	プロローグ
386	000	000	099	クリスタル
387	000	012	099	シンセドラム コンブ
388	000	014	099	ポップコーン
389	000	018	099	タイニーベル
390	000	035	099	ラウンドグロッケンシュピール
391	000	040	099	グロッケンシュピールチャイム
392	000	041	099	クリアベル
393	000	042	099	コーラスベル
394	000	065	099	ソフトクリスタル
395	000	070	099	エアベル
396	000	071	099	ベルハーブ
397	000	072	099	ガムリンバ
398	000	000	100	アトモスフィア
399	000	018	100	ウォームアトモスフィア
400	000	019	100	ハローリリース
401	000	040	100	ナイロンエレクトリックピアノ
402	000	064	100	ナイロンハーブ
403	000	065	100	ハーブボックス
404	000	066	100	アトモスフィアパッド
405	000	000	101	ブライツネス
406	000	000	102	ゴブリン
407	000	064	102	ゴブリンシンセ
408	000	065	102	クリーパー
409	000	067	102	リチュアル
410	000	068	102	トゥーヘブン
411	000	070	102	ナイト
412	000	071	102	グリズン
413	000	096	102	ベルクワイア
414	000	000	103	エコー
415	000	000	104	サイエンスフィクション
ワールド				
416	000	000	105	シタール
417	000	032	105	デチューンドシタール
418	000	035	105	シタール2
419	000	097	105	タンブーラ
420	000	000	106	バンジョー
421	000	028	106	ミュートバンジョー
422	000	096	106	ラバープ
423	000	097	106	ゴビチャント
424	000	098	106	ウッド
425	000	000	107	三味線
426	000	000	108	琴
427	000	096	108	大正琴
428	000	097	108	カヌーン
429	000	000	109	カリンバ
430	000	000	110	バグパイプ
431	000	000	111	フィドル
432	000	000	112	シャナイ
パーカッション				
433	000	000	113	ティンクルベル
434	000	096	113	ボナン
435	000	097	113	アルマイル
436	000	098	113	ガムラン
437	000	099	113	ステレオガムラン
438	000	100	113	ラマシンバル

楽器No.	バンクセレクト		MIDI プログラム チェンジ No. (1-128)	楽器名
	MSB (0-127)	LSB (0-127)		
439	000	000	114	アゴゴ
440	000	000	115	スチールドラム
441	000	097	115	グラスパーカッション
442	000	098	115	タイベル
443	000	000	116	ウッドブロック
444	000	096	116	カスタネット
445	000	000	117	和太鼓
446	000	096	117	グランカッサ
447	000	000	118	メロディックタム
448	000	064	118	メロディックタム2
449	000	065	118	リアルタム
450	000	066	118	ロックタム
451	000	000	119	シンセドラム
452	000	064	119	アナログタム
453	000	065	119	エレクトロニックパーカッション
454	000	000	120	リバースシンバル
サウンドエフェクト				
455	000	000	121	フレットノイズ
456	000	000	122	ブレスノイズ
457	000	000	123	海辺
458	000	000	124	鳥のさえずり
459	000	000	125	電話
460	000	000	126	ヘリコプター
461	000	000	127	拍手
462	000	000	128	銃声
463	064	000	001	カッティングノイズ
464	064	000	002	カッティングノイズ2
465	064	000	004	ストリングスラップ
466	064	000	017	フルートキークリック
467	064	000	033	雨
468	064	000	034	雷
469	064	000	035	風
470	064	000	036	せせらぎ
471	064	000	037	泡
472	064	000	038	フィード
473	064	000	049	犬
474	064	000	050	馬
475	064	000	051	鳥のさえずり2
476	064	000	056	マオウ
477	064	000	065	フォーンコール
478	064	000	066	ドアのきしみ
479	064	000	067	ドアを開める
480	064	000	068	スクラッチカット
481	064	000	069	スクラッチスプリット
482	064	000	070	ウィンドチャイム
483	064	000	071	電話2
484	064	000	081	イグニッション
485	064	000	082	タイヤ
486	064	000	083	レーシングカー
487	064	000	084	衝突
488	064	000	085	サイレン
489	064	000	086	列車
490	064	000	087	ジェット機
491	064	000	088	スターシップ
492	064	000	089	バースト
493	064	000	090	ローラーコースター
494	064	000	091	サブマリン
495	064	000	097	笑い声
496	064	000	098	悲鳴
497	064	000	099	パンチ
498	064	000	100	心音
499	064	000	101	足音
500	064	000	113	マシンガン
501	064	000	114	レーザーガン
502	064	000	115	爆発
503	064	000	116	花火

*楽器No.の前に*が付いているものがXGliteオプション楽器です。



ドラムキットリスト

※ “ ” は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

※ 各パーカッション音の使用発音数は1です。

※ この楽器の鍵盤(Keyboard)のNote No.とNoteは、MIDIのNote No.とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックH (Note No.36/Note C1)」をこの楽器で鳴らす場合は、MIDI Note No.24/Note C0をこの楽器に送信します。

※ 「Alternate assign」欄のオルタネート番号1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

※ 「Key off」の欄に○印が付いている楽器は、鍵盤を離すとすぐに音が止まります(キーオフされます)。

	楽器No.					131	132	133	134	135	136
	MSB(O-127)/LSB(O-127)/PC(1-128)					127/000/001	127/000/002	127/000/009	127/000/017	127/000/025	127/000/026
	Keyboard	MIDI	Key	Alternate		スタンダードキット 1	スタンダードキット 2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット	アナログキット
Note No.	Note	Note No.	Note	df							
C#0	25	C# 0	13	C# -1		スルド ミュート					
D0	26	D 0	14	D -1	3	スルド オープン					
D#0	27	D# 0	15	D# -1		ハイキュー					
E0	28	E 0	16	E -1		ウィップ スラップ					
F0	29	F 0	17	F -1	4	スクラッチ H					
F#0	30	F# 0	18	F# -1	4	スクラッチ L					
G0	31	G 0	19	G -1		フィンガー スナップ					
G#0	32	G# 0	20	G# -1		クリック ノイズ					
A0	33	A 0	21	A -1		メトロノーム クリック					
A#0	34	A# 0	22	A# -1		メトロノーム ベル					
B0	35	B 0	23	B -1		シーク クリック L					
C1	36	C 1	24	C 0		シーク クリック H					
C#1	37	C# 1	25	C# 0		ブラッシュ タップ					
D1	38	D 1	26	D 0	○	ブラッシュ スワール					
D#1	39	D# 1	27	D# 0		ブラッシュ スラップ					
E1	40	E 1	28	E 0	○	ブラッシュ タップ スワール				リバースシンバル	リバースシンバル
F1	41	F 1	29	F 0	○	スネア ロール	スネア ロール 2				
F#1	42	F# 1	30	F# 0		カスターネット				ハイキュー 2	ハイキュー 2
G1	43	G 1	31	G 0		スネア ソフト	スネア ソフト 2			スネア ノイジー	スネア ノイジー 4
G#1	44	G# 1	32	G# 0		スティックス					
A1	45	A 1	33	A 0		キック ソフト			キック タイト 2	キック 3	キック タイト 2
A#1	46	A# 1	34	A# 0		オープン リム ショット	オープン リム ショット H ショート				
B1	47	B 1	35	B 0		キック タイト	キック タイト ショート		キック 2	キック ゲート	キック アナログ ショート
C2	48	C 2	36	C 1		キック	キック ショート		キック ゲート	キック ゲート ヘビー	キック アナログ
C#2	49	C# 2	37	C# 1		サイドスティック					サイドスティック アナログ
D2	50	D 2	38	D 1		スネア	スネア ショート	スネア スナッピー	スネア ロック	スネア ノイジー 2	スネア アナログ
D#2	51	D# 2	39	D# 1		ハンドクラップ					
E2	52	E 2	40	E 1		スネア タイト	スネア タイト H	スネア タイト スナッピー	スネア ロック リム	スネア ノイジー 3	スネア アナログ 2
F2	53	F 2	41	F 1		フロア タム L		タム ルーム 1	タム ロック 1	タム エレクトロニック 1	タム アナログ 1
F#2	54	F# 2	42	F# 1	1	ハイハット クローズ					ハイハット クローズ アナログ
G2	55	G 2	43	G 1		フロア タム H		タム ルーム 2	タム ロック 2	タム エレクトロニック 2	タム アナログ 2
G#2	56	G# 2	44	G# 1	1	ハイハット ペダル					ハイハット クローズ アナログ 2
A2	57	A 2	45	A 1		ロー タム		タム ルーム 3	タム ロック 3	タム エレクトロニック 3	タム アナログ 3
A#2	58	A# 2	46	A# 1	1	ハイハット オープン					ハイハット オープン アナログ
B2	59	B 2	47	B 1		ミッド タム L		タム ルーム 4	タム ロック 4	タム エレクトロニック 4	タム アナログ 4
C3	60	C 3	48	C 2		ミッド タム H		タム ルーム 5	タム ロック 5	タム エレクトロニック 5	タム アナログ 5
C#3	61	C# 3	49	C# 2		クラッシュ シンバル 1					クラッシュ アナログ
D3	62	D 3	50	D 2		ハイ タム		タム ルーム 6	タム ロック 6	タム エレクトロニック 6	タム アナログ 6
D#3	63	D# 3	51	D# 2		ライド シンバル 1					
E3	64	E 3	52	E 2		チャイニーズ シンバル					
F3	65	F 3	53	F 2		ライド シンバル カップ					
F#3	66	F# 3	54	F# 2		タンバリン					
G3	67	G 3	55	G 2		スブラッシュ シンバル					
G#3	68	G# 3	56	G# 2		カウベル					カウベル アナログ
A3	69	A 3	57	A 2		クラッシュ シンバル 2					
A#3	70	A# 3	58	A# 2		ビブラスラップ					
B3	71	B 3	59	B 2		ライド シンバル 2					
C4	72	C 4	60	C 3		ボンゴ H					
C#4	73	C# 4	61	C# 3		ボンゴ L					
D4	74	D 4	62	D 3		コンガ H ミュート					コンガ アナログ H
D#4	75	D# 4	63	D# 3		コンガ H オープン					コンガ アナログ M
E4	76	E 4	64	E 3		コンガ L					コンガ アナログ L
F4	77	F 4	65	F 3		ティンバレス H					
F#4	78	F# 4	66	F# 3		ティンバレス L					
G4	79	G 4	67	G 3		アゴゴ H					
G#4	80	G# 4	68	G# 3		アゴゴ L					
A4	81	A 4	69	A 3		カバサ					
A#4	82	A# 4	70	A# 3		マラカス					マラカス 2
B4	83	B 4	71	B 3	○	サンバ ホイッスル H					
C5	84	C 5	72	C 4	○	サンバ ホイッスル L					
C#5	85	C# 5	73	C# 4		ギロ ショート					
D5	86	D 5	74	D 4	○	ギロ ロング					
D#5	87	D# 5	75	D# 4		クラベス					クラベス 2
E5	88	E 5	76	E 4		ウッドブロック H					
F5	89	F 5	77	F 4		ウッドブロック L					
F#5	90	F# 5	78	F# 4		クイーク ミュート				スクラッチ H2	スクラッチ H2
G5	91	G 5	79	G 4		クイーク オープン				スクラッチ L2	スクラッチ L3
G#5	92	G# 5	80	G# 4		トライアングル ミュート					
A5	93	A 5	81	A 4	2	トライアングル オープン					
A#5	94	A# 5	82	A# 4		シェイカー					
B5	95	B 5	83	B 4		ジングルベル					
C6	96	C 6	84	C 5		ベルツリー					
C#6	97	C# 6	85	C# 5							
D6	98	D 6	86	D 5							
D#6	99	D# 6	87	D# 5							
E6	100	E 6	88	E 5							
F6	101	F 6	89	F 5							
F#6	102	F# 6	90	F# 5							
G6	103	G 6	91	G 5							

ドラムキットリスト

		楽器 No.					131	137	138	139	140	141	142	
		MSB(O-127)/LSB(O-127)/PC(1-128)					127/000/001	127/000/113	127/000/033	127/000/041	127/000/049	126/000/001	126/000/002	
		Keyboard		MIDI		Key	Alternate							
		Note No.	Note	Note No.	Note	Off	assign							
	C#0	25	C# 0	13	C# -1		3	スタンダードキット 1	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット	シンフォニーキット	SFX キット 1	SFX キット 2
D0		26	D 0	14	D -1		3	スルド ミュート						
	D#0	27	D# 0	15	D# -1			スルド オープン						
E0		28	E 0	16	E -1			ハイキュー						
F0		29	F 0	17	F -1		4	ウィップ スラップ						
	F#0	30	F# 0	18	F# -1		4	スクラッチ H						
G0		31	G 0	19	G -1			スクラッチ L						
	G#0	32	G# 0	20	G# -1			フィンガースナップ						
A0		33	A 0	21	A -1			クリックノイズ						
	A#0	34	A# 0	22	A# -1			メトロノーム クリック						
B0		35	B 0	23	B -1			メトロノーム ベル						
C1		36	C 1	24	C 0			シーク クリック L						
	C#1	37	C# 1	25	C# 0			シーク クリック H						
D1		38	D 1	26	D 0	O		ブラッシュ タップ						
	D#1	39	D# 1	27	D# 0			ブラッシュ スワール						
E1		40	E 1	28	E 0	O		ブラッシュ スラップ						
F1		41	F 1	29	F 0	O		ブラッシュ タップ スワール	リバースシンバル					
	F#1	42	F# 1	30	F# 0			スネアロール						
G1		43	G 1	31	G 0			カスターネット	ハイキュー 2					
	G#1	44	G# 1	32	G# 0			スネアソフト	スネア テクノ	スネア ジャズ H	ブラッシュスラップ 2			
A1		45	A 1	33	A 0			スティックス						
	A#1	46	A# 1	34	A# 0			キックソフト	キック テクノ Q			キックソフト 2		
B1		47	B 1	35	B 0			オープン リムショット	リム ゲート					
C2		48	C 2	36	C 1			キック タイム	キック テクノ L			グランカッサ		
	C#2	49	C# 2	37	C# 1			キック	キック テクノ	キック ジャズ	キック スモール	グランカッサミュート	カッティングノイズ	フォーンコール
D2		50	D 2	38	D 1			サイドスティック	サイドスティック アナログ			カッティングノイズ 2	カッティングノイズ 2	ドアのきしみ
	D#2	51	D# 2	39	D# 1			スネア	スネア クラップ	スネア ジャズ L	ブラッシュスラップ 3	バンドスネア	ドアを開める	
E2		52	E 2	40	E 1			ハンドクラップ				ストリングスラップ	スクラッチカット	
	F#2	53	F# 2	41	F# 1			スネア タイム	スネア ドライ	スネア ジャズ M	ブラッシュ タップ 2	バンドスネア 2	スクラッチ H3	
F2		54	F 2	42	F 1	1		フロアタム L	フロアタム L	タム アナログ 1	タム ブラッシュ 1	タム ジャズ 1	スクラッチ H3	ウィンドチャイム
	G#2	55	G# 2	43	G# 1			ハイハット クローズ	ハイハット クローズ アナログ 3	タム ジャズ 1	タム ブラッシュ 2	タム ジャズ 2	電話 2	
G2		56	G 2	44	G 1	1		フロアタム H	タム アナログ 2	タム ジャズ 2	タム ブラッシュ 2	タム ジャズ 2		
	A#2	57	A# 2	45	A# 1			ハイハット ペダル	ハイハット クローズ アナログ 4	タム ジャズ 3	タム ブラッシュ 3	タム ジャズ 3		
A2		58	A 2	46	A 1	1		ロータム	タム アナログ 3	タム ジャズ 3	タム ブラッシュ 3	タム ジャズ 3		
	B#2	59	B# 2	47	B# 1			ハイハット オープン	ハイハット オープン アナログ 2					
B2		60	B 2	48	B 1			ミッドタム L	タム アナログ 4	タム ジャズ 4	タム ブラッシュ 4	タム ジャズ 4		
C3		61	C 3	49	C 2			ミッドタム H	タム アナログ 5	タム ジャズ 5	タム ブラッシュ 5	タム ジャズ 5		
	C#3	62	C# 3	50	C# 2			クラッシュシンバル 1	クラッシュ アナログ	タム ジャズ 6	タム ブラッシュ 6	ハンドシンバル		
D3		63	D 3	51	D 2			ライドシンバル 1	タム アナログ 6	タム ジャズ 6	タム ブラッシュ 6	タム ジャズ 6		
	D#3	64	D# 3	52	D# 2			ライドシンバル 2				ハンドシンバル ショート		
E3		65	E 3	53	E 2			チャイニーズシンバル					フルート キークリック	イグニッション
	F#3	66	F# 3	54	F# 2			ライドシンバル カップ					タイヤ	
F3		67	F 3	55	F 2			タンバリン					レーシングカー	
	G#3	68	G# 3	56	G# 2			スブラッシュシンバル					衝突	
G3		69	G 3	57	G 2			カウベル	カウベル アナログ				サイレン	
	A#3	70	A# 3	58	A# 2			クラッシュシンバル 2				ハンドシンバル 2	列車	
A3		71	A 3	59	A 2			ビブラスラップ					ジェット機	
	B#3	72	B# 3	60	B# 2			ライドシンバル 2				ハンドシンバル 2 ショート	スターシップ	
B3		73	B 3	61	B 2			ボンゴ H					バースト	
C4		74	C 4	62	C 3			ボンゴ L					ローラー コースター	
	C#4	75	C# 4	63	C# 3			コンガ H ミュート	コンガ アナログ H				サブマリン	
D4		76	D 4	64	D 3			コンガ H オープン	コンガ アナログ M					
	D#4	77	D# 4	65	D# 3			コンガ L	コンガ アナログ L					
E4		78	E 4	66	E 3			ティンパレス H						
	F#4	79	F# 4	67	F# 3			ティンパレス L						
F4		80	F 4	68	F 3			アゴゴ H						
	G#4	81	G# 4	69	G# 3			アゴゴ L						
A4		82	A 4	70	A 3			カバサ					雨	笑い声
	A#4	83	A# 4	71	A# 3			マラカス	マラカス 2				雷	悲鳴
B4		84	B 4	72	B 3	O		サンバホイッスル H					風	パンチ
	C#5	85	C# 5	73	C# 4	O		サンバホイッスル L					せせらぎ	心音
C5		86	C 5	74	C 4			ギロ ショート					泡	足音
	D#5	87	D# 5	75	D# 4	O		ギロ ロング					フィード	
D5		88	D 5	76	D 4			クラベス	クラベス 2					
	F#5	89	F# 5	77	F# 4			ウッドブロック H						
F5		90	F 5	78	F 4			ウッドブロック L						
	G#5	91	G# 5	79	G# 4			クイーカー ミュート	スクラッチ H 2					
G5		92	G 5	80	G 4			クイーカー オープン	スクラッチ L 3					
	A#5	93	A# 5	81	A# 4		2	トライアングル ミュート						
A5		94	A 5	82	A 4		2	トライアングル オープン						
	B#5	95	B# 5	83	B# 4			シェイカー						
B5		96	B 5	84	B 4			ジングルベル						
	C#6	97	C# 6	85	C# 5			ベルツリー					犬	マシンガン
C6		98	C 6	86	C 5								馬	レーザーガン
	D#6	99	D# 6	87	D# 5								鳥のさえずり 2	爆発
D6		100	D 6	88	D 5									花火
	F#6	101	F# 6	89	F# 5									
F6		102	F 6	90	F 5									
	G#6	103	G# 6	91	G# 5								マオウ	



スタイルリスト

スタイル No.	スタイル名
8ビート	
1	チャートピアノポップ
2	ブリットポップロック
3	8ビートモダン
4	クール8ビート
5	クラシック8ビート
6	60'sギターポップ
7	8ビートアドリア
8	60's 8ビート
9	バブルガムポップ
10	ブリットポップスイング
11	オフビート
12	60'sロック
13	ハードロック
14	ロックシャッフル
15	8ビートロック
16ビート	
16	16ビート
17	ピアノポップシャッフル
18	ポップシャッフル1
19	ポップシャッフル2
20	ギターポップ
21	16ビートアップテンポ
22	クールシャッフル
23	ジャズロック
24	ヒップホップライト
バラード	
25	チャートピアノバラード
26	ポップギターバラード
27	80'sバラード
28	ピアノバラード
29	ラブソング
30	6-8モダンエレピ
31	6-8スローロック
32	6-8オーケストラバラード
33	オルガンバラード
34	ポップバラード
35	16ビートバラード1
36	16ビートバラード2
ダンス	
37	クラブビート
38	エレクトロニカ
39	ファンキーハウス
40	メロ-ヒップホップ
41	ユーロトランス
42	イビサ
43	ドリームダンス
44	テクノボリス
45	クラブダンス
46	クラブラテン
47	ガラージ
48	UKポップ
49	ヒップホップグループ
50	ヒップシャッフル
51	ヒップホップポップ
ディスコ	
52	70'sディスコ1
53	70'sディスコ2
54	ラテンディスコ
55	ディスコフィリー
56	サタデーナイト

スタイル No.	スタイル名
57	ディスコチョコレート
58	ディスコハンズ
スイング & ジャズ	
59	トラッドジャズピアノ1
60	トラッドジャズピアノ2
61	ピアノバーブルース
62	ビッグバンドファスト
63	ビッグバンドミディアム
64	ビッグバンドバラード
65	ビッグバンドシャッフル
66	ジャズクラブ
67	スイング1
68	スイング2
69	オーケストラスイング
70	5ビート
71	ジャズバラード
72	ディキシーランド
73	ラグタイム
74	アフロキューバン
75	チャールストン
リズム & ブルース	
76	ソウル
77	デトロイトポップ1
78	60'sロックンロール
79	6-8ソウル
80	クロコツイスト
81	ロックンロール
82	デトロイトポップ2
83	ブギーウギー
84	コンボブギー
85	6-8ブルース
カントリー	
86	70'sカントリー
87	カントリー8ビート
88	カントリーポップ
89	カントリースイング
90	カントリーバラード
91	カントリー2-4
92	カウボーイブギー
93	カントリーシャッフル
94	ブルーグラス
ラテン	
95	ブラジリアンサンバ
96	ボサノバ
97	ポップボサ
98	ティファナ
99	ディスコラテン
100	マンボ
101	サルサ
102	ビギン
103	ギタールンバ
104	ルンバフラメンコ
105	ルンバアイランド
106	レゲエ
ボールルーム	
107	ウィンナーワルツ
108	イングリッシュワルツ
109	スローフォックス
110	フォックスロット
111	クイックステップ
112	タンゴ

スタイル No.	スタイル名
113	パソドブレ
114	サンバ
115	チャチャチャ
116	ルンバ
117	ジャイブ
トラディショナル	
118	USマーチ
119	6-8マーチ
120	ジャーマンマーチ
121	ボルカポップ
122	ボルカオーバークライナー
123	タランテラ
124	ショーチューン
125	クリスマススイング
126	クリスマスワルツ
127	スコティッシュリール
128	ハワイアン
ワルツ	
129	イタリアンワルツ
130	マリアッチワルツ
131	ギターセレナーデ
132	スイングワルツ
133	ジャズワルツ1
134	ジャズワルツ2
135	カントリーワルツ
136	ワルツオーバークライナー
137	ミュゼット
チルドレン	
138	ラーニング2-4
139	ラーニング4-4
140	ラーニング6-8
141	ファン3-4
142	ファン4-4
ピアニスト	
143	ストライド
144	ピアノブルース1
145	ピアノブルース2
146	ピアノラグ
147	ピアノロックンロール
148	ピアノブギー
149	ピアノジャズワルツ
150	ピアノジャズバラード
151	アルペジオ
152	ミュージカル
153	ハバネラ
154	スローロック
155	8ビートピアノバラード
156	ピアノマーチ
157	6-8ピアノマーチ
158	ピアノワルツ
159	ピアノビギン
160	ピアノスイング



ミュージックデータベースリスト

MDB No.	MDB名	MDB No.	MDB名	MDB No.	MDB名	MDB No.	MDB名	MDB No.	MDB名
ALL TIME HITS		062	WatchGrl	123	Shouting	COUNTRY		243	Donald's
001	Jude Hey	POP BALLAD		124	Rock&Rll	183	OnTheRd	244	MoonWlz
002	New UK	063	WnderLnd	125	HonkyTnk	184	Breathe	245	MoulinHt
003	MyLoving	064	CanIStop	OLDIES		185	InMyMind	246	Sunshine
004	All OK	065	EvryTime	126	Daydream	186	ContryHw	247	PieceOf
005	Buttercp	066	IvoryAnd	127	Sumertme	187	GreenGrs	248	GreenSiv
006	JustCall	067	TheWorld	128	Diana's	188	EverNeed	249	TakeFour
007	CheepChp	068	LovWoman	129	Uptown	189	Lonesone	250	TexRose
008	Daddy's	069	Dolannes	130	Apache	190	Lucille	251	ThePolka
009	Dance?	070	Madigan	131	IGottI	191	HomeRng	252	Scarboro
010	GetBack	071	Paradise	132	Tonight	192	Tennessee	253	Edelweis
011	GtrWheel	072	Whisper	133	MyPillow	LATIN		254	AroundWd
012	HighTide	BALLAD		134	NoRain	193	Bananabt	255	Whatever
013	IWasBorn	073	AllOdds	135	FinalDance	194	DanceMng	256	Yankee's
014	Sailing	074	AtonalFl	136	SlpnLion	195	DntWorry	WORLD	
015	BluJeans	075	Hero	137	Ghetto	196	Jamaica	257	Hawaii
016	Holiday	076	Woman	138	LipsLcky	197	FleaSpa	258	D'amor
017	Imagine	077	RunToYou	139	PrettyWm	198	I'mPola	259	EIcondor
018	LoveMe	078	LoveOfAl	140	TikiGtr	199	MamboJm	260	GoodByRm
019	LetItBld	079	CndleWnd	141	TurnThre	200	OneNote	261	ILandOn
020	LdyMdon	080	Cavatina	142	Sherry	201	PasoCani	262	ItalyBel
021	YelowSub	081	Cherish	DANCE & DISCO		202	SayNoMor	263	Cucarumb
022	Marriage	082	ToLoveMe	143	Babylon	203	Beguine	264	Puntuali
023	MovinOut	083	YouKnow	144	Goodbye	204	Tijuana	265	Cielito
024	My Shell	084	Evrythng	145	Catch22	205	Picture	266	ItalySun
025	NowNever	085	EyesOfBl	146	DISCO	ENTERTAINMENT		267	SantaLuc
026	DoLoveMe	086	Hello	147	Survival	206	OnTheHil	268	Trumpetr
027	TcktRide	087	BeThere	148	TheNavy	207	Barnacle	269	VanMass
028	SeeClear	088	FlyAway	149	DontHide	208	Califrag	PIANIST	
029	Masachus	089	LoveYou	150	Celebrat	209	DadClock	270	ItalySun
030	Hard Day	090	NeverLet	151	LondonRU	210	DanceLd	271	BeGood
031	USA Pie	091	JustOnce	152	10,2 Sun	211	DnceFire	272	Chaie's
032	Norway	092	IfYouGo	153	ShakeYou	212	BigCntry	273	Flower
033	YesterBd	093	SavingAl	154	Believe	213	Cabaret	274	Frenetic
MODERN POP		094	InTheDrk	155	BoySumer	214	OdeToJoy	275	Highwy66
034	Watches	095	LovePwr	156	I'mSexy	215	Mi-Re-Do	276	Leaves
035	SoundMPH	096	Vision	157	StuffHot	216	MyPrince	277	Miload
036	Hold Us	097	Beautifl	SWING & JAZZ		217	Necenary	278	Cabaret
037	Unfound	098	AllAlone	158	Patrol	218	NoBuiZ	279	Wonderfl
038	NeedSome	099	Opposite	159	Charles	219	NoisyOld	280	Submarin
039	PrtTmLvr	100	BeHonest	160	GiveLove	220	Sleigh	281	Mi-Re-Do
040	MoonShdw	101	SayYou	161	Rhythm	221	RockBasy	282	MoreRhum
041	NikitSng	102	SayNthng	162	LOVE	222	Magnifiq	283	NoBuiZ
042	Sure of	103	Stranger	163	LeroyBad	223	Magnfnt	284	BeautifulSn
043	Off Day	104	OneDay	164	Caraban	224	SilentNt	285	OhBlah
044	Tell Her	105	TheBayou	165	Misbehav	225	Nabucco	286	Charades
045	GirlsMne	106	ThisSong	166	Safari	226	Standing	287	Sally's
046	NeedLove	107	Distance	167	Smiling	227	SummerPl	288	Nabucco
POP CLASSICS		108	ThisWay	168	SoWhatIs	228	Christms	289	Spanish
047	Standing	109	LoveGone	169	TimeGone	229	Favorite	290	SunnyStr
048	RainLaff	110	Inspiring	170	TasteHny	230	Tubbie	291	MistyFin
049	Sunshine	111	TrueColr	171	Sandman	231	Turkish	292	LdnBridg
050	ForNamdo	ROCK & ROLL		172	Tunisian	232	12OClock	293	GrndClck
051	ThankFor	112	ShakenUp	173	TwoFoot	WALTZ & TRADITIONAL		294	Importnc
052	ManPiano	113	Beethovn	174	MyBaby	233	Blk&White	295	Snowman
053	CoinLane	114	HurryLov	R&B		234	CanCan	296	Favorite
054	LovesYou	115	BeCruel	175	AsPlayed	235	Charmain	297	SugerSpn
055	Tmbourin	116	Jumping	176	BabyGroV	236	Musicbox	298	Washngtn
056	Alone	117	Countdwn	177	Highwy66	237	Clementn	299	ThisWay
057	GldField	118	SuePeggy	178	SweetCHI	238	Doodah!	300	ZipperD
058	Raindrop	119	Champion	179	JustU&Me	239	Dreamer		
059	SultanSw	120	Jailhous	180	ManLoves	240	EnterRag		
060	Life'sWk	121	BlueShoe	181	OurLove	241	Birthday		
061	TopWorld	122	Rockin24	182	Wish I	242	MaryLamb		



CD-ROM内のソング

ファイル名	ソング名	作曲者
001Nutcr.mid	葦笛の踊り(くるみ割り人形より)	P.I. Tchaikovsky
002Orphe.mid	「天国と地獄」序曲	J. Offenbach
003Slavo.mid	スラヴ舞曲 Op.72-2	A. Dvořák
004Prima.mid	春「四季」より	A. Vivaldi
005Medit.mid	タイスの瞑想曲	J. Massenet
006Guill.mid	ウィリアム・テル序曲	G. Rossini
007Fruhl.mid	春の歌	F. Mendelssohn
008Ungar.mid	ハンガリー舞曲 第5番	J. Brahms
009Fruhl.mid	円舞曲「春の声」	J. Strauss II
010Dolly.mid	お人形の夢と目覚め	T.Oesten
011Cande.mid	ブルグミュラー：25の練習曲から 1番 すなおな心	J.F.Burgmüller
012Arabe.mid	2番 アラベスク	J.F.Burgmüller
013Pasto.mid	3番 牧歌	J.F.Burgmüller
014Petit.mid	4番 こどもの集会	J.F.Burgmüller
015Innoc.mid	5番 無邪気	J.F.Burgmüller
016Progr.mid	6番 進歩	J.F.Burgmüller
017Taren.mid	20番 タランテラ	J.F.Burgmüller
018Cheva.mid	25番 貴婦人の乗馬	J.F.Burgmüller
019Etude.mid	別れの曲	F.Chopin
020Marci.mid	ベートーベンのトルコ行進曲	L.v. Beethoven
021Turki.mid	モーツァルトのトルコ行進曲	W.A. Mozart
022Valse.mid	小犬のワルツ	F.Chopin
023Menue.mid	ボッケリーニのメヌエット	L. Boccherini
024Momen.mid	楽興の時 第3番	F. Schubert
025Enter.mid	エンターテイナー	S. Joplin
026Prelu.mid	平均律第1巻第1番 プレリユード	J.S. Bach
027Violl.mid	すみれ	L.Streabbog
028Angel.mid	天使のセレナーデ	Traditional
029Saraf.mid	赤いサラファン	Traditional
030Ameri.mid	アメリカ・ザ・ビューティフル	S.A. Ward
031Brown.mid	茶色の小瓶	Traditional
032Lomon.mid	ロッホ・ローモンド	Traditional
033Bonni.mid	マイ・ボニー	Traditional
034Londo.mid	ロンドンデリーの歌	Traditional
035Banjo.mid	バンジョーをかき鳴らせ	S.C. Foster
036Vogle.mid	小鳥ならば	Traditional
037Lorel.mid	ローレライ	F. Silcher
038Funic.mid	フニクリ・フニクラ	L. Denza
039Turke.mid	わらの中の七面鳥	Traditional
040Campt.mid	草競馬	S.C. Foster
041Jingl.mid	ジングル・ベル	J.S. Pierpont
042Muss.mid	別れ	F. Silcher
043Liebe.mid	愛の夢 第3番	F. Liszt
044Jesu.mid	主よ、人の望みの喜びよ	J.S. Bach
045Joy.mid	歓喜の歌	L.v. Beethoven
046Pearl.mid	真珠採りの歌	G. Bizet
047Gavot.mid	ゴセックのガボット	F.J. Gossec
048Seren.mid	ハイドンのセレナーデ	F.J. Haydn
049Menue.mid	バッハのメヌエット BWV. Anh114	J.S. Bach
050Canon.mid	パッヘルベルのカノン	J. Pachelbel
051Vogel.mid	俺は鳥刺し「魔笛」より	W.A. Mozart
052Piano.mid	月光の曲	L.v. Beethoven
053Surpr.mid	びっくりシンフォニー	F.J. Haydn
054WildR.mid	野ばらに寄す	E.A. MacDowell
055Chans.mid	闘牛士の歌	G. Bizet
056Babbi.mid	私のお父さん	G. Puccini
057RowRo.mid	こげこげボート (DUET)	Traditional
058Smoky.mid	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー (DUET)	Traditional
059WeWis.mid	おめでとうクリスマス (DUET)	Traditional
060ImMai.mid	ちょうちょ (DUET)	Traditional
061Chris.mid	もみの木 (DUET)	Traditional
062MaryH.mid	メリーさんのひつじ (DUET)	Traditional
063TenLi.mid	10人のインディアン (DUET)	Septimus Winner
064PopGo.mid	ポップ・ゴーズ・ザ・ウィズル (DUET)	Traditional
065Twink.mid	きらきら星 (DUET)	Traditional
066Close.mid	むすんでひらいて (DUET)	J.J. Rousseau
067Cucko.mid	かっこう (DUET)	Traditional
068Augus.mid	かわいいオーガスティン (DUET)	Traditional
069Londo.mid	ロンドン橋 (DUET)	Traditional
070Three.mid	3匹のいたずらねずみ (DUET)	Traditional

イージーソングアレンジャーはコードを含んだデータでお使いいただけます。



ハーモニータイプリスト

No.	タイプ	解説
1	01(Standard Duet)	ハーモニータイプ01～10、13は、メロディー音(右手演奏)に対して、1音～3音のハーモニー音が付加されます。これらハーモニータイプ01～10、13は、スタイル動作時に自動伴奏鍵域でコードが指定された場合にのみ機能します。
2	02(Standard Trio)	
3	03(Full Chord)	
4	04(Rock Duet)	
5	05(Country Duet)	
6	06(Country Trio)	
7	07(Block)	
8	08(4-Way Close 1)	
9	09(4-Way Close 2)	
10	10(4-Way Open)	
11	11(1+5)	
12	12(Octave)	
13	13(Strum)	
14	14(Multi Assign)	
15	15(Echo 1/4)	ハーモニータイプ15～26は、メロディー音(右手演奏)に対して、同じ音程の音が遅れたり鳴ったり、最後に押した2つの音どうしが交互に鳴ったりします。これらハーモニータイプ15～26は、スタイルのオン/オフに関係なく効果がかかりますが、その効果のスピードはテンポの設定に従い、スタイルオン時にはリズムに同期します。3連符の設定も可能です。 ・エコーエフェクトタイプ(15～18)：メロディーに、選ばれたスピードのエコー(こだま)効果がかかります。 ・トレモロエフェクトタイプ(19～22)：メロディーに、選ばれたスピードのトレモロ効果がかかります。 ・トリルエフェクトタイプ(23～26)：2つの音を押さえると、それぞれの音が交互に、選ばれたスピードでくり返し発音します。
16	16(Echo 1/6)	
17	17(Echo 1/8)	
18	18(Echo 1/12)	
19	19(Tremolo 1/8)	
20	20(Tremolo 1/12)	
21	21(Tremolo 1/16)	
22	22(Tremolo 1/32)	
23	23(Trill 1/12)	
24	24(Trill 1/16)	
25	25(Trill 1/24)	
26	26(Trill 1/32)	



エフェクトタイプリスト

[リバーブタイプリスト]

No.	タイプ	解説	MSB	LSB
1	HALL1	ホールでの響きをシミュレートしたリバーブです。	1	0
2	HALL2		1	16
3	HALL3		1	17
4	HALL4		1	18
5	HALL5		1	1
6	HALL M		1	6
7	HALL L		1	7
8	ROOM1	部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。	2	16
9	ROOM2		2	17
10	ROOM3		2	18
11	ROOM4		2	19
12	ROOM5		2	0
13	ROOM6		2	1
14	ROOM7		2	2
15	ROOM S	ソロ楽器に適したリバーブです。	2	5
16	ROOM M		2	6
17	ROOM L		2	7
18	STAGE1		3	16
19	STAGE2		3	17
20	STAGE3		3	0
21	STAGE4		3	1
22	PLATE1	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。	4	16
23	PLATE2		4	17
24	PLATE3		4	0
25	GM PLATE		4	7
26	WHITE ROOM	若干のイニシャルディレイを持った独特のショートリバーブです。	16	0
27	TUNNEL	左右に広がった筒状の空間のシミュレートです。	17	0
28	CANYON	限りなく広がる幻想的な音の世界をイメージしたものです。	18	0
29	BASEMENT	若干のイニシャルディレイの後に、独特の響きを持ったリバーブです。	19	0
30	NO EFFECT	エフェクトをオフにします。	0	0

[コーラスタイプリスト]

No.	タイプ	解説	MSB	LSB
1	CHORUS1	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。	66	17
2	CHORUS2		66	8
3	CHORUS3		66	16
4	CHORUS4		66	1
5	CHORUS5		65	2
6	CHORUS6		65	0
7	CHORUS7		65	1
8	CHORUS8		65	8
9	GM CHORUS1		65	3
10	GM CHORUS2		65	4
11	GM CHORUS3		65	5
12	GM CHORUS4		65	6
13	FB CHORUS		65	7
14	CELESTE1	3相のLFOにより、音にうねりと広がりを与えるエフェクトです。	66	0
15	CELESTE2		66	2
16	FLANGER1	ジェットサウンドを与えます。	67	8
17	FLANGER2		67	16
18	FLANGER3		67	17
19	FLANGER4		67	1
20	FLANGER5		67	0
21	GM FLANGER		67	7
22	SYMPHONIC1		音にうねりと広がりを与える効果です。	68
23	SYMPHONIC2	68		0
24	ROTARY SP5	回転スピーカーをシミュレートした効果です。	66	18
25	NO EFFECT	エフェクトをオフにします。	0	0

[DSPタイプリスト]

No.	タイプ	解説	MSB	LSB
1	HALL1	ホールでの響きをシミュレートしたリバーブです。	1	0
2	HALL2		1	16
3	HALL3		1	17
4	HALL4		1	18
5	HALL5		1	1
6	HALL M		1	6
7	HALL L		1	7
8	ROOM1	部屋の響きをシミュレートしたリバーブです。	2	16
9	ROOM2		2	17
10	ROOM3		2	18
11	ROOM4		2	19
12	ROOM5		2	0
13	ROOM6		2	1
14	ROOM7		2	2
15	ROOM S		2	5
16	ROOM M		2	6
17	ROOM L		2	7
18	STAGE1	ソロ楽器に適したリバーブです。	3	16
19	STAGE2		3	17
20	STAGE3		3	0
21	STAGE4		3	1
22	PLATE1	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。	4	16
23	PLATE2		4	17
24	PLATE3		4	0
25	GM PLATE		4	7
26	WHITE ROOM	若干のイニシャルディレイを持った独特のショートリバーブです。	16	0
27	TUNNEL	左右に広がった筒状の空間のシミュレートです。	17	0
28	CANYON	限りなく広がる幻想的な音の世界をイメージしたものです。	18	0
29	BASEMENT	若干のイニシャルディレイの後に、独特の響きを持ったリバーブです。	19	0
30	DELAY LCR1	Left (レフト)、Center (センター)、Right (ライト) の3本のディレイ音を発生するエフェクトです。	5	16
31	DELAY LCR2		5	0
32	DELAY LR	Left、Right の2本のディレイ音を発生するエフェクトです。2本のフィードバックディレイを持っています。	6	0
33	ECHO	L、R、2本のディレイとL、R独立のフィードバックディレイを持っています。	7	0
34	CROSS DELAY	2本のディレイのフィードバックをクロスさせたエフェクトです。	8	0
35	TEMPO DELAY	テンポ同期可能なディレイです。	21	0
36	TEMPO ECHO	テンポ同期可能なエコーです。	21	8
37	TEMPO CROSS	テンポ同期可能なクロスディレイです。	22	0
38	KARAOKE1	カラオケ用のエコーと同じ仕組みのフィードバック付きのディレイです。	20	0
39	KARAOKE2		20	1
40	KARAOKE3		20	2
41	ER1	リバーブの初期反射音のみを取り出したエフェクトです。	9	0
42	ER2		9	1
43	GATE REVERB	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。	10	0
44	REVERS GATE	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたエフェクトです。	11	0

エフェクトタイプリスト

No.	タイプ	解説	MSB	LSB	
45	CHORUS1	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。	66	17	
46	CHORUS2		66	8	
47	CHORUS3		66	16	
48	CHORUS4		66	1	
49	CHORUS5		65	2	
50	CHORUS6		65	0	
51	CHORUS7		65	1	
52	CHORUS8		65	8	
53	GM CHORUS1		65	3	
54	GM CHORUS2		65	4	
55	GM CHORUS3		65	5	
56	GM CHORUS4		65	6	
57	FB CHORUS		65	7	
58	CELESTE1		3相のLFOにより、音にうねりと広がりを与えるエフェクトです。	66	0
59	CELESTE2		66	2	
60	SYMPHONIC1	音にうねりと広がりを与える効果です。	68	16	
61	SYMPHONIC2		68	0	
62	ENS DETUNE (Ensemble Detune)	ピッチをわずかにずらした音を付加することによる、うねりのないコーラスエフェクトです。	87	0	
63	FLANGER1	ジェットサウンドを与えます。	67	8	
64	FLANGER2		67	16	
65	FLANGER3		67	17	
66	FLANGER4		67	1	
67	FLANGER5		67	0	
68	GM FLANGER		67	7	
69	T_FLANGER		107	0	
70	PHASER1		位相(フェイズ)を周期的に変化させ音にうねりを持たせます。	72	0
71	PHASER2			72	8
72	EP PHASER2	72		18	
73	EP PHASER3	72		16	
74	T_PHASER	108		0	
75	DIST HEAVY (Distortion Heavy)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ヘビー)	73	0	
76	ST DIST (Stereo Distortion)	ステレオのディストーションです。	73	8	
77	COMP+DIST1 (Compressor + Distortion1)	前段にCOMPRESSORがあるため、入力レベルにかかわらず均等に歪ませることができます。	73	16	
78	COMP+DIST2 (Compressor + Distortion2)		73	1	
79	OVERDRIVE	音にマイルドな歪みを与えます。	74	0	
80	ST OD (Stereo Overdrive)	ステレオタイプのオーバードライブです。	74	8	
81	DIST HARD (Distortion Hard)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)	75	16	
82	DIST HARD2 (Distortion Hard2)		75	22	
83	DIST SOFT (Distortion Soft)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)	75	17	
84	DIST SOFT2 (Distortion Soft2)		75	23	
85	ST DIST HARD (Stereo Distortion Hard)	ステレオタイプのオーバードライブです。(ハード)	75	18	
86	ST DIST SOFT (Stereo Distortion Soft)	ステレオタイプのオーバードライブです。(ソフト)	75	19	
87	V_DIST HARD (V Distortion Hard)	VintageTubeやFuzzをシュミレーションしたディストーションです。	98	0	
88	V_DIST SOFT (V Distortion Soft)		98	2	
89	AMP SIM1 (Amp Simulator 1)	ギターアンプをシミュレートしたものです。	75	0	
90	AMP SIM2 (Amp Simulator 2)		75	1	
91	ST AMP1 (Stereo Amp Simulator1)	ステレオタイプのアンプシミュレーターです。	75	20	
92	ST AMP2 (Stereo Amp Simulator2)		75	21	
93	ST AMP3 (Stereo Amp Simulator3)		75	8	
94	ST AMP4 (Stereo Amp Simulator4)		75	24	
95	ST AMP5 (Stereo Amp Simulator5)		75	25	
96	ST AMP6 (Stereo Amp Simulator6)		75	26	
97	DST+DELAY1 (Distortion + Delay1)	ディストーションとディレイを直列に接続したものです。	95	16	
98	DST+DELAY2 (Distortion + Delay2)		95	0	
99	OD+DELAY1 (Overdrive + Delay1)	オーバードライブとディレイを直列に接続したものです。	95	17	
100	OD+DELAY2 (Overdrive + Delay2)		95	1	

No.	タイプ	解説	MSB	LSB
101	CMP+DST+DLY1 (Compressor + Distortion + Delay1)	コンプレッサーとディストーションとディレイを直列に接続したものです。	96	16
102	CMP+DST+DLY2 (Compressor + Distortion + Delay2)		96	0
103	CMP+OD+DLY1 (Compressor + Overdrive + Delay1)	コンプレッサーとオーバードライブとディレイを直列に接続したものです。	96	17
104	CMP+OD+DLY2 (Compressor + Overdrive + Delay2)		96	1
105	V_DST H+DLY (V Distortion Hard + Delay)	Vディストーションハードとディレイを直列に接続したものです。	98	1
106	V_DST S+DLY (V Distortion Soft + Delay)	Vディストーションソフトとディレイを直列に接続したものです。	98	3
107	DST+TDLY (Distortion + Tempo Delay)	ディストーションとテンポディレイを直列に接続したものです。	100	0
108	OD+TDLY (Overdrive + Tempo Delay)	オーバードライブとテンポディレイを直列に接続したものです。	100	1
109	CMP+DST+TDL (Compressor + Distortion + Tempo Delay)	コンプレッサーとディストーションとテンポディレイを直列に接続したものです。	101	0
110	CMP+OD+TDLY1 (Compressor + Overdrive + Tempo Delay1)	コンプレッサーとオーバードライブとテンポディレイを直列に接続したものです。	101	1
111	CMP+OD+TDLY2 (Compressor + Overdrive + Tempo Delay2)		101	16
112	CMP+OD+TDLY3 (Compressor + Overdrive + Tempo Delay3)		101	17
113	CMP+OD+TDLY4 (Compressor + Overdrive + Tempo Delay4)		101	18
114	CMP+OD+TDLY5 (Compressor + Overdrive + Tempo Delay5)		101	19
115	CMP+OD+TDLY6 (Compressor + Overdrive + Tempo Delay6)		101	20
116	V_DST H+TDLY (V Distortion Hard + Tempo Delay)	Vディストーションハードとテンポディレイを直列に接続したものです。	103	0
117	V_DST S+TDL1 (V Distortion Soft + Tempo Delay1)	Vディストーションソフトとテンポディレイを直列に接続したものです。	103	1
118	PITCH CHG1 (Pitch Change1)	入力信号のピッチを変えるエフェクトです。	80	16
119	PITCH CHG2 (Pitch Change2)		80	0
120	PITCH CHG3 (Pitch Change3)		80	1
121	AUTO WAH1	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。	78	16
122	AUTO WAH2		78	0
123	AT WAH+DST1 (Auto Wah + Distortion1)	オートワウの出力をディストーションにより歪ませることができます。	78	17
124	AT WAH+DST2 (Auto Wah + Distortion2)		78	1
125	AT WAH+OD1 (Auto Wah + Overdrive1)	オートワウの出力をオーバードライブにより歪ませることができます。	78	18
126	AT WAH+OD2 (Auto Wah + Overdrive2)		78	2
127	TOUCH WAH1	入力レベルによりワウフィルターの中心周波数を変えるエフェクトです。	82	0
128	TOUCH WAH2		82	8
129	TC WAH+DST1 (Touch Wah + Distortion1)	タッチワウの出力をディストーションにより歪ませることができます。	82	16
130	TC WAH+DST2 (Touch Wah + Distortion2)		82	1
131	TC WAH+OD1 (Touch Wah + Overdrive1)	タッチワウの出力をオーバードライブにより歪ませることができます。	82	17
132	TC WAH+OD2 (Touch Wah + Overdrive2)		82	2
133	CLAVI TC WAH (Clavi Touch Wah)	クラビネットに適したタッチワウです。	82	18
134	EP TC WAH (EP Touch Wah)	エレピに適したタッチワウです。	82	19

エフェクトタイプリスト

No.	タイプ	解説	MSB	LSB
135	WH+DST+DLY1 (Wah + Distortion + Delay1)	ワウとディストーションとディレイを直列に接続したものです。	97	16
136	WH+DST+DLY2 (Wah + Distortion + Delay2)		97	0
137	WH+DST+TDLY (Wah + Distortion + Tempo Delay)	ワウとディストーションとテンポディレイを直列に接続したものです。	102	0
138	WH+OD+DLY1 (Wah + Overdrive + Delay1)	ワウとオーバードライブとディレイを直列に接続したものです。	97	17
139	WH+OD+DLY2 (Wah + Overdrive + Delay2)		97	1
140	WH+OD+TDLY1 (Wah + Overdrive + Tempo Delay1)	ワウとオーバードライブとテンポディレイを直列に接続したものです。	102	1
141	WH+OD+TDLY2 (Wah + Overdrive + Tempo Delay2)		102	16
142	MBAND COMP	マスター出力用のコンプレッサーで、帯域別にコンプレッサーをかけます。	105	0
143	COMPRESSOR	設定レベル以上の信号が入力されると出力を抑えます。また音にアタック感を与えることもできます。	83	0
144	NOISE GATE	入力信号が設定レベル以下になると、入力をゲートします。	84	0
145	ROTARY SP1 (Rotary Speaker1)	回転スピーカーをシミュレートしたものです。	69	16
146	ROTARY SP2 (Rotary Speaker2)		71	17
147	ROTARY SP3 (Rotary Speaker3)		71	18
148	ROTARY SP4 (Rotary Speaker4)		70	17
149	ROTARY SP5 (Rotary Speaker5)		66	18
150	ROTARY SP6 (Rotary Speaker6)		69	0
151	ROTARY SP7 (Rotary Speaker7)		71	22
152	2WAY ROT SP (2way Rotary Speaker)		86	0
153	DST+ROT SP (Distortion + Rotary Speaker)	ディストーションとロータリースピーカーを直列に接続したものです。	69	1
154	DST+2ROT SP (Distortion + 2way Rotary Speaker)	ディストーションと2ウェイロータリースピーカーを直列に接続したものです。	86	1
155	OD+ROT SP (Overdrive + Rotary Speaker)	オーバードライブとロータリースピーカーを直列に接続したものです。	69	2
156	OD+2ROT SP (Overdrive + 2way Rotary Speaker)	オーバードライブと2ウェイロータリースピーカーを直列に接続したものです。	86	2
157	AMP+ROT SP (Amp Simulator + Rotary Speaker)	アンプシミュレーターとロータリースピーカーを直列に接続したものです。	69	3
158	AMP+2ROT SP (Amp Simulator + 2way Rotary Speaker)	アンプシミュレーターと2ウェイロータリースピーカーを直列に接続したものです。	86	3
159	DUAL ROT SP1 (Dual Rotor Speaker1)	回転スピーカーをシミュレートしたものです。	99	0
160	DUAL ROT SP2 (Dual Rotor Speaker2)		99	1
161	TREMOLO1	音量を周期的に変化させるエフェクトです。	70	16
162	TREMOLO2		71	19
163	TREMOLO3		70	0
164	EP TREMOLO		70	18
165	GT TREMOLO1 (Guitar Tremolo1)		71	20
166	GT TREMOLO2 (Guitar Tremolo2)		70	19
167	AUTO PAN1	音像を左右、前後に周期的に移動させるエフェクトです。	71	16
168	AUTO PAN2		71	0
169	EP AUTOPAN		71	21
170	AUTO PAN3		71	1
171	EQ DISCO	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られます。	76	16
172	EQ TEL	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られます。	76	17
173	2BAND EQ	低域、高域の2つの帯域が強調されるように調整されたイコライザーです。	77	0
174	3BAND EQ	低域、高域の2つの帯域が強調され、中域が抑えられるように調整されたモノラルタイプのイコライザーです。	76	0

No.	タイプ	解説	MSB	LSB
175	HM ENHANCE1 (Harmonic Enhancer1)	入力信号に新たな倍音を付加し音をきわだたせるエフェクトです。	81	16
176	HM ENHANCE2 (Harmonic Enhancer2)		81	0
177	ST 3BAND EQ	低域、高域の2つの帯域が強調され、中域が抑えられるように調整されたイコライザーです。	76	18
178	VCE CANCEL (Voice Cancel)	CDなどのソースのボーカルパートを減衰させることができます。	85	0
179	AMBIENCE	音の定位をぼかして空間的な広がりを得るエフェクトです。	88	0
180	TALKING MOD (Talking Modulation)	入力信号に母音をつけます。	93	0
181	ISOLATOR	入力信号のうち、特定の帯域のレベルをコントロールできます。	115	0
182	NO EFFECT	エフェクトをオフにします。	0	0
183	THRU	エフェクトをかけずにバイパスします。	64	0

各エフェクトタイプでは、レベル(リバーブレベル、コーラスレベル、DSPレベル <93ページ>)以外の調整はできません。

(例：DELAY LCR1でディレイタイムの変更はできません。)



MIDIインプリメンテーション・チャート

YAMAHA [Portable Grand]
Model DGX-630

MIDIインプリメンテーション・チャート

Date : 14-MAY-2007
Version : 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	1~16チャンネル ×	1~16チャンネル ×	
モード	3 ×	3 ×	
ノートナンバー 音域	0~127 *****	0~127 0~127	
ベロシティ	0~127 ×	0~127 ×	
アフタータッチ チャンネル別	×	×	
ピッチ・バンド	0~24 semi	0~24 semi	
コントロールチェンジ	0, 32 1, 11, 84 6, 38 7, 10 64, 66, 67 71 72 73 74 91, 93, 94 96~97 100~101	0 *	バンクセレクト データエントリ ペダル ハーモニックコンテンツ リリースタイム アタックタイム ブライトネス エフェクトデブス RPNデータインクリメント、デクリメント RPN LSB、MSB

プログラムチェンジ 設定可能	○ 0~127 *****	○ 0~127	
システム・エクスクルーシブ	○	○	
コモン ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアルタイム クロック コマンド	○ ○	○ ○	
その他 オール・サウンド・オフ リセット オールコントロール ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティヴ・センシング リセット	× × × × ○ ×	○ (120、126、127) ○ (121) ○ (122) ○ (123~125) ○ ×	

*1146ページの2を参照。

モード1: オムニ・オン、ポリ

モード3: オムニ・オフ、ポリ

モード2: オムニ・オン、モノ

モード4: オムニ・オフ、モノ

○: あり

×: なし



MIDIデータフォーマット

1 MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、自動伴奏、およびソングに影響します。

- MIDIマスターチューン
- リバース、コーラス、DSPの各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ

2 これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、ソング、スタイルまたはハーモニー演奏中に送信されることがあります。

3 エクスクルーシブ

<GMシステムオン>

F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

- MIDI マスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。

<MIDIマスターボリューム>

F0H, 7EH, 7FH, 04H, 01H, ll, mm, F7H

- 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
- mmの値をMIDIマスターボリューム値として使用します。(llは無視)

<XGマスターチューニング>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 00H, 00H, 00H, ddH, ddH, ddH, ddH, F7H

- 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
- ddの値をXGマスターチューニング値として使用しています。
- ddのデフォルトは00H, 04H, 00H, 00Hです。

<リバーブタイプ>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, llH, mmH, F7H

- ll: リバーブタイプMSB
- mm: リバーブタイプLSB

詳細はエフェクトタイプリストをご参照ください。

<コーラスタイプ>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, llH, mmH, F7H

- ll: コーラスタイプMSB
- mm: コーラスタイプLSB

詳細はエフェクトタイプリストをご参照ください。

<DSPタイプ>

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 40H, llH, mmH, F7H

- ll: DSPタイプMSB
- mm: DSPタイプLSB

詳細はエフェクトタイプリストをご参照ください。

4 スタイルやソングのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH (スタイルのスタート)、FCH (スタイルのストップ)を受信します。

5 ローカル オン/オフ
<ローカル オン> Bn, 7A, 7F
<ローカル オフ> Bn, 7A, 00
• n: 無視されます。



仕様一覧

鍵盤

- グレードハンマースタANDARD 88鍵 (A-1～C7:タッチレスポンス付き)

ディスプレイ

- 320×240ドットLCD(バックライト付き)

セットアップ

- [電源 切/入](STANDBY/ON) スイッチ
- 全体音量 (MASTER VOLUME) コントロール : 小～大
- LCDコントラスト (LCD CONTRAST) 調整

パネルコントロール

- [ハーモニー オン/オフ]、[デュアル オン/オフ]、[スプリット オン/オフ]、[デモ]、レッスン[スタート]、レッスン[L]、レッスン[R]、[パフォーマンスアシスタント オン/オフ]、[機能]、[ミュージックデータベース]、[メトロノーム オン/オフ]、[グランドピアノ]、[ソング]、[イージーソング アレンジャー]、[スタイル]、[楽器]、ダイアル、カテゴリー [▲]/[▼]、[0]～[9]、[+]、[-]、[くり返し練習]/[スタイル オン/オフ]、[A-Bリピート]/[イントロ/エンディング/rit.]、[一時停止]/[シンクロナスタート]、[巻戻し]/[メイン/フィルイン]、[早送り]/[シンクロナストップ]、[スタート/ストップ]、[テンポ/タップ]、レジストレーションメモリー ([メモリー/バンク]、[1]、[2])、ソングメモリー ([録音]、[1]～[5]、[A])、ファイルコントロール[メニュー]、ファイルコントロール[実行]、[画面 戻る]、[歌詞]、[譜面]、[DSP オン/オフ]

リアルタイムコントロール

- ピッチベンドホイール

楽器

- 130パネル音色 + 12ドラム/SFXキット + 361 XGlite 音色 (最大同時発音数64)
- デュアルボイス
- スプリットボイス

スタイル

- 160プリセット + 外部ファイル
- スタイルコントロール : スタイル オン/オフ、シンクロナストップ、シンクロナスタート、スタート/ストップ、イントロ/エンディング/リタルダンド、メイン/フィルイン
- マルチフィンガリング、フルキーボード
- スタイル音量

ミュージックデータベース

- 300 + 外部ファイル

レッスン機能

- コード辞書
- レッスン1～3、くり返し練習

レジストレーションメモリー

- 8バンク×2

機能

- ボリューム : スタイル音量、ソング音量
- オーバーオール : トランスポーズ、チューニング、ピッチベンドレレンジ、スプリットポイント、タッチ感度、コードフィンガリング
- メインボイス : 音量、オクターブ、パン、リバーブレベル、コーラスレベル、DSPレベル
- デュアルボイス : 音量、オクターブ、パン、リバーブレベル、コーラスレベル、DSPレベル
- スプリットボイス : 音量、オクターブ、パン、リバーブレベル、コーラスレベル
- エフェクト : リバーブタイプ、コーラスタイプ、マスター EQタイプ、パネルサステイン、DSPタイプ
- ハーモニー : ハーモニータイプ、ハーモニー音量
- パフォーマンスアシスタントテクノロジー : パフォーマンスアシスタントテクノロジータイプ

- PC : PCモード
- MIDI : ローカル オン/オフ、外部クロック、イニシャルセンド、キーボードアウト、スタイルアウト、ソングアウト
- メトロノーム : 拍子、1拍の長さ、メトロノーム音量、ベル
- スコア : クオンタイズ
- レッスン : レッスントラックR、レッスントラックL、採点オン/オフ
- ユーティリティ : デモキャンセル、表示言語

エフェクト

- リバーブ : 29種類
- コーラス : 24種類
- ハーモニー : 26種類
- DSP : 182種類

ソング

- 内蔵ソング30曲 + ユーザーソング5曲 + 付属CD-ROM(70曲)
- ソングクリア、トラッククリア
- ソング音量
- ソングコントロール : くり返し練習、A-B リピート、一時停止、巻戻し、早送り、スタート/ストップ

パフォーマンスアシスタント

- コード、コード/フリー、メロディー、コード/メロディー

録音

- ソング
ユーザーソング : 5曲
録音トラック : 1、2、3、4、5、スタイル

MIDI

- ローカル オン/オフ、イニシャルセンド、外部クロック、キーボードアウト、スタイルアウト、ソングアウト

付属端子

- USB TO HOST、USB TO DEVICE、SUSTAIN、PHONES/OUTPUT、DC IN 12V、PEDAL UNIT

アンプ実用最大出力

- 6W + 6W

スピーカー

- 12cm×2 + 3cm×2

電源

- 電源アダプター : PA-5Dまたはヤマハ推奨の同等品

消費電力

- 28W

寸法 (幅×奥×高mm)

- 1,398×457×153
1,405×485×773 (キーボードスタンド取り付け時)

質量

- 18.0kg
25.5kg (キーボードスタンド取り付け時)

付属品

- 電源アダプター (PA-5Dまたはヤマハ推奨の同等品)、譜面立て、和文シート、CD-ROM、取扱説明書、保証書、フットスイッチFC5、キーボードスタンド

オプション(別売)品

- ヘッドフォン : HPE-150/HPE-30
- フットスイッチ : FC4
- ペダルユニット : LP-7

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



さくいん

ボタン名 / 端子名

- 長押しマーク 68
- DSP オン/オフ
(DSP ON/OFF) ボタン 16, 73
- イージーソングアレンジャー
(EASY SONG ARRANGER) ボタン
..... 16, 58
- 一時停止 (PAUSE) ボタン 16, 34
- イントロ/エンディング/rit.
(INTRO/ENDING/rit.) ボタン .. 16, 79
- A-Bリピート
(A-B REPEAT) ボタン 16, 88
- 歌詞 (LYRICS) ボタン 16, 38
- 楽器 (VOICE) ボタン 16, 19
- カテゴリーボタン [▲], [▼] 16, 67
- 画面戻る (EXIT) ボタン 16, 68
- 機能 (FUNCTION) ボタン 16, 92
- グランドピアノ
(PORTABLE GRAND) ボタン . 16, 22
- くり返し練習
(REPEAT & LEARN) ボタン 16, 56
- コントラスト
(CONTRAST) ツマミ 17, 69
- SUSTAIN 端子 13, 17
- シンクロナイズ
(SYNC START) ボタン 16, 28, 80
- シンクロナイズストップ
(SYNC STOP) ボタン 16, 81
- 数字ボタン
0~9、+ / YES、- / NO 16, 67
- スタート/ストップ
(START/STOP) ボタン 16, 67
- スタイル
(STYLE) ボタン 16, 27-31, 79
- スタイル オン/オフ
(ACMP ON/OFF) ボタン 16, 28
- スプリット オン/オフ
(SPLIT ON/OFF) ボタン 16, 21
- 全体音量 (MASTER VOLUME) ... 16, 66
- ソング (SONG) ボタン 16, 33
- ソングメモリー
(SONG MEMORY) ボタン 16, 61
- ダイアル 16, 67
- DC IN 12V
(電源アダプター) 端子 13, 17
- デモ (DEMO) ボタン 16, 35
- デュアル オン/オフ
(DUAL ON/OFF) ボタン 16, 20
- 電源 切/入
(STANDBY/ON) スイッチ 15-16
- テンポ/タップ (TEMPO/TAP) ボタン
..... 16, 24, 34, 75
- ハーモニー オン/オフ
(HARMONY ON/OFF) ボタン . 16, 70
- パフォーマンスアシスタント オン/オフ
(P.A.T. ON/OFF) ボタン 16, 40
- 早送り (FF) ボタン 16, 34
- ピッチベンド (PITCH BEND) 16, 74
- ファイルコントロール 実行
(EXECUTE) ボタン 16, 98

- ファイルコントロール メニュー
(MENU) ボタン 16, 96
- PHONES/OUTPUT
(ヘッドフォン/外部出力) 端子 ... 13, 17
- 譜面 (SCORE) ボタン 16, 37
- PEDAL UNIT
(ペダルユニット) 端子 14, 17
- 巻戻し (REW) ボタン 16, 34
- ミュージックデータベース
(MUSIC DATABASE) ボタン .. 16, 57
- メイン/フィルイン
(MAIN/AUTO FILL) ボタン 16, 79
- メトロノーム オン/オフ
(METRONOME ON/OFF) ボタン
..... 16, 24
- メモリー /バンク
(MEMORY/BANK)、
1、2 ボタン 16, 90
- USB TO DEVICE 端子
..... 17, 96-97, 104
- USB TO HOST 端子 17, 104-105
- レジストレーションメモリー
(REGIST MEMORY) ボタン 16, 90
- レッスンスタート
(START) ボタン 16, 52
- レッスン
右手 (R)、左手 (L) ボタン 16, 51
- 録音 (REC)、1~5、A ボタン 16, 60

アイウエオ順

- ア**
R-パート 109
- イ**
イージーソングアレンジャー 58
一時停止 34
イニシャルセンド 107
イントロ 79
- エ**
ACMP オン 28
A-Bリピート 88
SMF (スタンダードMIDIファイル) ... 107
XG lite 6
エフェクトタイプリスト 138
L-パート 109
エンディング 79
- オ**
オプション 147
音量 66
- カ**
外部クロック 106
外部ソング 36
楽譜 122-127
歌詞 38
楽器音 19
楽器リスト 128
画面 68
- キ**
キーボードアウト 106
キーボードスタンド 10
機能設定 92-95
機能設定画面 68
- ク**
クオンタイズ 94
クリア (ソング・トラック) 63-64
くり返し (A-Bリピート) 88
くり返し練習 56
- ケ**
言語 18
- コ**
コード 28, 30-32, 84-85
コード (パフォーマンスアシスタント)
..... 39-40
コード/フリー
(パフォーマンスアシスタント) . 39, 42
コード/メロディー
(パフォーマンスアシスタント) . 39, 46
コード辞書 87
コードタイプ (コード辞書) 87
コードフィンガリング 32, 86
コードルート 87
コーラス 72

コーラストाइブ.....	138
困ったときは(インストールガイド) ..	116
困ったときは(楽器).....	118
コンピューター.....	105, 107

サ

削除(ソングトラック).....	64
削除(USBフラッシュ メモリー内のデータ).....	102
削除(ユーザーソング).....	63
削除(ユーザーデータ).....	103
サステイン(パネル).....	74
サステイン(フットスイッチ).....	13

シ

CD-ROM.....	7, 110
自動伴奏鍵域.....	28
仕様.....	147
小節.....	69
初期化.....	65
シンクロスタート.....	80
シンクロストップ.....	81

ス

スタート、ストップ (ソング、スタイル).....	27, 33, 67
スタイル(自動伴奏).....	27-31, 79-81
スタイルアウト.....	106
スタイルオン.....	28
スタイル音量.....	83
スタイルファイル.....	107
スタイルリスト.....	134
スプリットボイス.....	21
スプリットボイスオクターブ.....	93
スプリットボイス音量.....	93
スプリットボイスコーラスレベル.....	93
スプリットボイスパン.....	93
スプリットボイスリバーブレベル.....	93
スプリットポイント.....	21, 82

ソ

ソステヌートペダル.....	14
ソフトウェアのご使用条件.....	117
ソフトペダル.....	14
ソング.....	33-36
ソングアウト.....	106
ソング音量.....	88
ソングクリア.....	63
ソングメモリー.....	60-61
ソングリスト.....	35

タ

タッチ感度.....	75
タップスタート.....	75
ダンパーペダル.....	14

チ

チューニング.....	78
-------------	----

テ

DSP.....	73
DSPタイプ.....	139
デモ.....	35
デモキャンセル.....	95
デュアルボイス.....	20
デュアルボイスオクターブ.....	93
デュアルボイス音量.....	93
デュアルボイスコーラスレベル.....	93
デュアルボイスDSPレベル.....	93
デュアルボイスパン.....	93
デュアルボイスリバーブレベル.....	93
電源アダプター.....	13
転送.....	108-109
テンポ.....	34

ト

トラック.....	60, 89
トラッククリア.....	64
ドラムキット.....	23
ドラムキットリスト.....	132
トランスポーズ.....	78

ナ

内蔵ソング.....	35
長く押す.....	68

ハ

ハーモニー.....	70
ハーモニー音量.....	94
ハーモニータイプ.....	70, 137
バックアップ.....	65, 109
バックアップクリア.....	65
バックアップの転送.....	109
パフォーマンスアシスタント.....	39-49
早送り.....	34
バンク.....	90

ヒ

PC設定.....	106
ピッチベンド.....	74
ピッチベンドレンジ.....	93
評価.....	53
拍子.....	25

フ

ファイルコントロール.....	96
フォーマット(ファイルコントロール).....	98
フットスイッチ.....	13
譜面.....	37
譜面板.....	15
フラッシュメモリー.....	36
フルキーボード.....	86

ヘ

ヘッドフォン.....	13
ベル.....	26

ホ

ボイス(楽器).....	19
保存(バックアップファイル).....	109
保存(パネル設定).....	90
保存(ユーザーソング).....	100
保存(ユーザーファイル).....	99

マ

巻戻し.....	34
マスターEQタイプ.....	77

ミ

MIDI.....	105
MIDIインプリメンテーション・ チャート.....	144
MIDIデータフォーマット.....	146
ミュージックデータベース.....	57
ミュージックデータベースリスト.....	135
ミュート(消音).....	89

メ

MAIN画面.....	68
MAIN画面に戻る.....	68
メイン/フィルイン.....	79
メインボイス.....	19
メインボイスオクターブ.....	93
メインボイス音量.....	93
メインボイスコーラスレベル.....	93
メインボイスDSPレベル.....	93
メインボイスパン.....	93
メインボイスリバーブレベル.....	93
メッセージ.....	120
メトロノーム.....	24-25
メロディー音色.....	89
メロディー (パフォーマンスアシスタント).....	39, 44

ユ

USB.....	104
USB MIDI ドライバー.....	113-114
ユーザーソング.....	36, 60
ユーザーファイル.....	99

リ

リバーブ.....	71
リバーブタイプ.....	138

レ

レジストレーションメモリー.....	90
レッスン.....	50

ロ

ローカル.....	106
ロード.....	101
録音.....	60

ワ

和文シート.....	15
ワンタッチセッティング(OTS).....	76

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

右に記載の部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

● 補修性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 修理のご依頼

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ修理をお申し付けください。


● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

■ ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

◆ 修理のご依頼 / 修理についてのご相談窓口

ヤマハ電気音響製品修理受付センター

- 受付時間 月曜日～金曜日 9:00～19:00、土曜日 9:00～17:30 (祝祭日および弊社休業日を除く)
- ナビダイヤル  **0570-012-808** ※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金をご利用いただけます。
(全国共通番号)
- FAX (053) 463-1127



(IP 電話、携帯電話などからおかけになる場合 TEL 053-460-4830)

◆ 修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45 (浜松サービスステーションは 8:45～17:30) (祝祭日および弊社休業日を除く)
* お電話は、電気音響製品修理受付センターでお受けします。

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	FAX (011) 512-6109
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラックターミナル内 14号棟 A-5F	FAX (03) 5762-2125
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市東区和田町200 ヤマハ(株)和田工場内	FAX (053) 462-9244
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2丁目1-2 ヤマハ(株)名古屋倉庫3F	FAX (052) 652-0043
大阪サービスセンター	〒564-0052	吹田市広芝町10-28 オーク江坂ビルディング 2F	FAX (06) 6330-5535
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4	FAX (092) 472-2137

■ ヤマハ電子ピアノに関するお問い合わせ窓口

- クラビノーバ・ポータブル楽器 インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1 TEL. 053-460-5272
- 受付日 月曜日～土曜日 (祝日およびセンターの休業日を除く)
 - 受付時間 10:00～18:00 (土曜日は 10:00～17:00)
 - <http://www.yamaha.co.jp/support/>

国内営業本部

ピアノ企画部 企画グループ 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-6795

PA・DMI事業部

EKBマーケティング部 CL・PKグループ 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1 TEL (053) 460-3275

※名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社

電子ピアノ/キーボードのホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/product/epiano-keyboard/>
ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>
あなたの音楽生活をフルサポート ミュージックイークラブ
<http://www.music-eclub.com/>
お客様サポート&サービス
<http://www.yamaha.co.jp/support/>